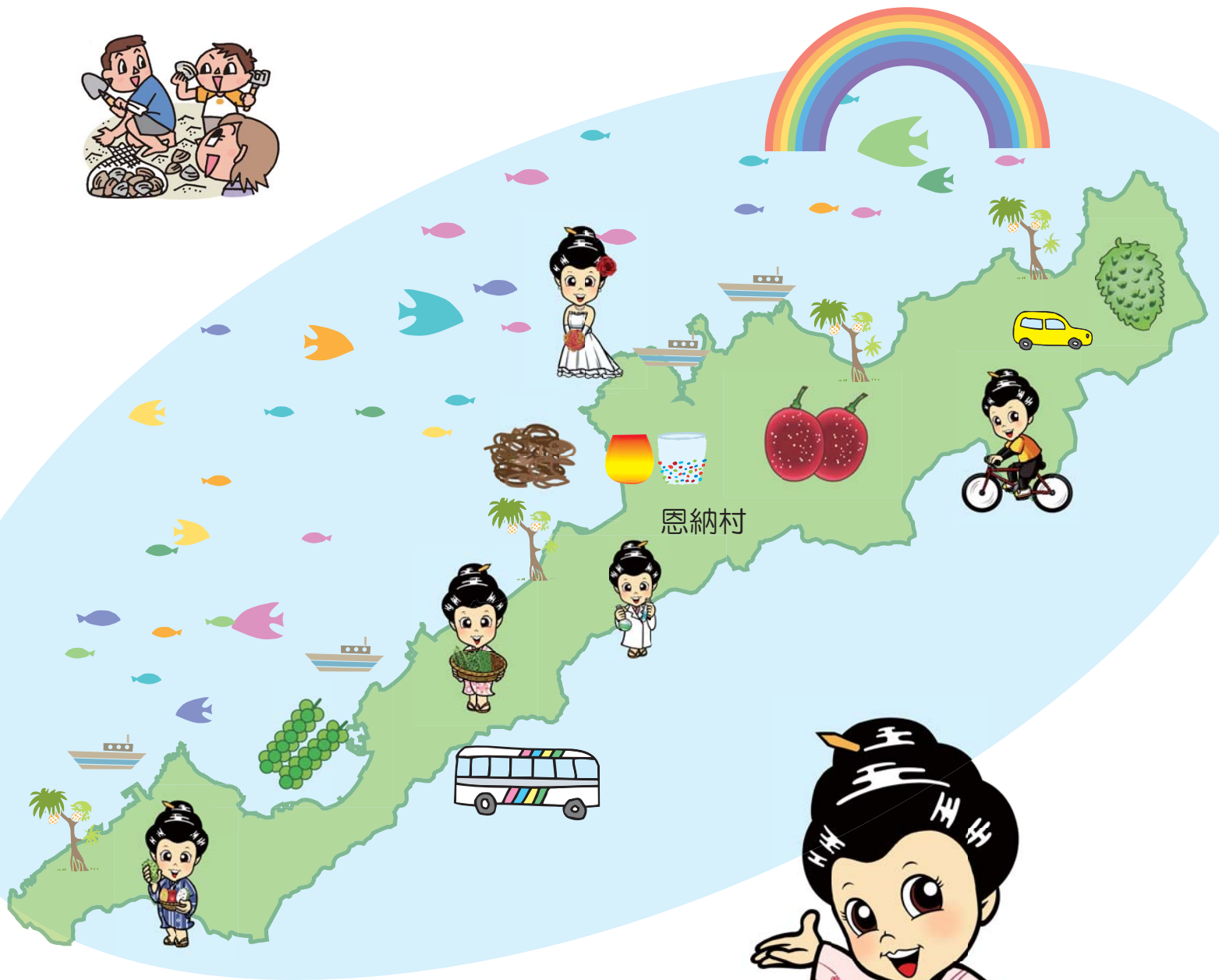




恩納村まち・ひと・しごと創生総合戦略



平成28年3月

恩納村



目次

序章 はじめに

1. 計画策定の趣旨	2
2. 計画の位置付け	3

1章 人口ビジョン

1. 恩納村の人口動向	6
1) 総人口の推移	6
2) 年齢3区分別人口等の推移	8
3) 人口ピラミッドの変遷	10
4) 出生・死亡等の動向	12
5) 転入・転出の動向	15
6) 昼夜間人口、市町村別流入・流出（15歳以上）人口	23
7) 労働力人口、就業人口及び完全失業率の推移	25
8) 従業者数と事業所数の推移	26
9) 産業別就業人口	28
2. 将来人口の推計と分析	32
1) 現状のまま推移した場合の将来人口推計	32
2) 自然増減、社会増減の影響度の分析	37
3. 人口の変化が地域の将来に与える影響の分析・考察	39
1) 地域経済への影響	39
2) 地域コミュニティへの影響	39
3) 財政・行政サービス水準等への影響	39
4. 将来展望に向けた調査・分析	40
1) 就職・進学に関するアンケート	40
2) 転入者、転出者アンケート	47
5. 目指すべき将来の方向等	55
1) 現状と課題	55
2) 目指すべき将来の方向	56
6. 人口の将来展望	57

2章 総合戦略

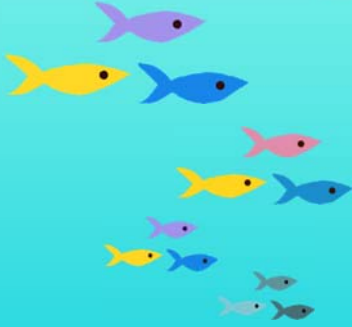
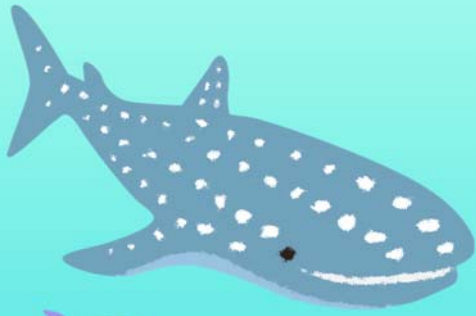
1. 政策の企画・実行にあたっての基本方針	60
2. 将来像	62
3. 恩納村における基本目標	63
4. 施策体系	64
5. 基本目標及び具体的な取り組み等	66
基本目標1 恩納村の特性を活かした魅力あるしごとを創出する	66
(1) 地域資源を活かした観光の振興	66
(2) 稼げる農水産業の振興による地域経済の活性化	67
(3) 中小企業・小規模企業等の振興による地域経済の活性化	68
基本目標2 恩納村へのひとの流れをつくる	70
(1) 定住・移住の促進	70
基本目標3 若い世代の結婚・妊娠・出産・子育ての希望をかなえる	71
(1) 結婚・妊娠の希望をかなえる支援	71
(2) 子どもが健やかに成長することができる健康づくり	72
(3) すべての子どもと子育て家庭を応援する地域づくり	72
(4) 子どもの豊かな心と生きる力を育む学校教育の推進	74
(5) 高校、大学等への進学・就学支援	75
基本目標4 住民主体のむらづくりを行い、地域と地域が連携する	76
(1) 誰もが安心して生活し続けられる環境づくり	76
(2) 広域等との連携の推進	77

3章 推進体制

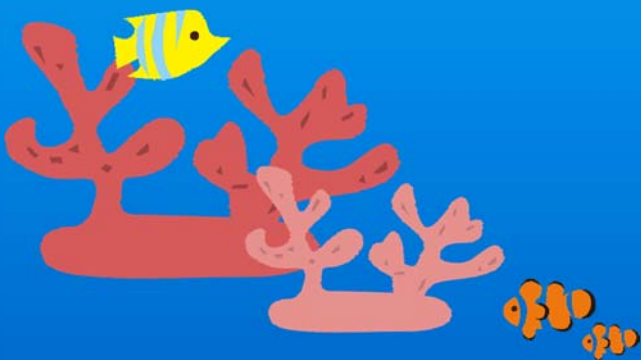
1. PDCA サイクルの構築	80
2. 推進体制	80

資料編

1. 各種アンケート結果	82
1) 就職・進学に関するアンケート	82
2) 転入者アンケート	91
3) 転出者アンケート	99
2. 恩納村まち・ひと・しごと創生総合戦略 策定の経緯	108
3. 恩納村まち・ひと・しごと創生総合戦略推進協議会 委員名簿	109



序章 はじめに



序章 はじめに

1. 計画策定の趣旨

我が国は、平成 20（2008）年より人口減少社会に突入しました。国全体で見れば、人口は東京圏への一極集中で、地方での人口減少が顕著になっています。国立社会保障・人口問題研究所（以下「社人研」とする。）の推計によると、今後も人口減少は加速度的に進行し、平成 72（2060）年の総人口は約 8,700 万人にまで減少すると見通されています。

このような状況を受け、人口減少問題の克服と地方創生をあわせて行うことにより、将来にわたって活力ある日本社会を維持することを目的に、平成 26 年 11 月に「まち・ひと・しごと創生法」が制定・施行され、翌 12 月には「まち・ひと・しごと創生長期ビジョン」及び「まち・ひと・しごと創生総合戦略」が閣議決定されました。

このように、全国的に人口減少が加速度的に進むと予測されている中、沖縄県全体では人口増加が続いており、本村においても沖縄県全体と同様に人口が増加し続けています。

しかし、本村においては 65 歳以上の老年人口が 14 歳以下の年少人口を上回る人口減少型の人口構造となっていることから、若者層や子育て世代の定住促進等に主眼を置いた人口増加又は維持に向けた施策の展開が求められています。

本村においても、国の「長期ビジョン」や「総合戦略」を踏まえ、人口減少の抑制や持続可能な地域づくりに向け、恩納村まち・ひと・しごと創生「人口ビジョン」及び「総合戦略」を策定いたします。

「人口ビジョン」では現状分析をもとに将来人口を推計し、平成 52（2040）年における目標人口の設定を行いました。

「総合戦略」では目標人口を達成するために、人口や産業の動向、住民等の意向等を踏まえながら、今後 5 年間ににおける基本目標と具体的施策を取りまとめました。

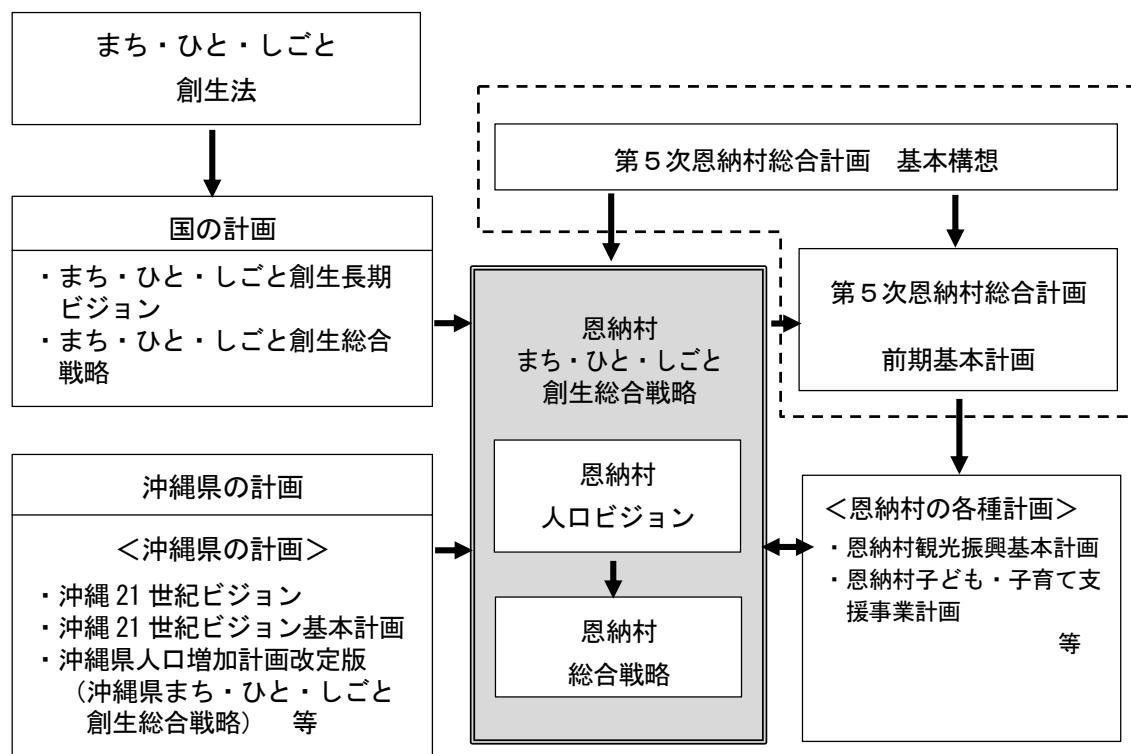
今回策定いたしました「恩納村まち・ひと・しごと創生総合戦略」に基づき、住民、地域、団体、企業、行政が協力しあいながら、持続可能な地域づくりに向け、取り組んでいくものです。

2. 計画の位置付け

恩納村まち・ひと・しごと創生総合戦略は、本村における人口の現状を分析し、今後、目指すべき将来の方向と人口の展望を示すとともに、目標人口の実現に向け、今後5年間における基本目標と具体的施策を取りまとめたものです。

策定にあたっては、国の「まち・ひと・しごと創生長期ビジョン」及び「まち・ひと・しごと創生総合戦略」を勘案しつつ、「沖縄県人口増加計画改訂版（沖縄県まち・ひと・しごと創生総合戦略）」、「沖縄 21 世紀ビジョン」など沖縄県の計画、本村の最上位計画である「第5次恩納村総合計画」を踏まえ、定めます。

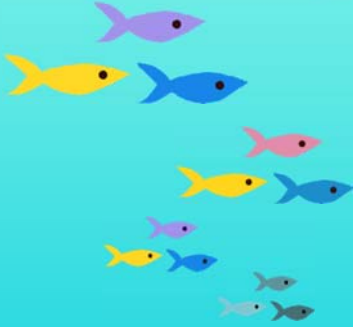
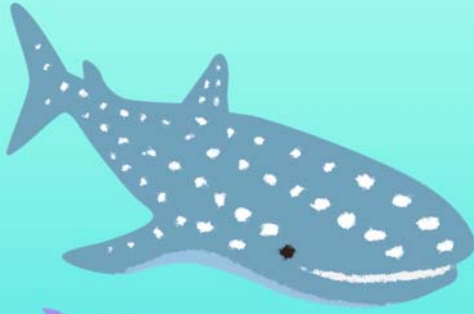
図-計画の位置付け



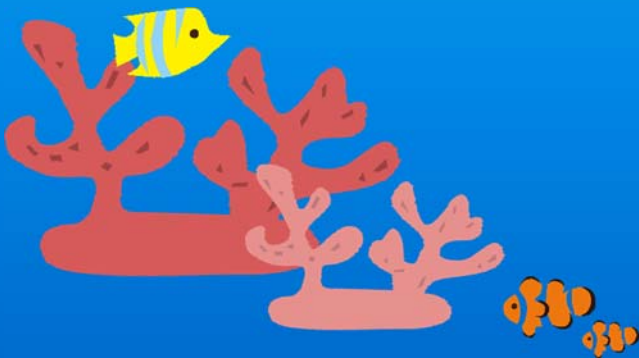
1) 計画期間

恩納村人口ビジョンの計画期間は、社人研の将来人口推計に合わせ、平成 52 (2040) 年を基本とします。

恩納村総合戦略の計画期間は、平成 27 (2015) 年から平成 31 (2019) 年とします。



1章 人口ビジョン



1章 人口ビジョン

1. 恩納村の人口動向

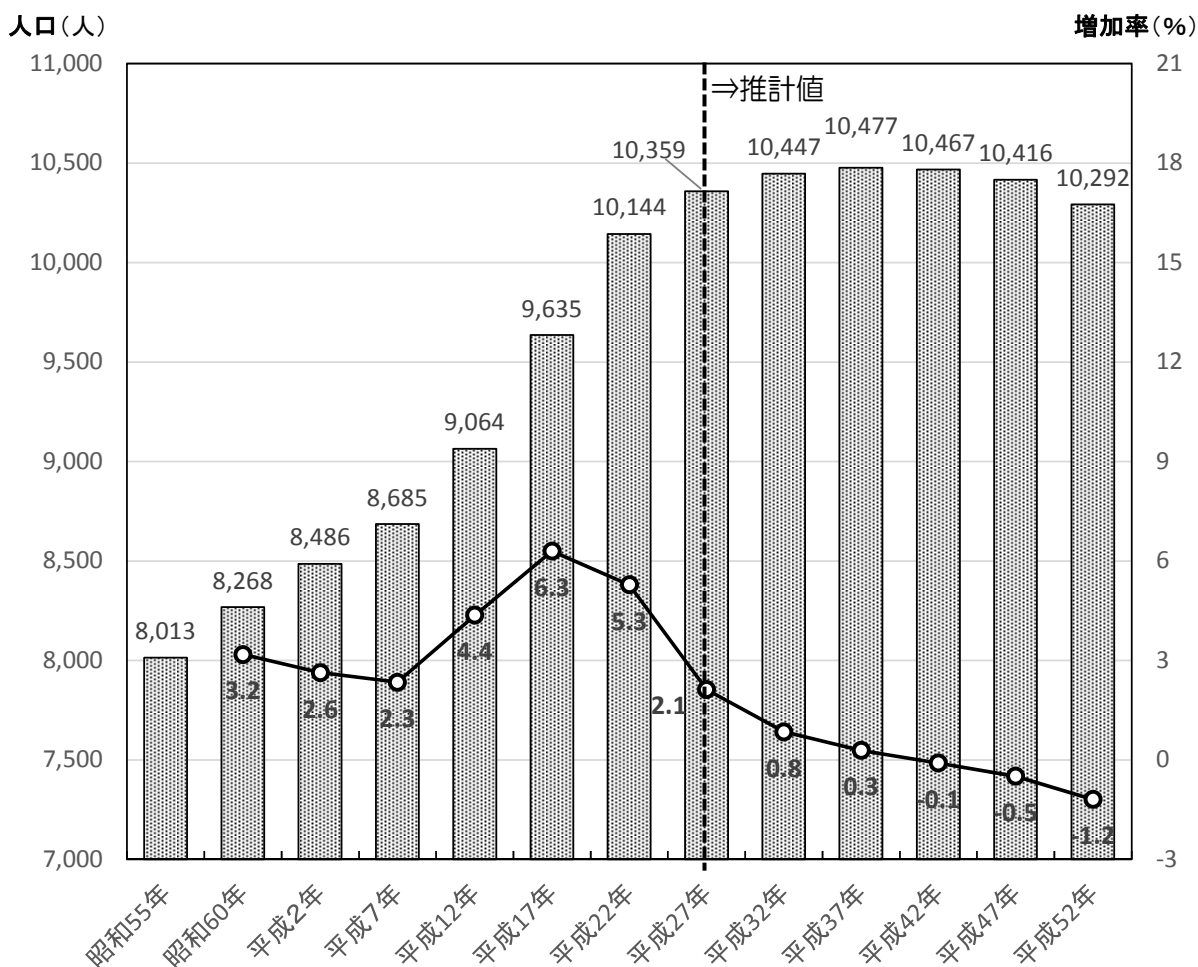
1) 総人口の推移

(1) 人口の推移と将来推計

平成 22 (2010) 年国勢調査における本村の人口は 10,144 人となっており、昭和 55 (1980) 年以降、一貫して増加が続いています。

社人研が平成 25 (2013) 年 3 月に公表した推計によると、本村の人口は平成 27 (2015) 年頃から緩やかな増加となり、平成 42 (2030) 年頃から減少に転じることが予測されています。

図－人口の推移と将来推計人口

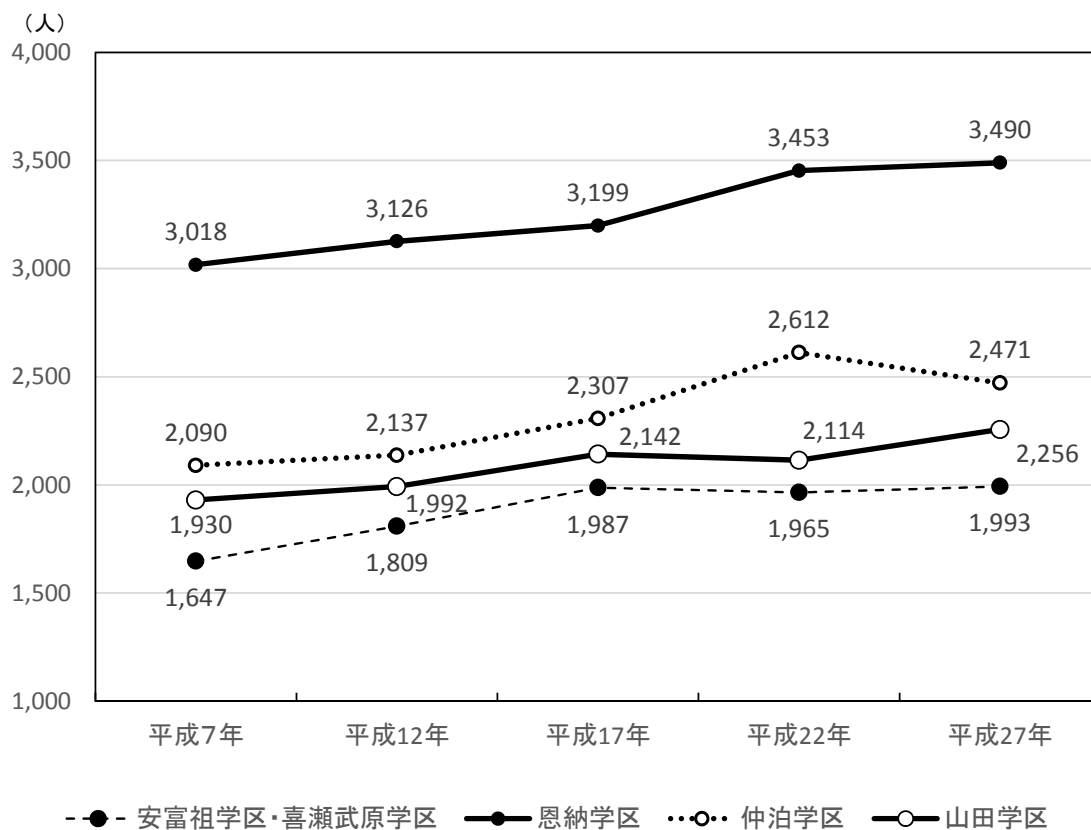


資料：平成 22 (2010) 年までは国勢調査より作成、平成 27 (2015) 年以降は
 国立社会保障・人口問題研究所日本の地域別将来推計人口より作成

(2) 学区別人口の推移

学区別に総人口の推移をみると、近年は仲泊学区では減少、安富祖学区・喜瀬武原学区で横ばい、恩納学区及び山田学区では緩やかな増加となっています。

図－学区別人口の推移



※平成7年、平成12年、平成17年、平成22年については国勢調査人口
平成27年については住民基本台帳人口

資料：国勢調査、恩納村役場村民課

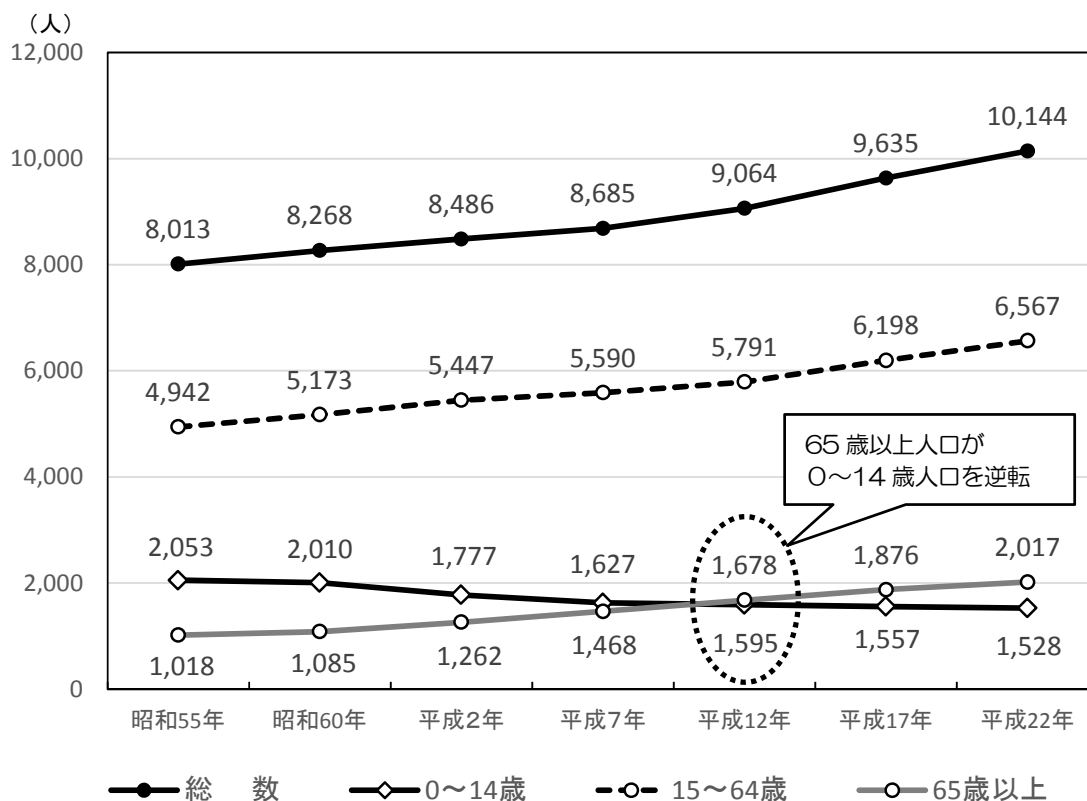
2) 年齢3区分別人口等の推移

(1) 年齢3区分別人口の推移

平成22(2010)年国勢調査における本村の年齢3区分別人口は、0～14歳の年少人口が1,528人、15～64歳の生産年齢人口が6,567人、65歳以上の老年人口が2,017人となっています。

昭和55(1980)年以降の年齢3区分別人口の推移をみると、15～64歳、65歳以上の人口は増加が続いているものの、0～14歳人口は減少が続いており、平成12(2000)年に0～14歳人口と65歳以上人口が逆転し、少子高齢化が進展している様子がうかがえます。

図－年齢3区分別人口の推移



表－年齢3区分別人口の推移

(単位: 人)

	昭和55年	昭和60年	平成2年	平成7年	平成12年	平成17年	平成22年
総数	8,013	8,268	8,486	8,685	9,064	9,635	10,144
0～14歳	2,053	2,010	1,777	1,627	1,595	1,557	1,528
15～64歳	4,942	5,173	5,447	5,590	5,791	6,198	6,567
65歳以上	1,018	1,085	1,262	1,468	1,678	1,876	2,017

資料: 国勢調査

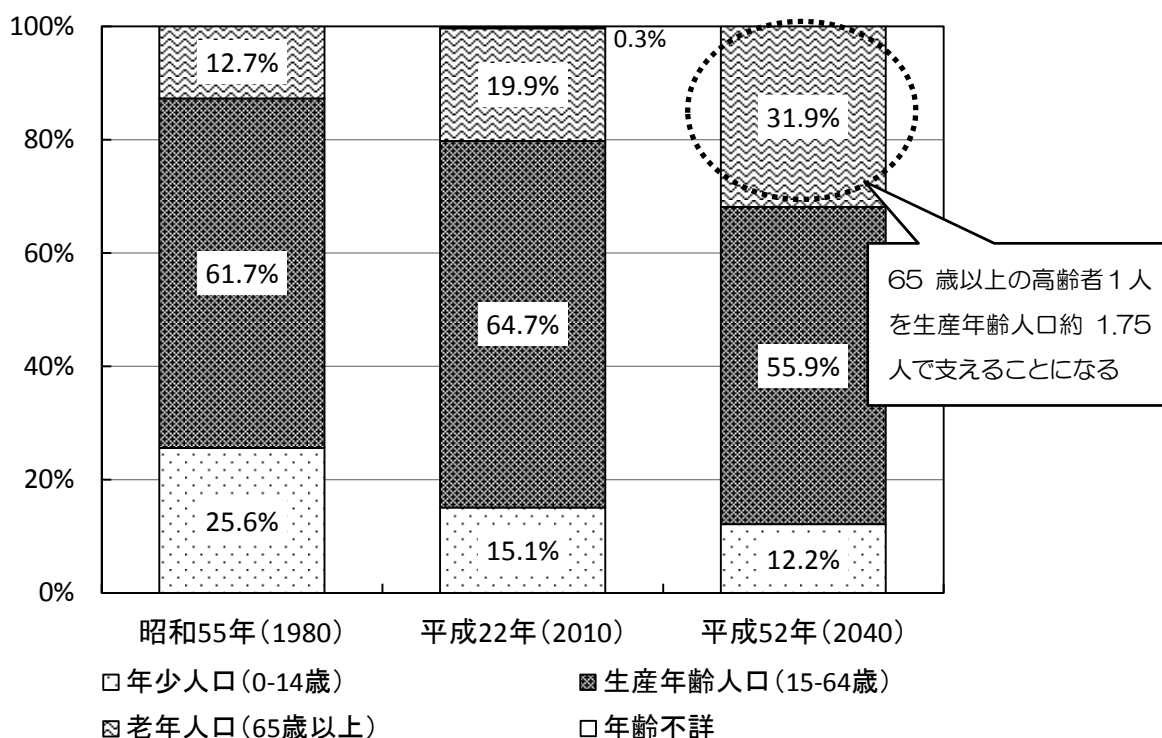
※総人口に年齢不詳が含まれるため、年齢3区分別の人口の合計と総人口は必ずしも一致しない。

(2) 高齢者等サポート率の推移

1人の高齢者を何人の生産年齢人口で支えるかの指標である**高齢者サポート率**※をみると、平成22(2010)年は約3.26人で1人の高齢者を支えていましたが、平成52(2040)年には約1.75人となり、村全体の31.9%が65歳以上となることが予測されています。

また、高齢者及び年少人口を合計した被扶養者1人を何人の生産年齢人口で支えるかの指標である**被扶養者サポート率**※は、平成22(2010)年には約1.85人でしたが、平成52(2040)年には約1.27人となることが予測されています。

図－年齢3区分別人口の割合の推移



表－年齢3区分別人口の推移とサポート率 (単位：人)

	昭和55年(1980)	平成22年(2010)	平成52年(2040)
総人口	8,013	10,144	10,292
年少人口(0-14歳)	2,053	1,528	1,252
生産年齢人口(15-64歳)	4,942	6,567	5,758
老年人口(65歳以上)	1,018	2,017	3,282
年齢不詳	—	32	—
高齢者サポート率	4.85	3.26	1.75
被扶養者サポート率	1.61	1.85	1.27

※高齢者サポート率＝生産年齢人口÷高齢者人口

※被扶養者サポート率＝生産年齢人口÷(高齢者人口+年少人口)

資料：昭和55(1980)年と平成22(2010)年は国勢調査

平成52(2040)年は国立社会保障・人口問題研究所「日本の地域別将来推計人口」

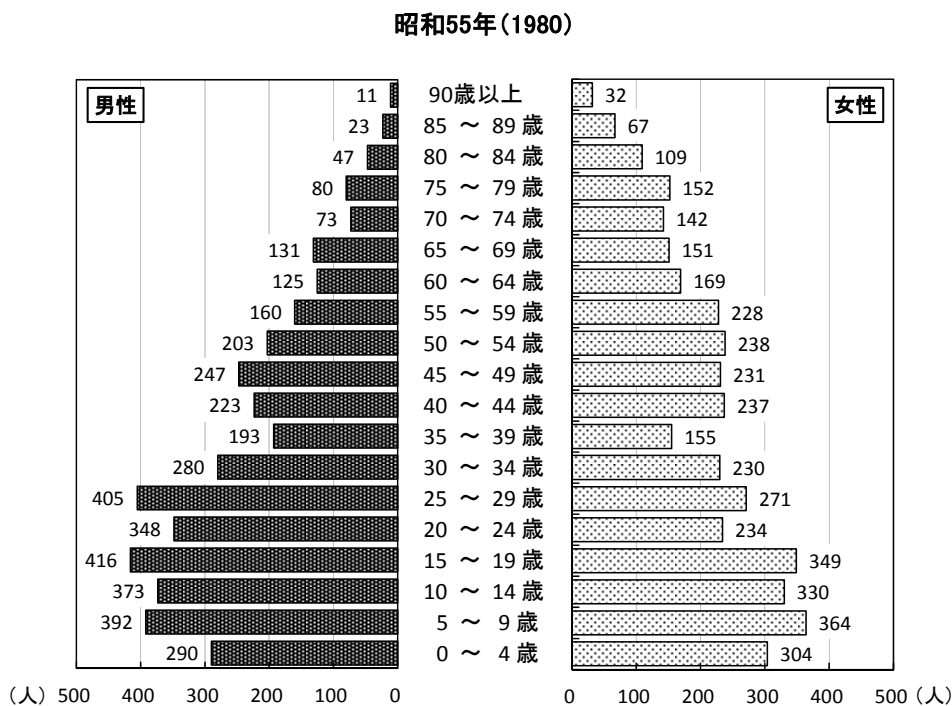
※総人口に年齢不詳が含まれるため、年齢3区分別の人口の合計と総人口は必ずしも一致しない。

3) 人口ピラミッドの変遷

人口ピラミッドの変遷をみると、昭和 55（1980）年には年少人口が多く、老年人口が少ない人口増加型の「ピラミッド型」であったものが、年少人口の減少と老年人口の増加により平成 22（2010）年には人口減少型の「つぼ型」に変化しています。

平成 22（2010）年と平成 52（2040）年と比較すると、年少人口は 276 人減少（1,528 人→1,252 人）、生産年齢人口は 809 人減少（6,567 人→5,758 人）、老年人口は 1,265 人増加（2,017 人→3,282 人）となることが予測されています。さらに 0～4 歳人口が 86 人減少（482 人→396 人）、20～39 歳の女性の人口が 299 人減少（1,356 人→1,057 人）と予測されており、高齢化の進行と若年人口の減少が今後の課題となっています。

図－人口ピラミッド（昭和 55（1980）年）



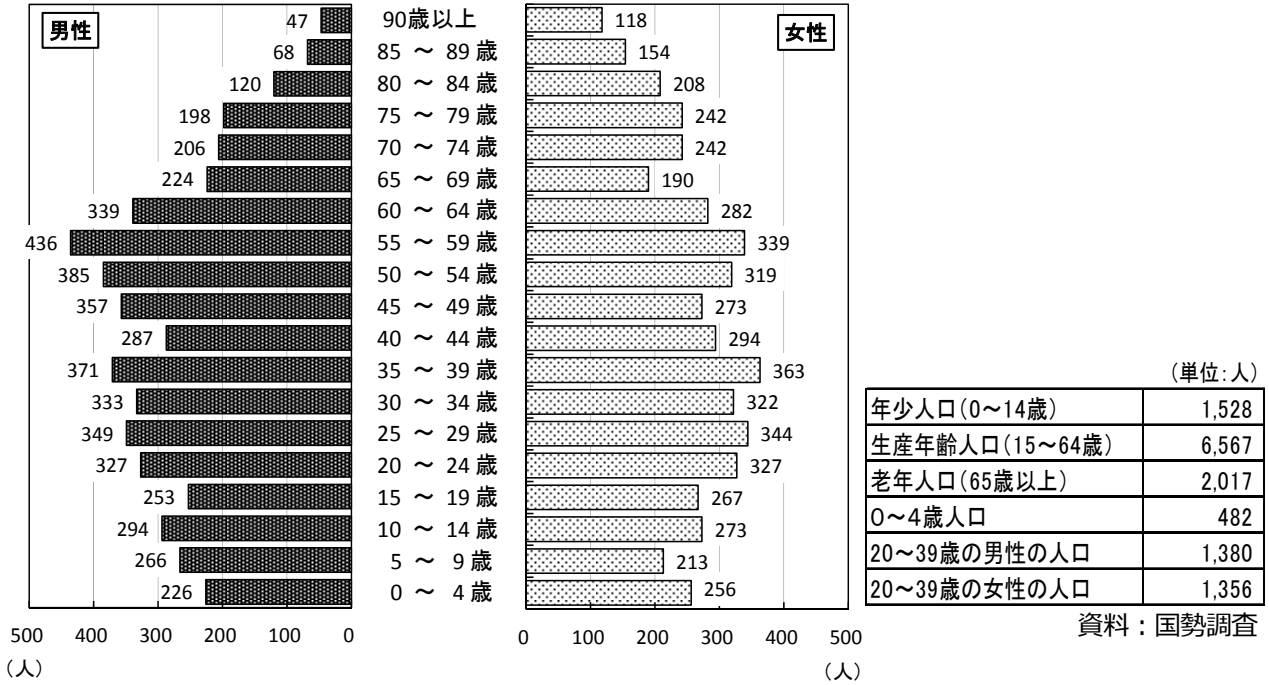
(単位:人)

年少人口(0～14歳)	2,053	0～4歳人口	594
生産年齢人口(15～64歳)	4,942	20～39歳の男性の人口	1,226
老年人口(65歳以上)	1,018	20～39歳の女性の人口	890

資料：国勢調査

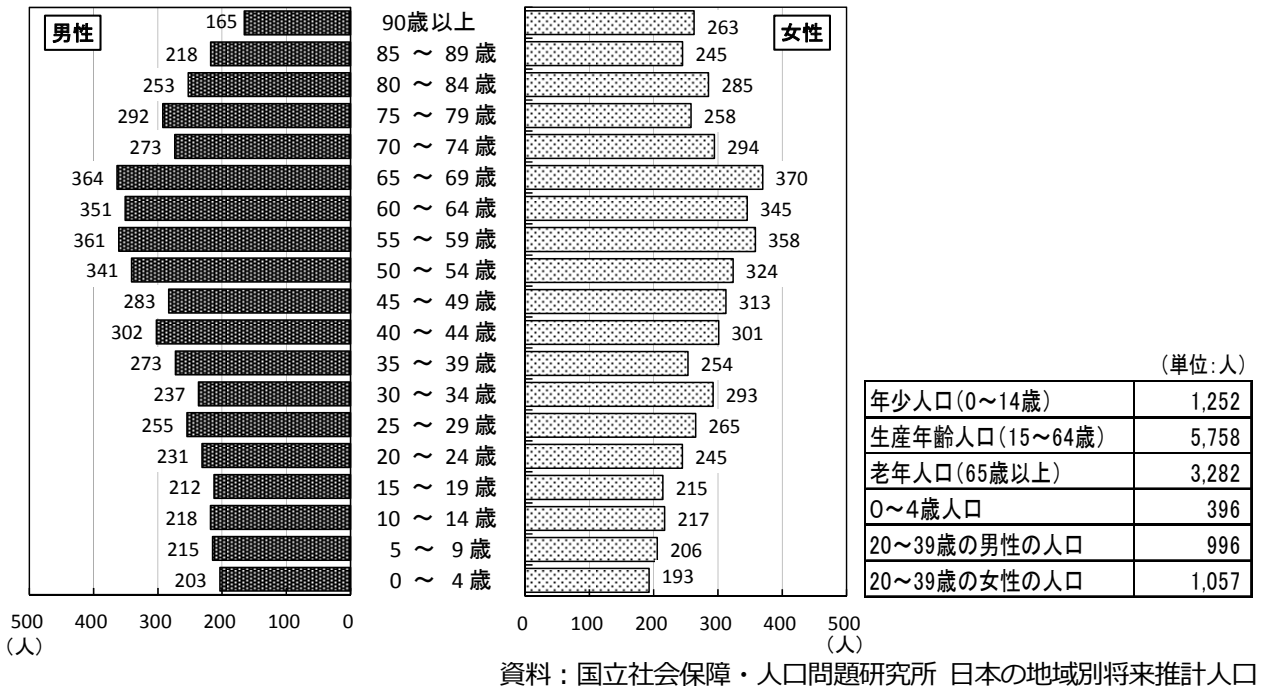
図－人口ピラミッド（平成 22（2010）年）

平成22年(2010)



図－人口ピラミッド（平成 52（2040）年）

平成52年(2040)



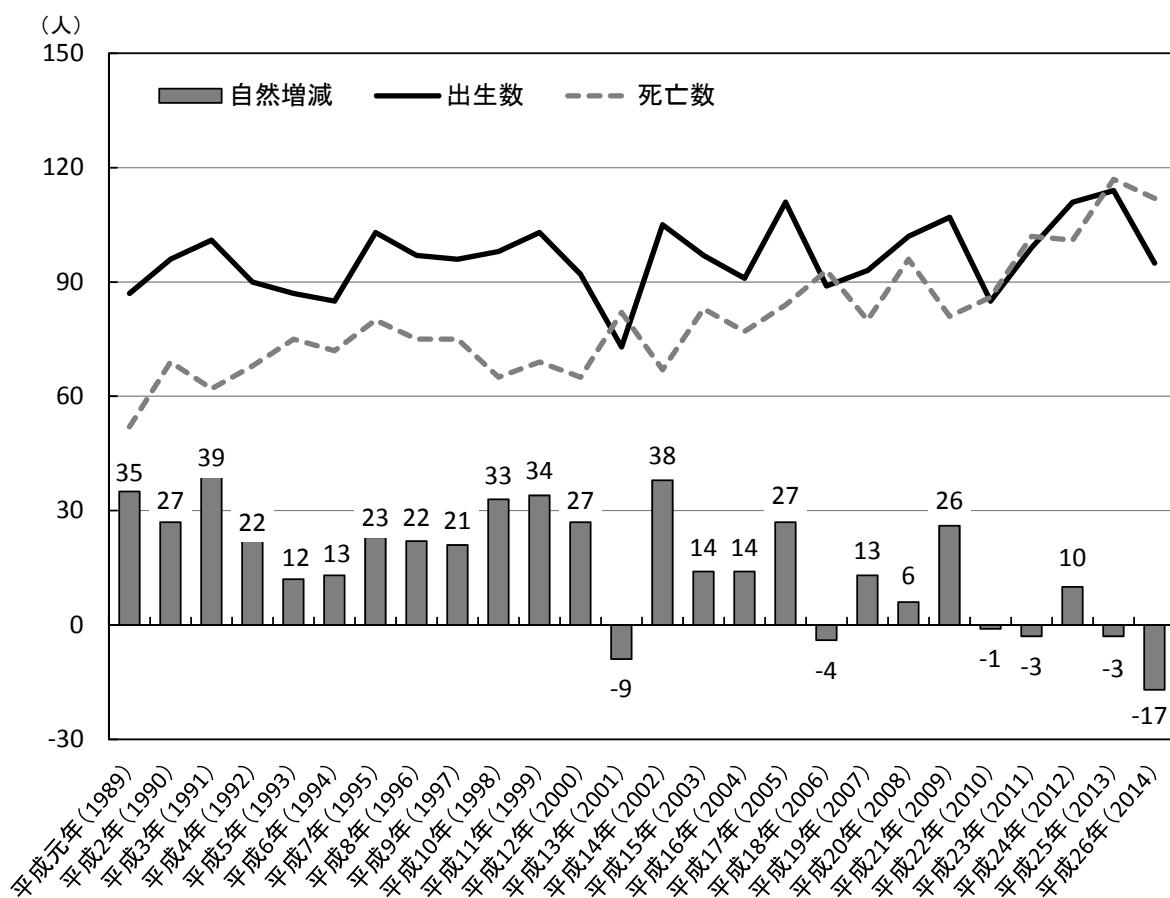
4) 出生・死亡等の動向

(1) 出生数・死亡数の推移

人口移動報告年報による本村の出生・死亡の推移をみると、平成26(2014)年は出生数95人に対して死亡数112人と17人の自然減となりました。

平成元(1989)年以降の動きをみると、出生数は横ばい傾向であるのに対し、死亡数は増加傾向となっており、死亡数が出生数を逆転する「自然減」の傾向が強まっています。

図－出生数・死亡数の推移



表－出生数・死亡数の推移

(各年10月1日～9月30日の値) (単位: 人)

	平成元年 (1989)	平成2年 (1990)	平成3年 (1991)	平成4年 (1992)	平成5年 (1993)	平成6年 (1994)	平成7年 (1995)	平成8年 (1996)	平成9年 (1997)	平成10年 (1998)	平成11年 (1999)	平成12年 (2000)	平成13年 (2001)
出生数	87	96	101	90	87	85	103	97	96	98	103	92	73
死亡数	52	69	62	68	75	72	80	75	75	65	69	65	82
自然増減	35	27	39	22	12	13	23	22	21	33	34	27	-9

	平成14年 (2002)	平成15年 (2003)	平成16年 (2004)	平成17年 (2005)	平成18年 (2006)	平成19年 (2007)	平成20年 (2008)	平成21年 (2009)	平成22年 (2010)	平成23年 (2011)	平成24年 (2012)	平成25年 (2013)	平成26年 (2014)
出生数	105	97	91	111	89	93	102	107	85	99	111	114	95
死亡数	67	83	77	84	93	80	96	81	86	102	101	117	112
自然増減	38	14	14	27	-4	13	6	26	-1	-3	10	-3	-17

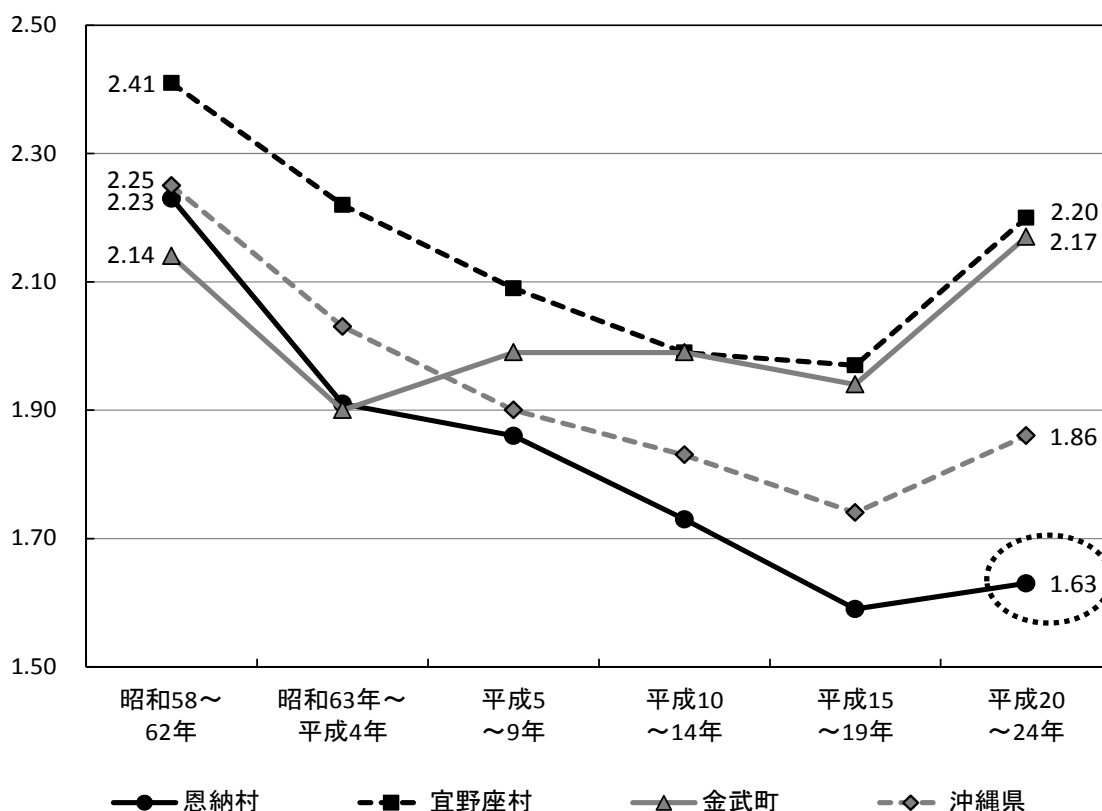
資料：人口移動報告年報（沖縄県）

(2) 合計特殊出生率の推移

人口動態保健所・市区町村別統計において、1人の女性が一生に産む子どもの人数とされる合計特殊出生率をみると、本村は『平成20～24年』で1.63となっており、全国平均（1.36）と比較すると高い値となっていますが、沖縄県全体（1.86）よりも低く、さらに県内市町村では最も低い値となっています。これは本村の人口構造として、観光関連産業の従事者である20～30代の若年層を中心とした単身世帯での移動が多いことが要因の一つとして考えられます。

その推移をみると、『昭和58～62年』に2.23であったものが、『昭和63年～平成4年』には1.91と我が国の人口置換水準（人口を維持するために必要な水準）である2.07を下回りました。その後も合計特殊出生率は低下し続け、『平成15～19年』には過去最低の1.59となりましたが、その後、やや持ち直しています。

図－合計特殊出生率の推移



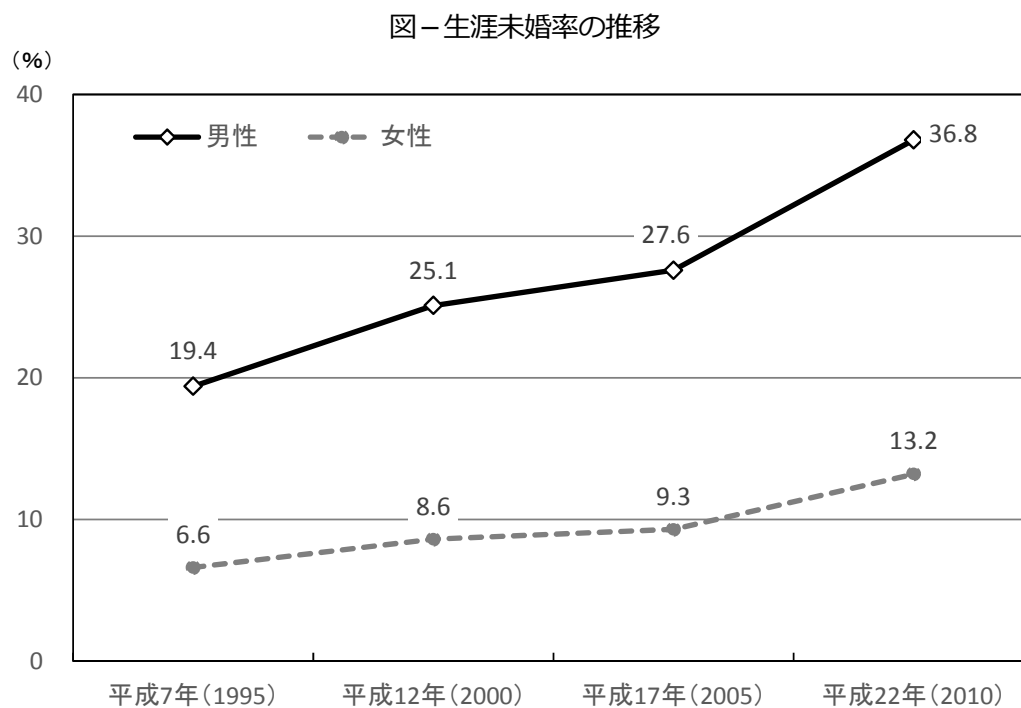
表－合計特殊出生率の推移

	昭和58～62年	昭和63年～平成4年	平成5～9年	平成10～14年	平成15～19年	平成20～24年
沖縄県	2.25	2.03	1.90	1.83	1.74	1.86
恩納村	2.23	1.91	1.86	1.73	1.59	1.63
宜野座村	2.41	2.22	2.09	1.99	1.97	2.20
金武町	2.14	1.90	1.99	1.99	1.94	2.17

資料：人口動態保健所・市区町村別統計

(3) 生涯未婚率の推移

本村における生涯未婚率（50歳時の未婚率：45～49歳と50～54歳の未婚率の平均）は上昇傾向にあり、平成22（2010）年において男性36.8%、女性13.2%となっています。男女ともに未婚化が進んでおり、特に男性の生涯未婚率の上昇が目立っています。



資料：国勢調査

5) 転入・転出の動向

(1) 転入者数・転出者数の推移

人口移動報告年報による本村の転入・転出の動きをみると、平成26(2014)年は転入数1,015人に対して転出数939人と76人の社会増でした。

平成元(1989)年以降の動きをみると、概ね転入者数が転出者数を上回る「社会増」で推移しています。

図-転入数・転出数の推移

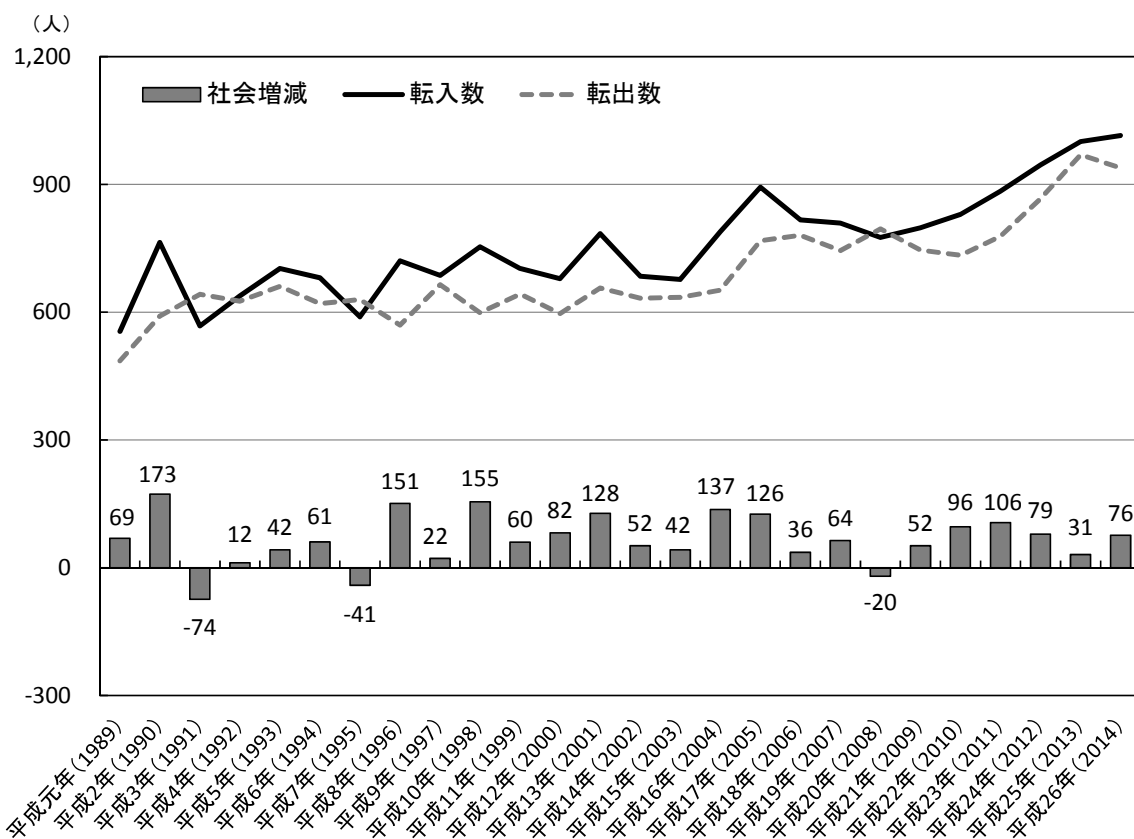


表-転入数・転出数の推移

(各年10月1日~9月30日の値) (単位: 人)

年	平成元年 (1989)	平成2年 (1990)	平成3年 (1991)	平成4年 (1992)	平成5年 (1993)	平成6年 (1994)	平成7年 (1995)	平成8年 (1996)	平成9年 (1997)	平成10年 (1998)	平成11年 (1999)	平成12年 (2000)	平成13年 (2001)
転入数	555	764	568	638	703	681	589	721	687	754	703	679	785
転出数	486	591	642	626	661	620	630	570	665	599	643	597	657
社会増減	69	173	-74	12	42	61	-41	151	22	155	60	82	128
年	平成14年 (2002)	平成15年 (2003)	平成16年 (2004)	平成17年 (2005)	平成18年 (2006)	平成19年 (2007)	平成20年 (2008)	平成21年 (2009)	平成22年 (2010)	平成23年 (2011)	平成24年 (2012)	平成25年 (2013)	平成26年 (2014)
転入数	685	677	789	894	817	809	776	798	830	884	946	1,001	1,015
転出数	633	635	652	768	781	745	796	746	734	778	867	970	939
社会増減	52	42	137	126	36	64	-20	52	96	106	79	31	76

資料: 人口移動報告年報 (沖縄県)

(2) 転入者・転出者の状況

平成26(2014)年度に本村に転入した世帯は594世帯で、内訳をみると単身世帯が約7割(70.9%)で最も高く、次いで世帯合併(11.4%)、夫婦のみ世帯(4.9%)、ひとり親世帯(4.9%)、夫婦子ども世帯(4.5%)となっています。

転出した世帯は621世帯で、内訳をみると単身世帯が6割強(62.5%)で最も高く、次いで世帯分離(20.8%)、夫婦子ども世帯(6.3%)、ひとり親世帯(4.2%)となっています。

図-転入世帯の状況の推移

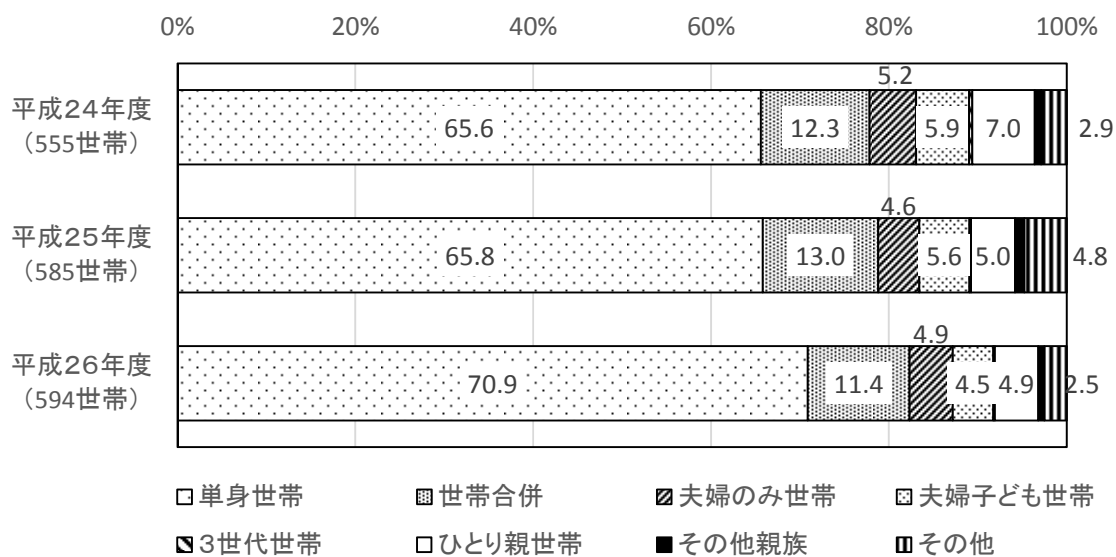
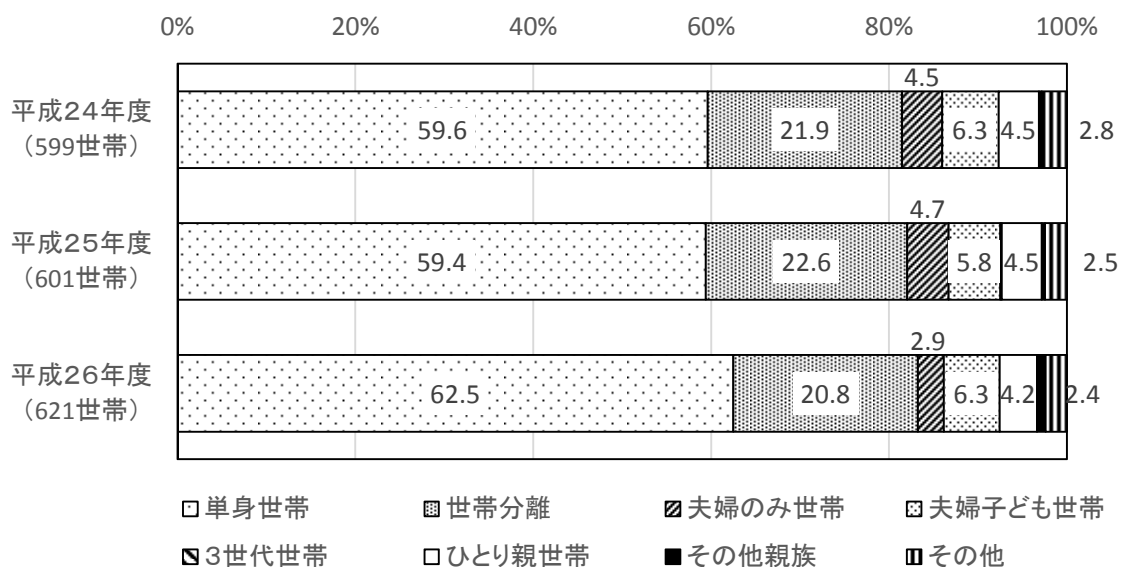


図-転出世帯の状況の推移



資料：恩納村役場村民課

平成 26(2014)年度の転入世帯のうち、未成年の子どもがいる世帯は2割弱(17.7%)、転出世帯の未成年の子どもがいる割合も2割弱(18.0%)と、いずれも同程度となっています。

平成 26(2014)年度の転入者は762人、転出者は817人となっています。年代別で見ると、転入者・転出者ともに20代を中心に10代以下、30代での人口の動きが主となっています。また、60代以上の転入者が転出者と比べるとやや高くなっています。本村では、観光関連産業の従事者を中心とした20~30代の若年層を中心に単身世帯での移動が多くみられることが特徴となっています。

図-転入・転出世帯で未成年の子どもの有無(平成26年度)

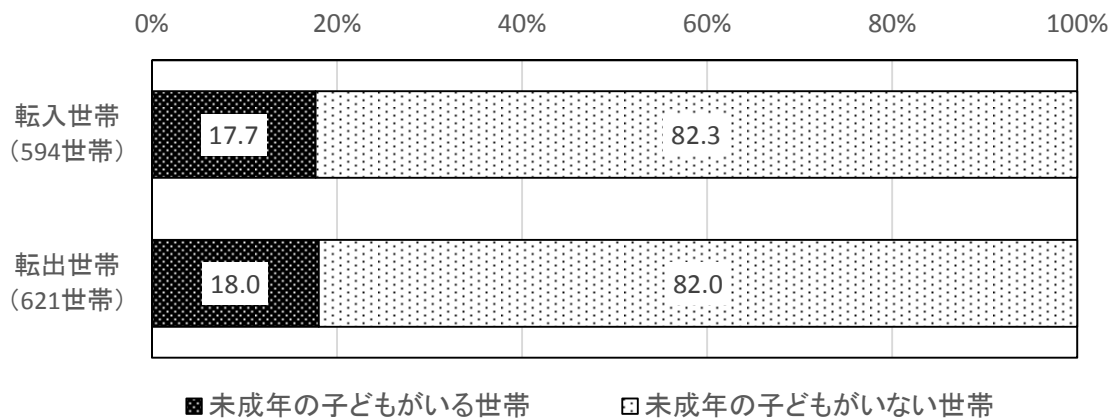
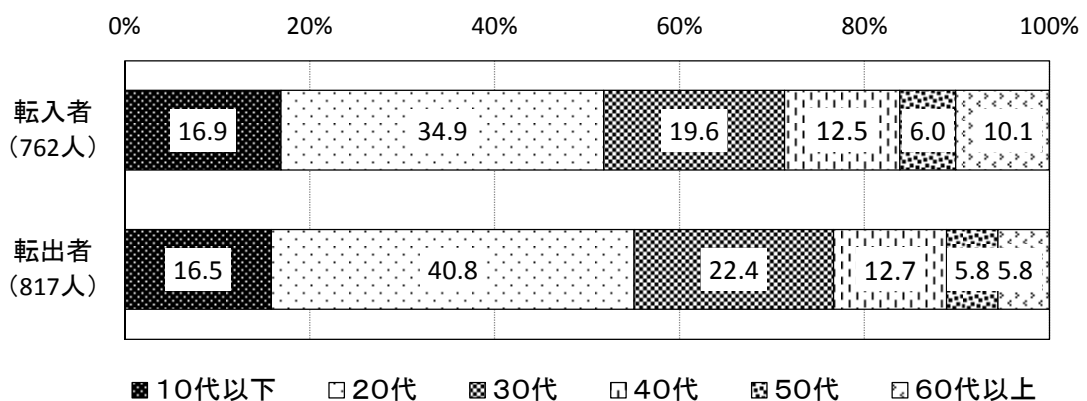


図-転入者・転出者の年代(平成26年度)



資料：恩納村役場村民課

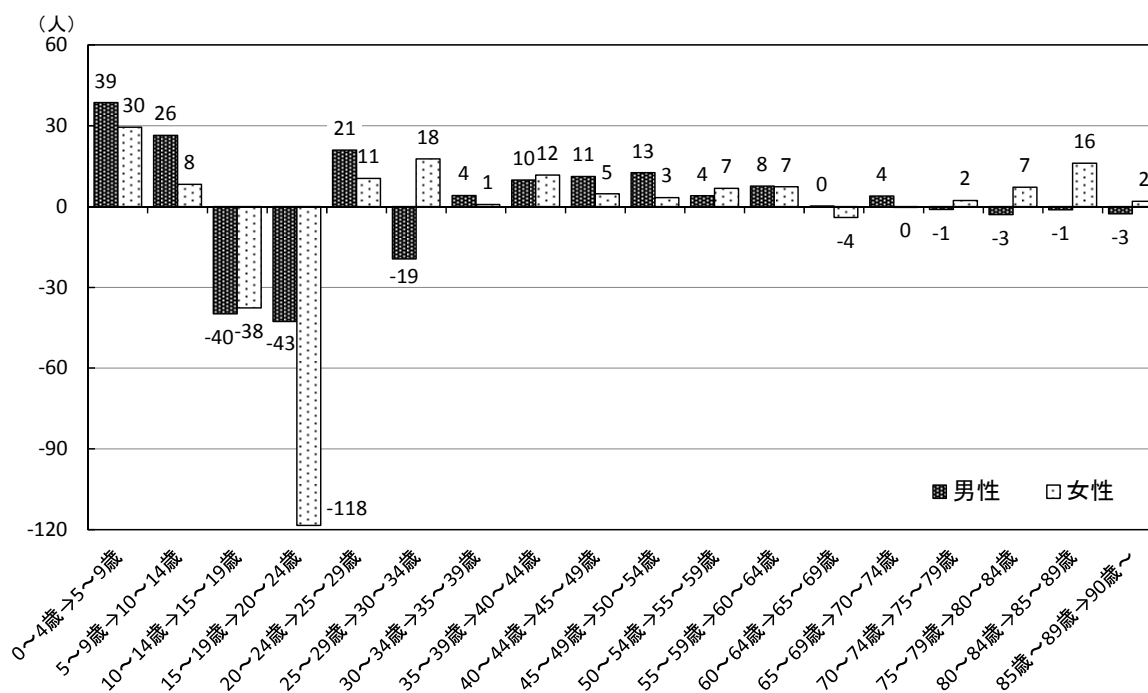
(3) 年齢階級別人口移動の推移

国勢調査の結果を用いて男女別の長期的動向を比較してみると、「昭和55(1980)年→昭和60(1985)年」では男女ともに10代(10～14歳→15～19歳、15～19歳→20～24歳)で転出超過となっており、特に女性の15～19歳→20～24歳の転出超過が目立っています。

「平成17(2005)年→平成22(2010)年」では、男女ともに10代、20代後半から30代前半でやや転出超過となりますが、それ以外については転入超過となっています。女性では20代前半(15～19歳→20～24歳)、男性では60代前半(55～59歳→60～64歳)での増加が目立っています。

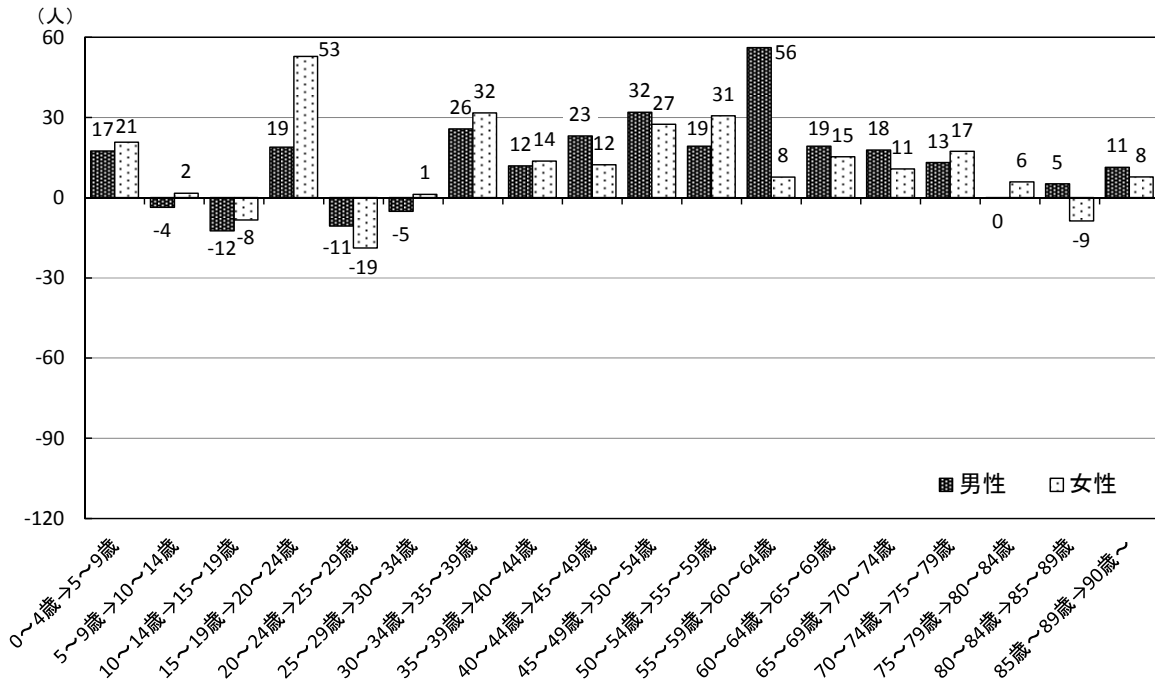
「昭和55(1980)年→昭和60(1985)年」と比較をすると、進学や就職による10代後半の転出超過による減少が少なくなっており、30代後半以降の転入超過が多くなっています。

図－年齢階層別人口移動の状況
昭和55(1980)年→昭和60(1985)年



資料：国勢調査

図一年齢階層別人口移動の状況
平成 17 (2005) 年→平成 22 (2010) 年



資料：国勢調査

(4) 転入者・転出者の住所地

① 転入者・転出者の住所地

RESAS のデータを用いて平成 26 (2014) 年の転入元の状況を詳しくみると、県内の上位5市町村の転入数は、隣接するうるま市 (86 人) が最も多く、次いで沖縄市 (50 人)、那覇市 (49 人)、読谷村 (40 人)、名護市 (32 人) となっています。

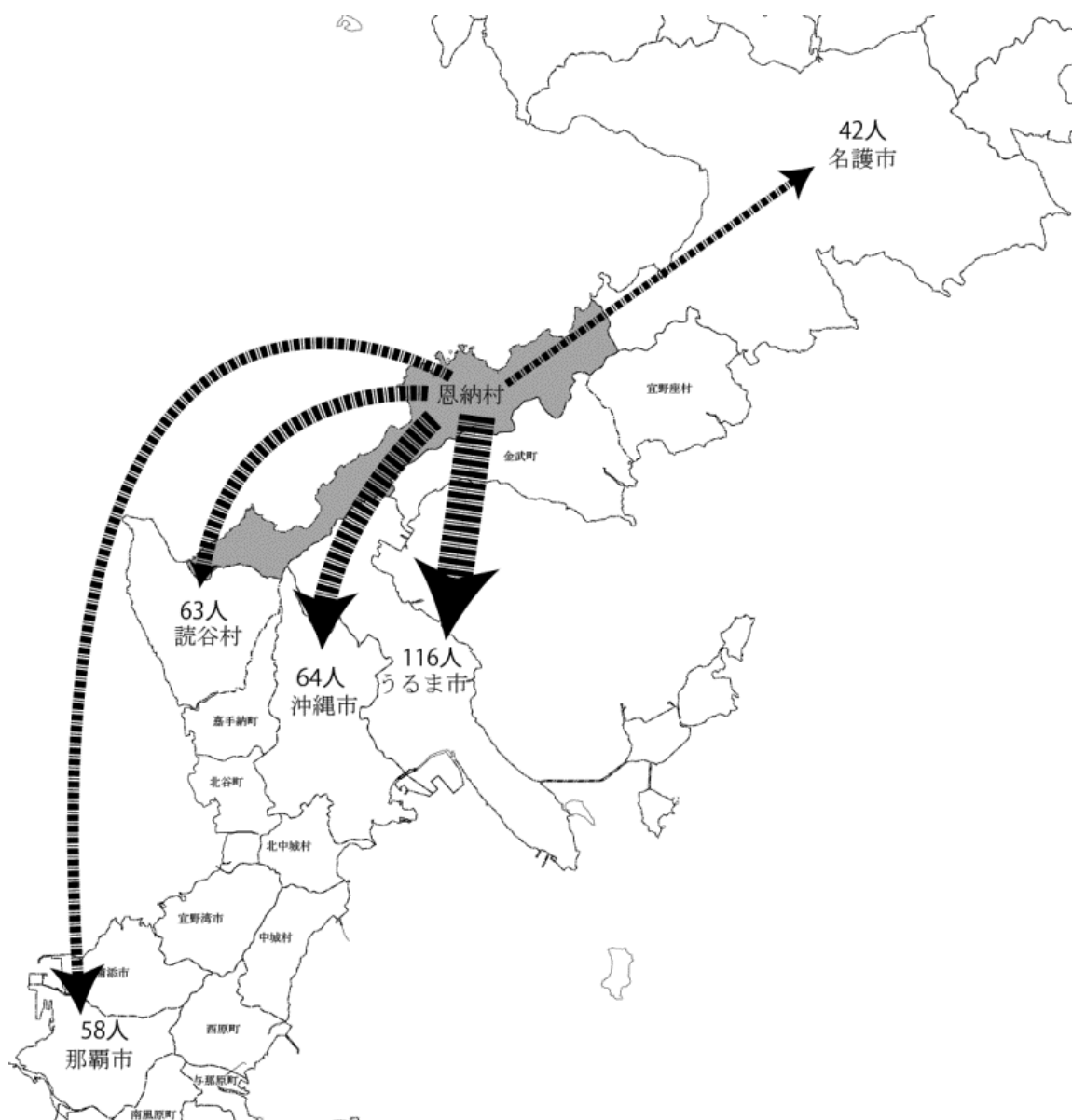
図-転入元の住所地



資料：RESAS (2014 年)

一方、転出数の動向をみると、転入数と同じく、うるま市（116人）への転出が最も多く、次いで沖縄市（64人）、読谷村（63人）、那覇市（58人）、名護市（42人）となっており、これらの自治体については、すべて転出超過となっています。

図－転出先の住所地



資料：RESAS（2014年）

② 5年前の居住地の状況（2005年→2010年）

平成 22（2010）年国勢調査における5年前の居住地の状況をみると、転入者が1,799人、転出者が1,268人と531人の転入超過となっています。

県内・県外等で転入者の内訳をみると、県内949人、県外769人、国外81人となっています。転出者の内訳は県内950人、県外318人となっており、県外等からは転入超過となっています。

県内の上位5市町村の転入数は、隣接するうるま市（216人）が最も多く、次いで沖縄市（116人）、那覇市（106人）、読谷村（89人）、宜野湾市（82人）となっています。

一方、転出については転入と同じく、うるま市（272人）への転出が最も多く、次いで読谷村（121人）、沖縄市（99人）、名護市（88人）、金武町（67人）となっています。

また、うるま市（-56人）、金武町（-34人）、読谷村（-32人）、宜野座村（-14人）、名護市（-7人）については転出超過となっています。

表－5年前の居住地の状況（平成17（2005）年→平成22（2010）年）（単位：人）

	転 入		転 出		転出入 の状況
	総 数	就業者数	総 数	就業者数	
総 数	1,799	1,059	1,268	696	531
県 内 総 数	949	494	950	499	-1
那覇市	106	63	60	41	46
宜野湾市	82	42	56	31	26
浦添市	48	27	32	19	16
名護市	81	49	88	55	-7
沖縄市	116	55	99	53	17
うるま市	216	95	272	124	-56
宜野座村	6	3	20	12	-14
金武町	33	10	67	34	-34
読谷村	89	48	121	64	-32
県 外 総 数	769	513	318	197	451
東京都	158	85	43	26	115
神奈川県	84	50	34	18	50
埼玉県	32	27	16	12	16
千葉県	31	25	12	8	19
その他の都道府県	464	326	213	133	251
国 外	81	52	-	-	81

資料：平成22年国勢調査

6) 昼夜間人口、市町村別流入・流出（15歳以上）人口

平成22（2010）年国勢調査における本村の昼間人口は12,174人、夜間人口（総人口）は10,144人、昼夜間人口比率は120.0%となり、村外からの通勤・通学で流入している人口が多くなっています。

流入流出人口（通勤・通学者の動向）をみると、本村で従業・通学する者は7,144人で、そのうち55.3%（3,953人）が村外からの流入人口（他の自治体から本村への通勤・通学者）となっており、流入率は32.5%となっています。

流入元として最も多い市町村は、うるま市で1,548人、次いで読谷村（630人）、沖縄市（502人）となっています。

また、本村に常住する就業者・通学者は5,122人で、そのうち39.2%（2,006人）が流出人口（他市町村に通勤・通学する者）となり、流出率は19.8%となっています。

流出先として最も多い市町村は、流入人口と同じうるま市（459人）で、次いで名護市（331人）、読谷村（240人）、沖縄市（227人）、那覇市（127人）となっています。

通学者数でみると、流出通学者数（409人）が流入通学者数（4人）の約100倍となっており、本村に高等教育機関がないことが要因として挙げられます。

表－流入・流出人口の状況

(単位：人、%)

昼夜間人口比率	120.0	
昼間人口	12,174	
本村で従業・通学する者	7,144	100.0
村内で就業・通学する者	2,915	40.8
村外から通勤・通学する者（流入人口）	3,953	55.3
不詳	276	3.9
流入率（流入人口/昼間人口）	32.5	
夜間人口	10,144	
本村に常住する就業者・通学者	5,122	100.0
村内で就業・通学する者	2,915	56.9
村外に通勤・通学する者（流出人口）	2,006	39.2
不詳	201	3.9
流出率（流出人口/夜間人口）	19.8	

資料：平成22年国勢調査

表－市町村別流入・流出人口の状況

(単位：人)

	流 入			流 出		
	総 数	就業者	通学者	総 数	就業者	通学者
総 数	3,953	3,949	4	2,006	1,597	409
県 内 総 数	3,933	3,929	4	1,929	1,535	394
那覇市	112	111	1	127	108	19
宜野湾市	141	141	-	100	62	38
石垣市	1	1	-	-	-	-
浦添市	91	91	-	76	68	8
名護市	257	257	-	331	273	58
糸満市	5	5	-	2	2	-
沖縄市	502	502	-	227	179	48
豊見城市	16	16	-	2	2	-
うるま市	1,548	1,547	1	459	345	114
南城市	6	6	-	1	1	-
国頭村	5	5	-	1	1	-
大宜味村	6	6	-	2	2	-
東村	3	3	-	2	2	-
今帰仁村	20	20	-	6	6	-
本部町	18	18	-	11	11	-
宜野座村	84	84	-	37	36	1
金武町	208	208	-	100	98	2
読谷村	630	629	1	240	173	67
嘉手納町	102	102	-	83	61	22
北谷町	92	92	-	68	65	3
北中城村	40	39	1	12	11	1
中城村	8	8	-	8	8	-
西原町	20	20	-	27	17	10
与那原町	4	4	-	3	-	3
南風原町	11	11	-	2	2	-
八重瀬町	3	3	-	1	1	-
与那国町	-	-	-	1	1	-
県 外 総 数	20	20	0	2	2	0
東京圏(東京・埼玉・神奈川)	12	12	-	1	1	-
その他の都道府県	8	8	-	1	1	-

*総数に関しては従業地・通学地「不詳」を含む。

資料：平成22年国勢調査

7) 労働力人口、就業人口及び完全失業率の推移

平成22(2010)年国勢調査における本村の労働力人口は5,212人、就業人口は4,634人、完全失業率は11.1%となっています。

平成7(1995)年以降の推移をみると、労働力人口及び就業人口ともに増加傾向にあります。完全失業者は平成7(1995)年に340人であったものが平成22(2010)年には578人に増加しており、完全失業率も7.3%から11.1%に上昇しています。

表-労働力人口、就業人口及び完全失業率の推移

(単位:人、%)

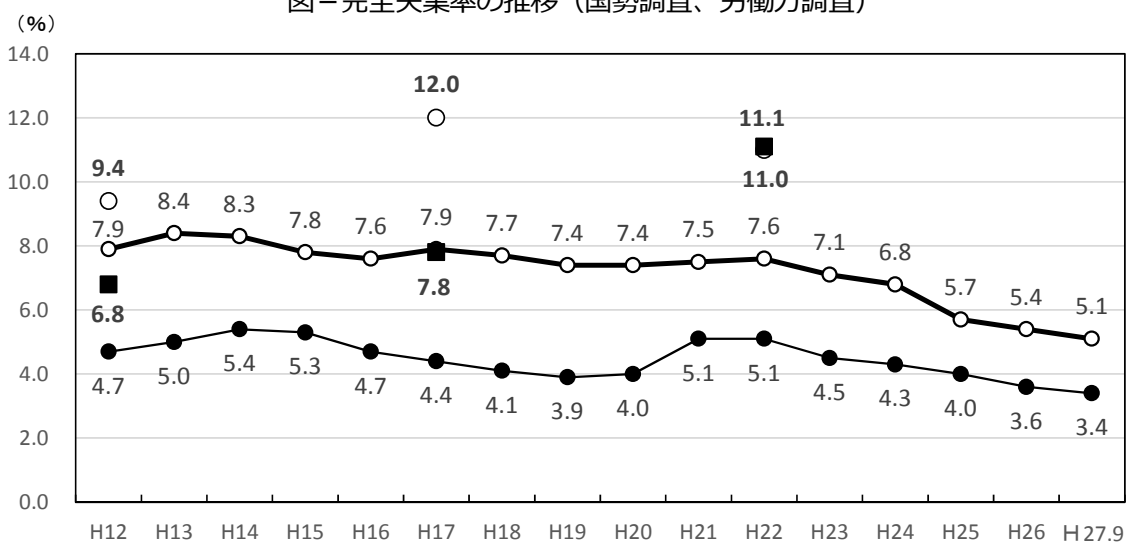
		恩納村				沖縄県
		平成7年	平成12年	平成17年	平成22年	平成22年
15歳以上人口	(A)	7,058	7,469	8,074	8,584	1,138,467
労働力人口	(B)	4,670	4,705	5,044	5,212	650,307
	労働力率(%) B/A	66.2%	63.0%	62.5%	60.7%	57.1%
就業者	(C)	4,330	4,384	4,652	4,634	578,638
	就業者率(%) C/A	61.3%	58.7%	57.6%	54.0%	50.8%
完全失業者	(D)	340	321	392	578	71,669
	完全失業率(%) D/B	7.3%	6.8%	7.8%	11.1%	11.0%

資料:国勢調査

<参 考>

労働力調査における沖縄県の平成26(2014)年平均の完全失業率は5.4%で、前年より0.3ポイント低下しています。ここ数年の完全失業率の推移をみると、国勢調査の調査年である平成22(2010)年は7.6%であったものが、それ以降、低下し続け、平成22(2010)年と平成26(2014)年と比較すると2.2ポイント低下しています。

図-完全失業率の推移(国勢調査、労働力調査)



● 国(労働力調査) ○ 沖縄県(労働力調査) ○ 沖縄県(国勢調査) ■ 恩納村(国勢調査)

資料:国勢調査、労働力調査

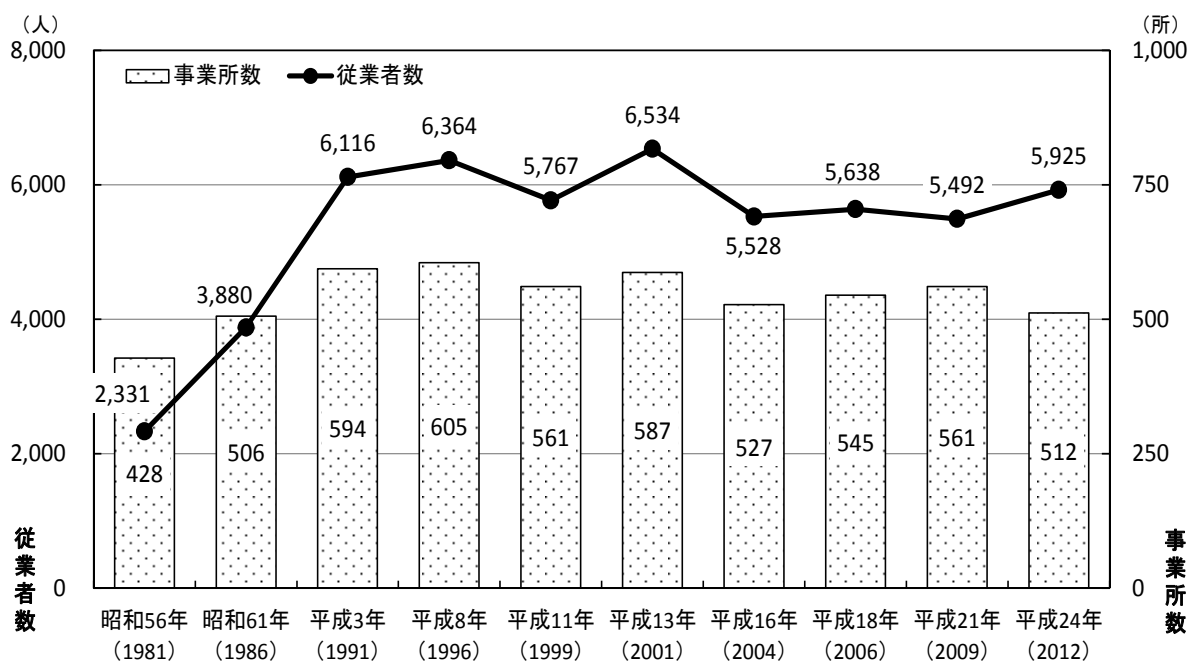
8) 従業者数と事業所数の推移

(1) 従業者数と事業所数の推移

事業所・企業統計調査、経済センサスにおける村内の事業所数の昭和 56（1981）年以降の推移をみると、昭和 56（1981）年の 428 事業所から増加し、平成 8（1996）年の 605 事業所をピークに減少傾向となり、平成 24（2012）年には 512 事業所となっています。

従業者数は、昭和 56（1981）年以降、増加傾向で推移し、平成 13（2001）年の 6,534 人をピークとして一旦減少しましたが、近年は微増傾向にあり、平成 24（2012）年には 5,925 人となっています。

図－従業者数と事業所数の推移

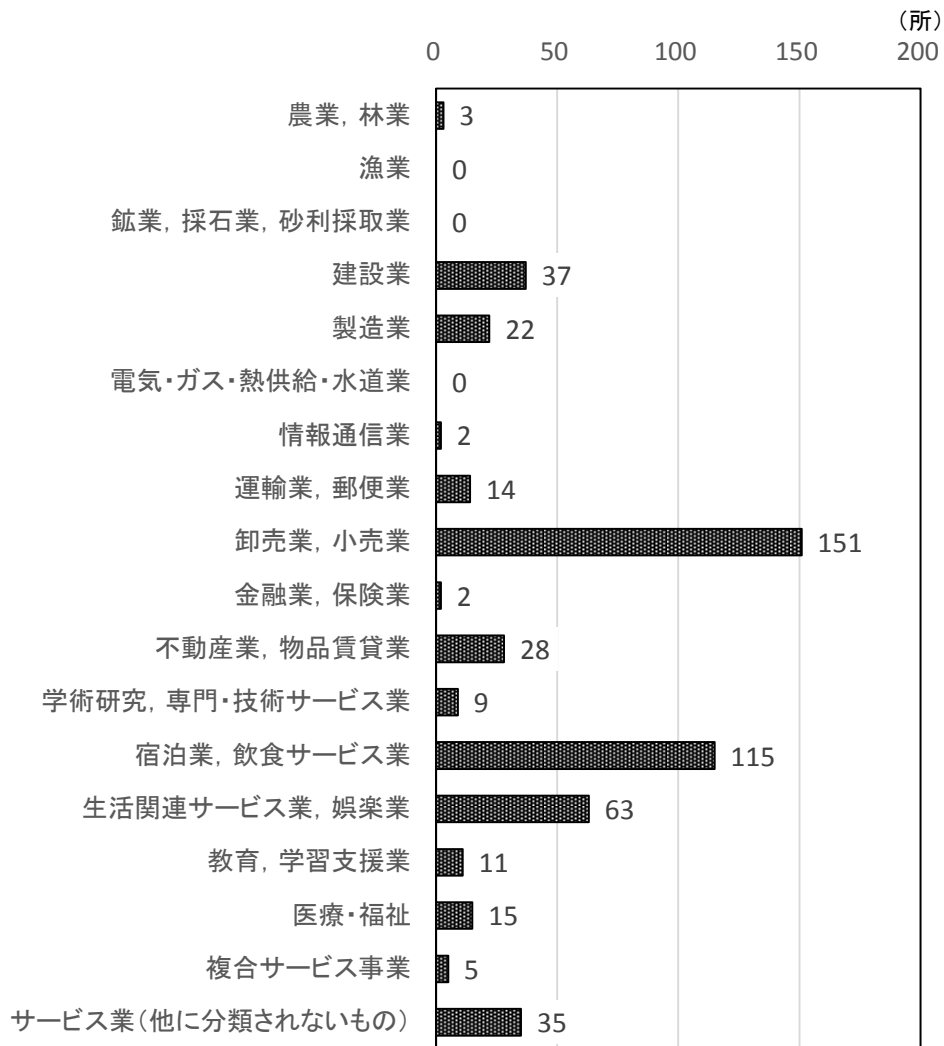


資料：事業所・企業統計調査、経済センサス（公務除く）

(2) 産業別事業所数

産業別事業所数をみると、「卸売業、小売業」が151事業所で最も多く、次いで「宿泊業、飲食サービス業」(115事業所)、「生活関連サービス、娯楽業」(63事業所)と続いています。

図－産業別事業所数（平成24年）



資料：平成24年経済センサス（公務除く）

9) 産業別就業人口

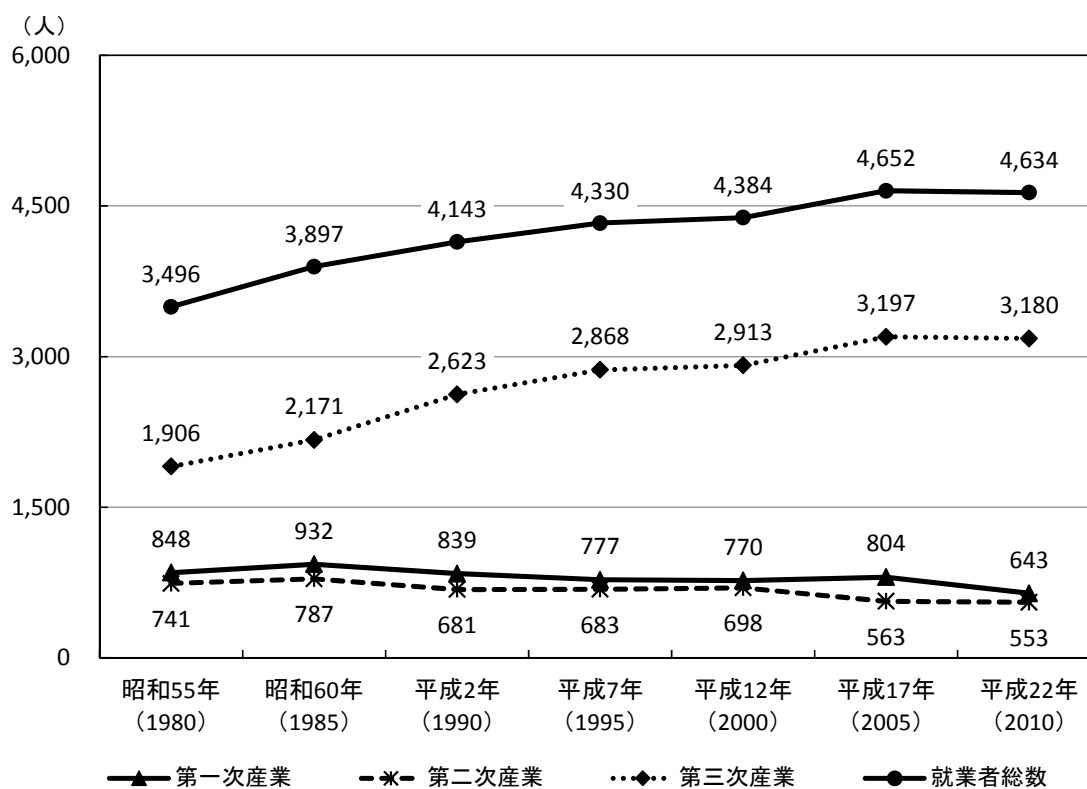
(1) 産業別就業人口

平成 22 (2010) 年国勢調査によると、本村の産業別就業人口は第一次産業が 643 人 (13.9%)、第二次産業が 553 人 (11.9%)、第三次産業が 3,180 人 (68.6%) となっています。

昭和 55 (1980) 年からの 30 年間で、第一次産業及び第二次産業は増減を繰り返しながらも減少傾向となる一方で、第三次産業は増加傾向となっています。

村全体の就業者数については、平成 17 (2005) 年以降、概ね横ばいとなっています。

図-産業別就業人口の推移 (15 歳以上)



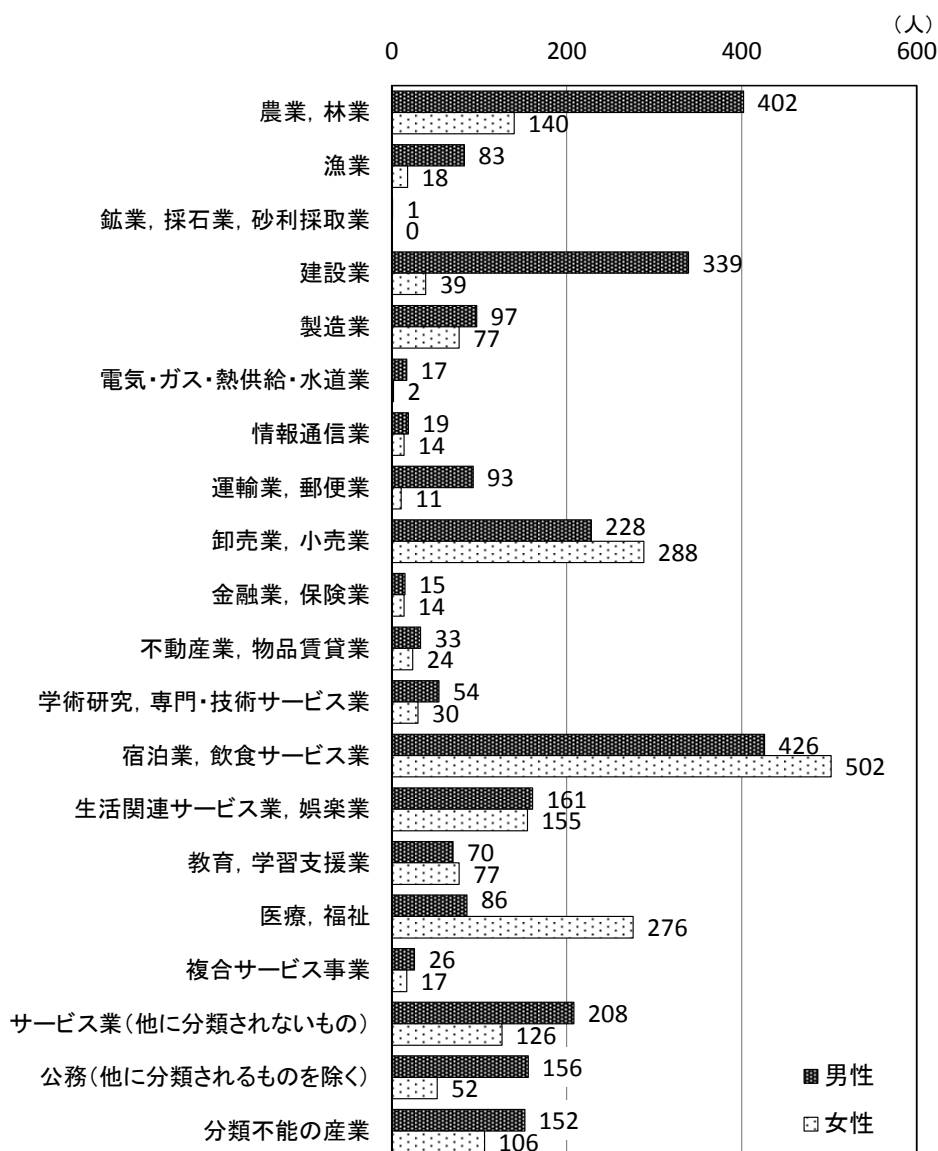
資料：国勢調査

(2) 男女別産業人口

平成 22 (2010) 年国勢調査における男女別産業別就業人口の状況をみると、男性では「宿泊業, 飲食サービス業」(426 人)、「農業, 林業」(402 人)、「建設業」(339 人)が多くなっています。

女性では、男性と同じく「宿泊業, 飲食サービス業」(502 人)が最も多く、次いで「卸売業, 小売業」(288 人)、「医療, 福祉」(276 人)となっています。

図－男女別産業別就業人口 (平成 22 年)



資料：平成 22 年国勢調査

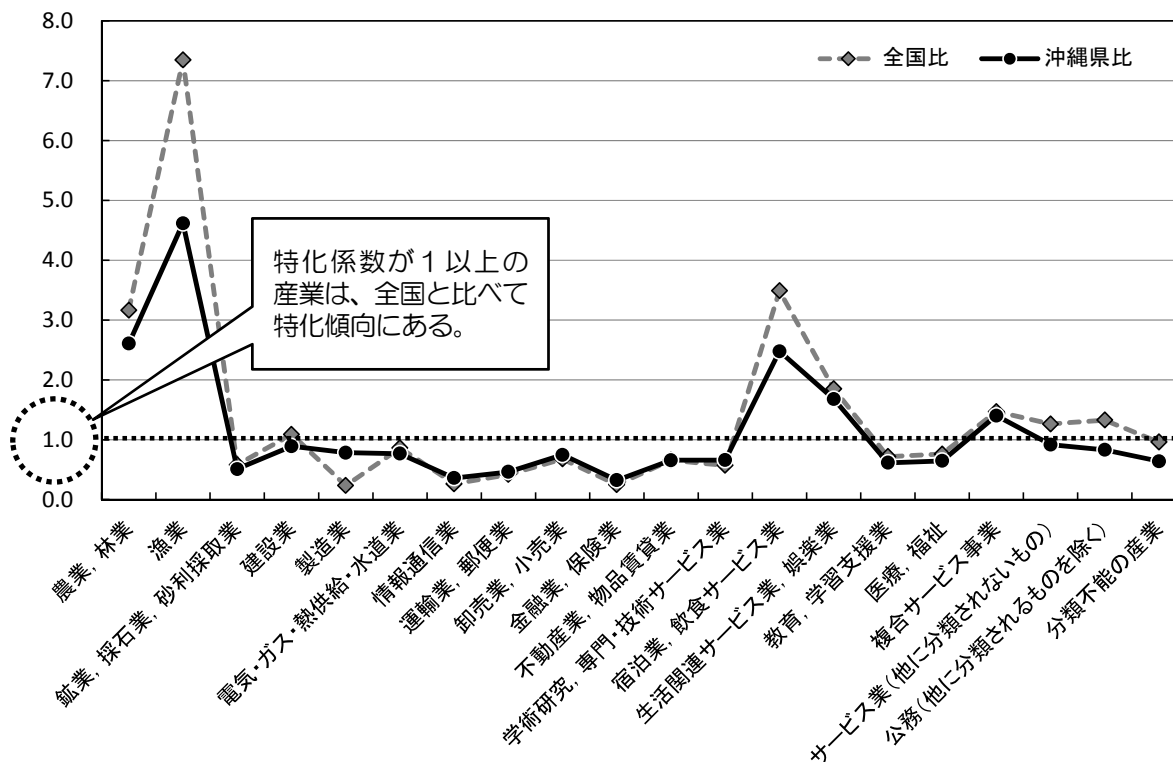
(3) 産業別就業人口に特化係数

平成 22 (2010) 年国勢調査による全国のある産業の就業者比率に対する特化係数(本村のX産業の就業者比率/全国のX産業の就業者比率)をみると、全国比では「製造業」、「情報通信業」、「金融業、保険業」が低く、「農業、林業」、「漁業」、「宿泊業、飲食サービス業」、「生活関連サービス業、娯楽業」が高くなっています。

沖縄県比では「情報通信業」、「金融業、保険業」が低く、「農業、林業」、「漁業」、「宿泊業、飲食サービス業」が高くなっています。

これらのことから、本村の産業別従業者数を全国、沖縄県と比較をすると、農業、漁業などの第一次産業及び宿泊業、飲食サービス業の観光関連産業が強みであることがうかがえます。

図-産業別就業人口における特化係数(平成 22 年)



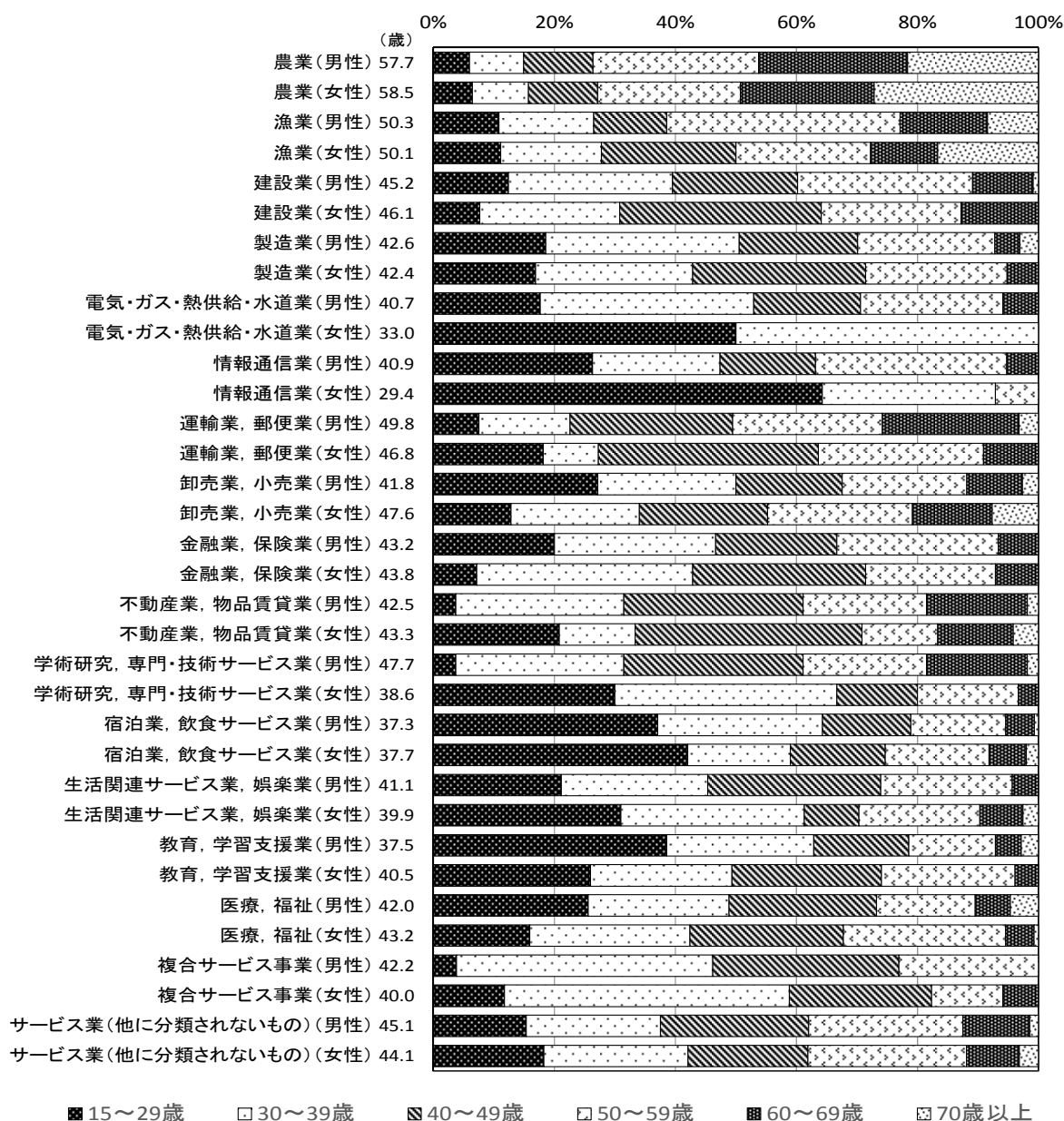
資料：平成 22 年国勢調査

(4) 男女別の年齢階級別産業人口

平成 22 (2010) 年国勢調査による主な産業別の男女別就業者の年齢階級をみると、男女ともに「農業」(男性：57.7 歳、女性：58.5 歳) が最も高く、最も低い平均年齢は男性では「宿泊業・飲食サービス業」(37.3 歳)、女性では「情報通信業」(29.4 歳) となっています。

本村において就業人口による特化係数の高い「農業」において高齢化が進んでいる一方で、同じく特化係数の高い「宿泊業・飲食サービス業」においては 10～30 代の就業者の割合が高くなっています。

図－年齢階級別産業別就業人口と産業別平均年齢（平成 22 年）



資料：平成 22 年国勢調査

2. 将来人口の推計と分析

1) 現状のまま推移した場合の将来人口推計

これまでに公表されている将来人口については、国勢調査人口をベースにした社人研による推計と、日本創成会議による推計があります。これらに加え、本計画では住民基本台帳人口をベースにした独自の推計も行いました。

(1) 推計パターンの設定

推計条件は、『「地方人口ビジョン」及び「地方版総合戦略」の策定に向けた人口動向分析・将来人口推計について』（平成26年10月20日内閣官房まち・ひと・しごと創生本部事務局）に基づき、以下の3パターンで推計を行います。

パターン1：社人研（国立社会保障・人口問題研究所）推計の概要
<ul style="list-style-type: none"> ◆コーホート要因法による推計 ◆主に平成17（2005）年から平成22（2010）年の人口動向を勘案し、将来の人口を推計 ◆移動率は、今後、全域的に縮小すると仮定 <p><出生に関する仮定></p> <ul style="list-style-type: none"> ・原則として、平成22（2010）年の全国の子ども女性比（15歳～49歳女性人口に対する0～4歳人口の比）と各自治体の子ども女性比との比をとり、その比が平成27（2015）年以降、平成52（2040）年まで一定として自治体ごとに仮定値を設定 <p><死亡に関する仮定></p> <ul style="list-style-type: none"> ・原則として、55歳～59歳→60歳～64歳以下では、全国と都道府県の平成17（2005）年→平成22（2010）年の生存率の比から算出される生存率を都道府県内市町村に対して一律に適用。60～64歳→65～69歳以上では、上述に加えて、都道府県と市町村の平成12（2000）年→平成17（2005）年の生存率の比から算出される生存率を市町村別に適用 <p><移動に関する仮定></p> <ul style="list-style-type: none"> ・原則として、平成17（2005）年から平成22（2010）年の国勢調査に基づいて算出された純移動率を、平成27（2015）年から平成32（2020）年までに定率で0.5倍に縮小し、その後はその値を平成47（2035）年から平成52（2040）年まで一定と仮定
パターン2：日本創成会議推計の概要
<ul style="list-style-type: none"> ◆社人研推計をベースに、人口移動が収束しないと仮定した推計 <p><移動に関する仮定></p> <ul style="list-style-type: none"> ・人口移動が収束せず、平成52（2040）年まで概ね同水準で推移すると仮定し、社人研推計における純移動率を調整（社人研推計より純移動率が大きくなる）

パターン3：住民基本台帳人口を用いた推計

◆コーホート要因法による推計

◆主に平成22（2010）年から平成27（2015）年の人口動向を勘案し、将来の人口を推計

<出生に関する仮定>

- 平成25（2013）年の本村における女性の年齢別出生率（平成25年4月末住民基本台帳人口、平成25年衛生統計年報）を算出し、これを5乗した値が平成32（2020）年以降、一定と設定

<0歳に関する仮定>

- 平成25（2013）年の0歳児の人数（平成25年衛生統計年報）を、平成32（2020）年以降、一定と設定

<死亡に関する仮定>

- 生存率については、平成25（2013）年における年齢別人口（平成25年4月末住民基本台帳人口）と死亡数（平成25年衛生統計年報）より、本村の単年度の生存率を算出し、それを5乗した値が平成32（2020）年以降、一定と設定

<移動に関する仮定>

- 平成22（2010）年～平成27（2015）年の住民基本台帳人口（各年4月末）に基づいて算出された純移動率を、平成32（2020）年から平成37（2025）年までに定率で0.5倍に縮小し、その後はその値を一定と設定

<各種人口データ>

データの名称	概要
国勢調査人口	各市区町村に居住している住民の数を示す人口 <ul style="list-style-type: none"> 住民登録の有無を問わない 日本人・外国人を含む 調査年度が5年に1回と少ない
住民基本台帳人口	市区町村に住民登録を行っている住民の人口 <ul style="list-style-type: none"> 平成24年7月以降は外国人を含む 住民票を移動せずに転入・転出している人口は反映されない

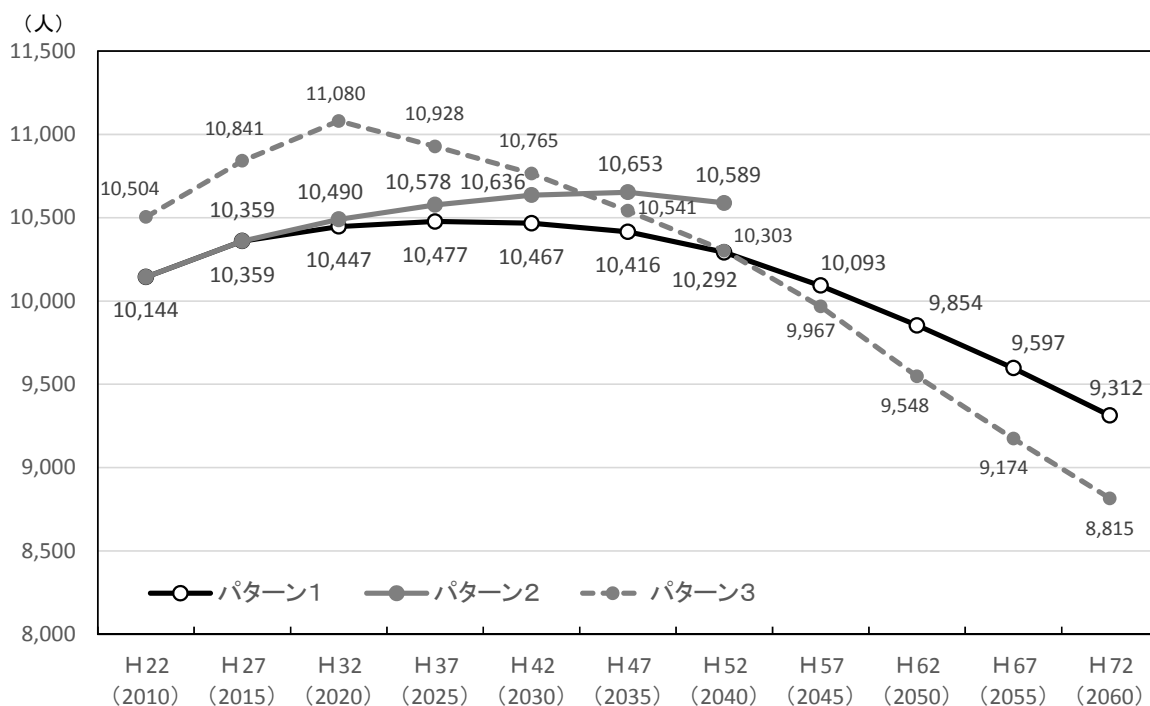
(2) 推計結果

平成 52 (2040) 年の将来人口の推計結果は、パターン1 (社人研推計) が 10,292 人、パターン2 (日本創成会議推計) が 10,589 人、パターン3 (住民基本台帳人口を用いた推計) が 10,303 人と、パターン1 が最も低い値となっています。

国勢調査人口による本村の将来推計人口は、平成 17 (2005) 年から平成 22 (2010) 年にかけて転入超過 (社会増) となっていることから、純移動率が縮小しない仮定のパターン2より、純移動率が縮小するパターン1 の推計の方が人口減少の進む見通しとなっています。

住民基本台帳人口による将来推計人口は、合計特殊出生率が低いこと等の影響により、長期的にみると急激に人口減少が進む結果となっています。

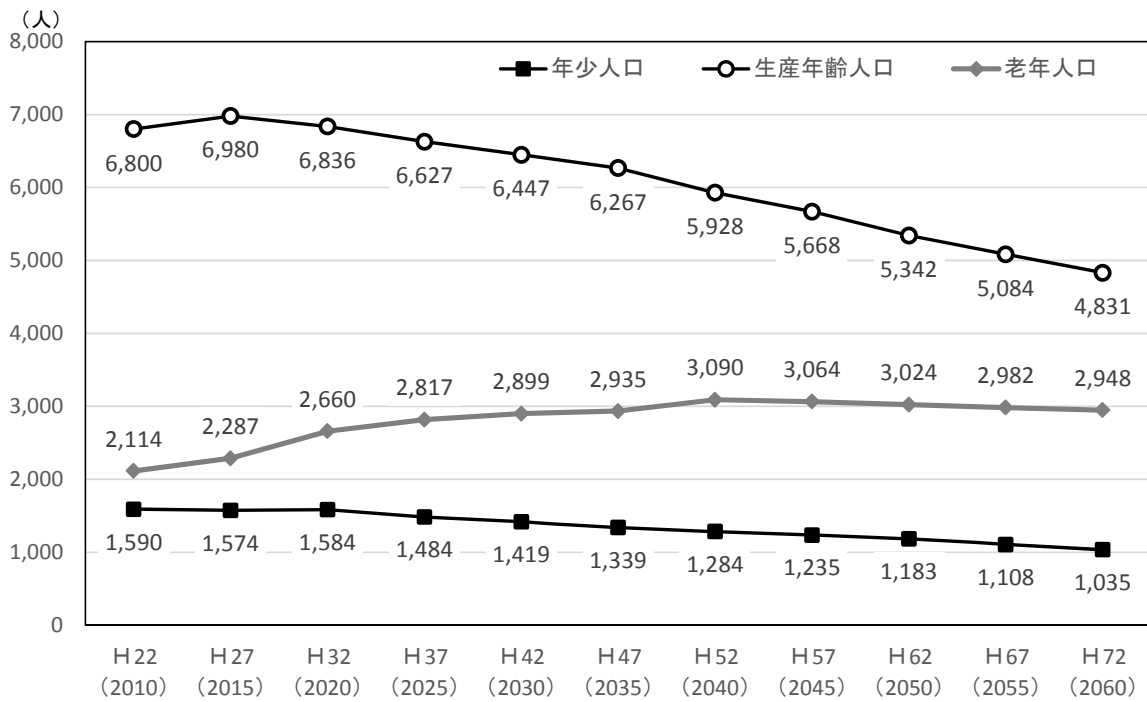
図-将来人口推計結果 (パターン1、パターン2、パターン3)



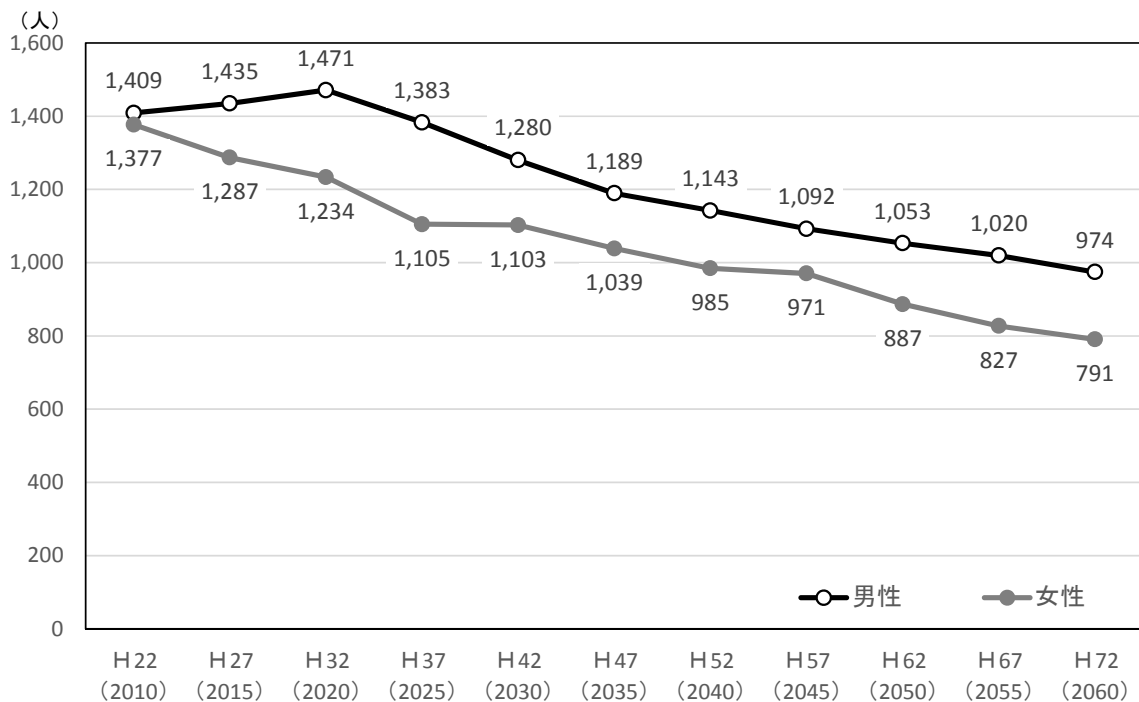
パターン3における年齢3区分別人口の推計結果をみると、年少人口 (0~14 歳) 及び生産年齢人口 (15~64 歳) が減少し続ける一方で、老年人口 (65 歳以上) が増加し続けています。

また、パターン3で 20 歳~39 歳の男女別人口の推計結果をみると、男女ともに一貫して減少傾向となることが予測されています。

図－年齢3区分別人口の推計結果（パターン3）



図－20～39歳の男女別人口の推計結果（パターン3）



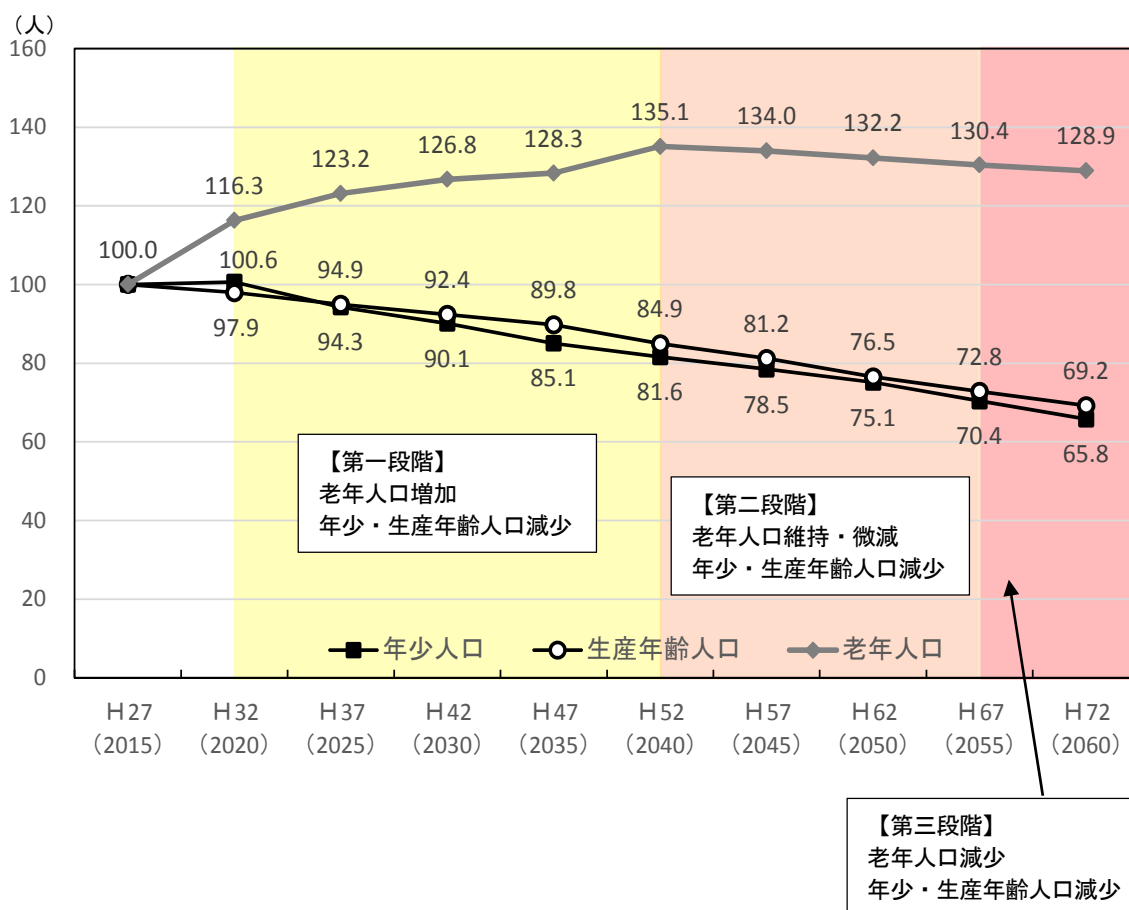
(3) 人口の減少段階

ここでは、パターン3（住民基本台帳人口を用いた推計）のデータを用いて「人口減少段階」を分析します。

人口減少段階は、「第1段階：老年人口の増加（総人口の減少）」、「第2段階：老年人口の維持・微減」、「第3段階：老年人口の減少」の3つの段階に分類され、この順序で人口減少が進むとされています。

本村では平成32（2020）年頃には第1段階に、平成52（2040）年頃に第2段階に、平成67（2055）年頃に第3段階に移行すると推測されます。

図－将来人口推計結果（パターン3）
（2015年を100とした場合の指数）



また、人口減少率についてみると、平成52（2040）年には平成27（2015）年と比較して年少人口は81.6%（18.4%の人口減少）、生産年齢人口では84.9%（15.1%の人口減少）になると推計されています。

2) 自然増減、社会増減の影響度の分析

(1) 人口推計シミュレーション

将来人口に及ぼす自然増減、社会増減の影響度等を分析するため、住民基本台帳人口を用いた推計（パターン3）データを基本に、以下のシミュレーションを行います。

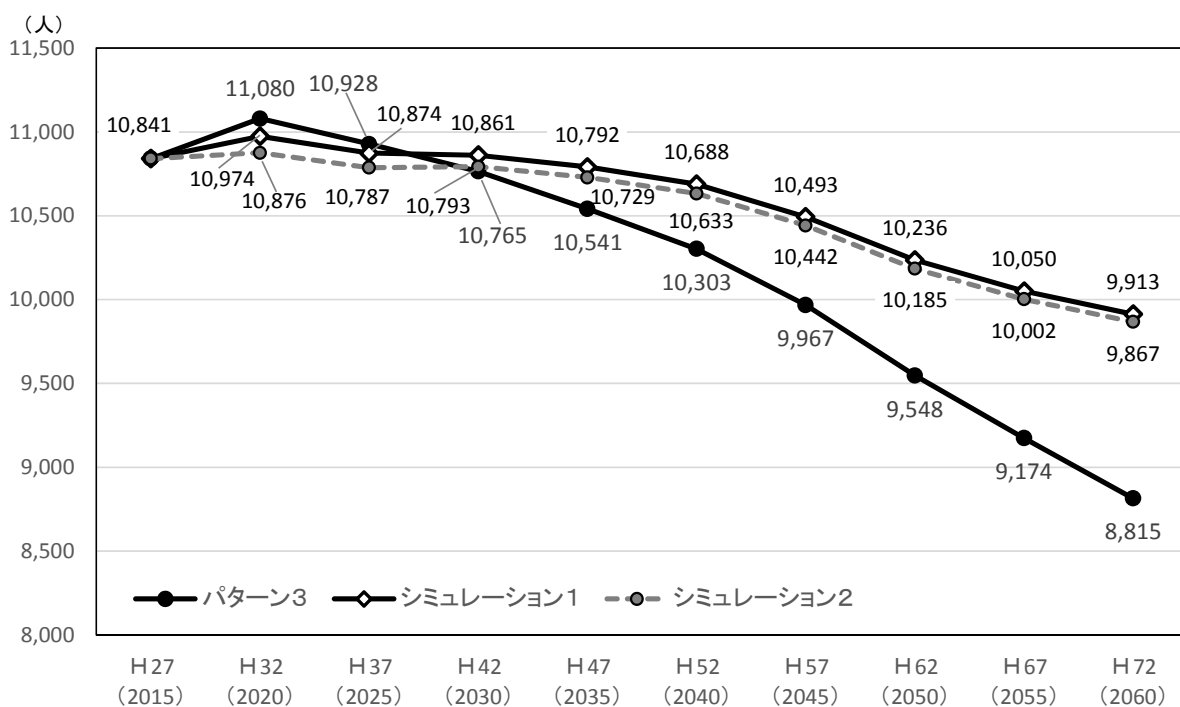
シミュレーション1（合計特殊出生率が2.1まで上昇）
・合計特殊出生率が平成42（2030）年までに人口置換水準（人口を長期的に一定に保つことができる水準2.1）まで上昇すると仮定した場合のシミュレーション
シミュレーション2（合計特殊出生率が2.1まで上昇かつ移動率0）
・合計特殊出生率が平成42（2030）年までに人口置換水準（2.1）まで上昇し、かつ人口移動が均衡（転入者数・転出者数が同数となり、純移動率がゼロで推移する）と仮定した場合のシミュレーション

(2) 推計結果

出生率が人口置換水準（2.1）まで上昇すると仮定したシミュレーション1では、平成52（2040）年の総人口は10,688人と推計されます。また、出生率が人口置換水準まで上昇し、かつ人口移動が均衡すると仮定したシミュレーション2では、平成52（2040）年の総人口は10,633人と推計されます。

パターン3と比較すると、シミュレーション1では385人、シミュレーション2では330人多くなっています。

図－将来人口推計結果（パターン3、シミュレーション1、2）



パターン3（住民基本台帳人口を用いた推計）とシミュレーション1の結果を比較することで、将来人口に及ぼす出生率の影響度（自然増減の影響度）を分析します。

また、シミュレーション1の結果とシミュレーション2の結果とを比較することで、将来人口に及ぼす人口移動の影響度（社会増減の影響度）を分析します。

分類	計算方法	影響度
自然増減の影響度	パターン3の平成52（2040）年推計人口=10,303人 シミュレーション1の平成52（2040）年推計人口=10,688人 $10,688 \text{ 人} / 10,303 \text{ 人} = 103.7\%$ <自然増減の影響度> 1：100%未満、2：100~105%、3：105~110%、 4：110~115%、5：115%以上の増加	2
社会増減の影響度	シミュレーション1の平成52（2040）年推計人口=10,688人 シミュレーション2の平成52（2040）年推計人口=10,633人 $10,633 \text{ 人} / 10,688 \text{ 人} = 99.5\%$ <社会増減の影響度> 1：100%未満、2：100~110%、3：110~120%、 4：120~130%、5：130%以上の増加	1

分析結果は、自然増減の影響度が「2（影響度 100~105%）」、社会増減の影響度が「1（影響度 100%未満）」となっています。

これより、出生率の向上を図る施策に積極的に取り組むことが、将来の人口減少に歯止めをかける上でより効果的であると言えます。

3. 人口の変化が地域の将来に与える影響の分析・考察

ここでは、国・県の資料等をもとに、人口の変化が地域の将来に与える影響について以下のように整理を行います。

1) 地域経済への影響

人口減少は消費者数の減少に直結しており、人口が減少することによって消費市場が縮小し、地域にある小さな商店や公共交通、病院等、日常生活に必要なサービスの確保が困難になっていきます。

農業、漁業をはじめとした産業分野においても後継者不足がますます進み、地域経済の衰退は避けられない状況となります。本村においても遊休農地が増加する傾向が見られます。遊休農地の増加は、地域の景観の悪化や地域の魅力低下につながるおそれがあり、ひいては地域力の低下を招く可能性があります。

2) 地域コミュニティへの影響

人口減少による若年層の減少により、地域の伝統行事や伝統芸能の継承が困難になる可能性があります。さらに、地域活動の縮小による住民同士の交流機会の減少や地域への愛着心が薄れていくことが懸念されます。

3) 財政・行政サービス水準等への影響

人口減少とそれに伴う経済・産業活動の縮小によって、地方公共団体の税収入は減少しますが、その一方で、高齢化の進行から社会保障費の増加が見込まれ、地方財政はますます厳しさを増すことが予測されます。このような状況が続けば、それまで受けていた行政サービスの廃止又は有料化に至る可能性があり、結果として生活の利便性の低下につながります。

また、昭和47（1972）年の本土復帰や昭和50（1975）年から開催された沖縄国際海洋博覧会を契機に多く建設された公共施設や道路などの社会基盤施設の老朽化への対応が多く発生する可能性があります。

4. 将来展望に向けた調査・分析

将来人口の展望を行うために、その参考として、以下の調査の主な結果等の概要を提示します。これらをもとに本村の人口動態に与える要因について考察を行い、目指すべき将来の方向、人口の将来展望、その目標を実現するための総合戦略の設計に活用します。

1) 就職・進学に関するアンケート

村内在住の18～24歳を対象に就職や進学に関する意向をうかがい、『恩納村まち・ひと・しごと創生総合戦略』の策定に係る基礎資料として活用することを目的に実施しました。

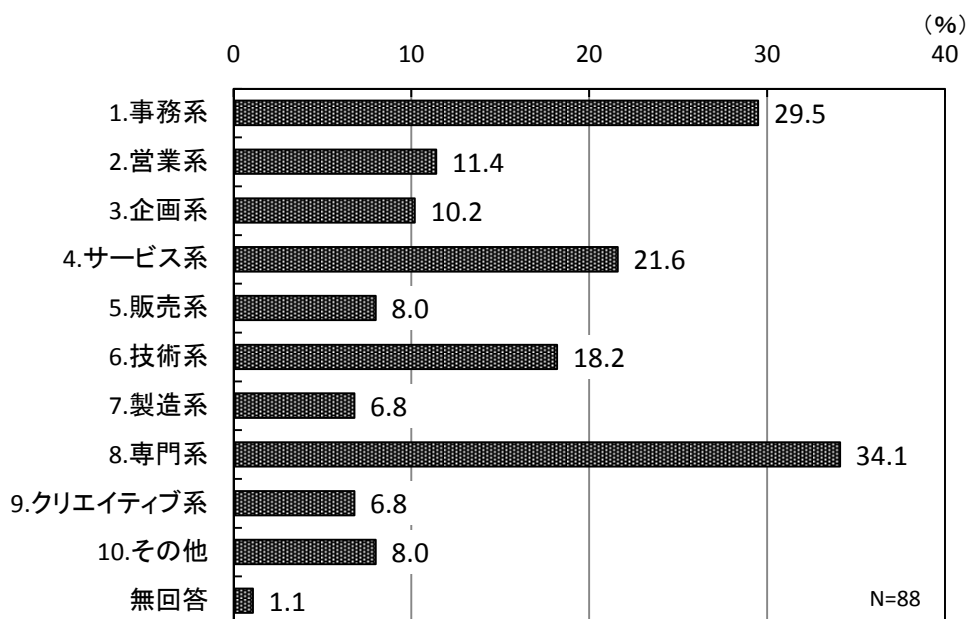
対象者	村内在住の18～24歳の787名
調査期間	平成27年7月30日～平成27年8月11日
調査方法	郵送による配布・回収
有効回収等	88件（11.2%）

将来の就職についてお聞きします。

問 将来つきたいと思う職種（複数回答）

専門系、事務系、サービス系を希望する割合が高い

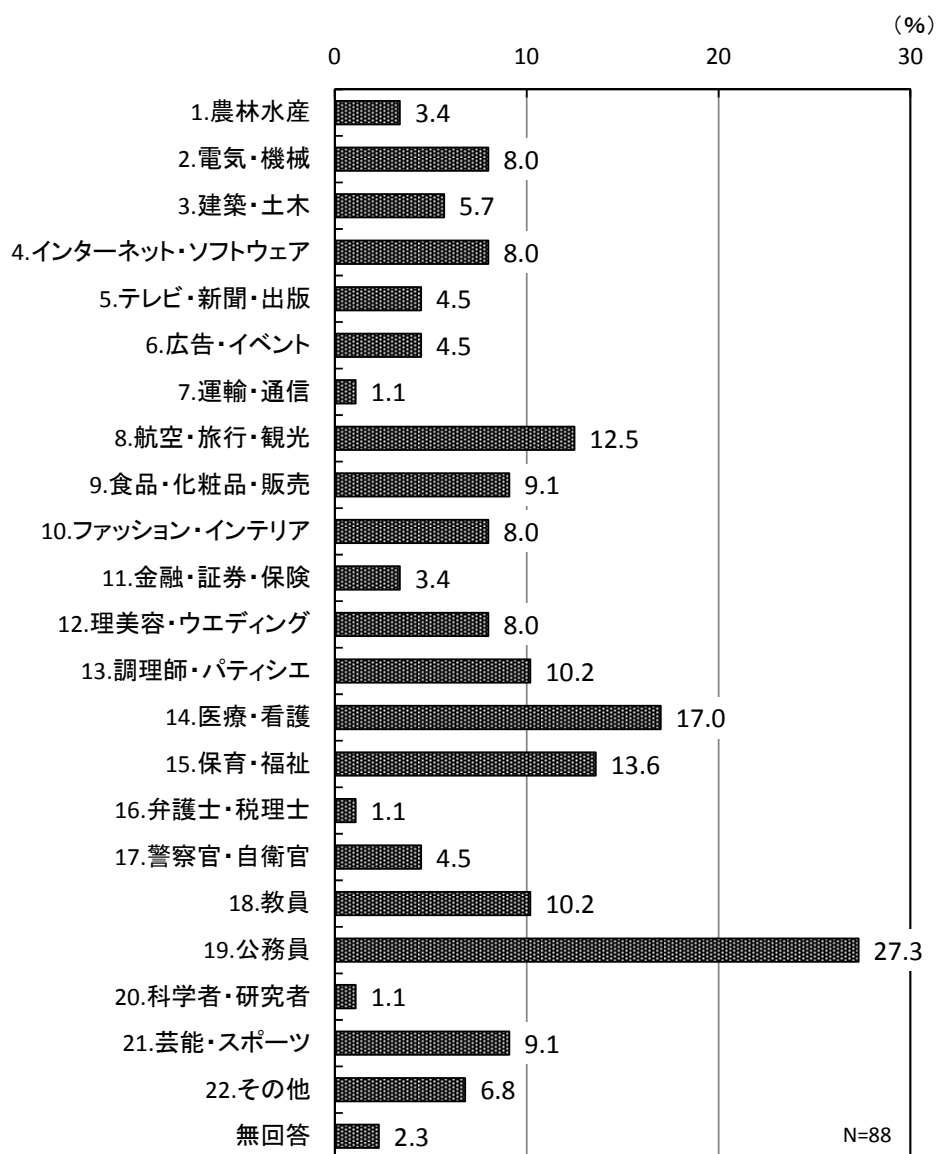
「8.専門系」が3割強（34.1%）で高く、次いで「1.事務系」が約3割（29.5%）、「4.サービス系」が2割強（21.6%）、「6.技術系」が2割弱（18.2%）、「2.営業系」（11.4%）、「3.企画系」（10.2%）と続いています。



問 将来つきたいと思う分野（複数回答）

公務員、医療・看護、保育・福祉、航空・旅行・観光が高い

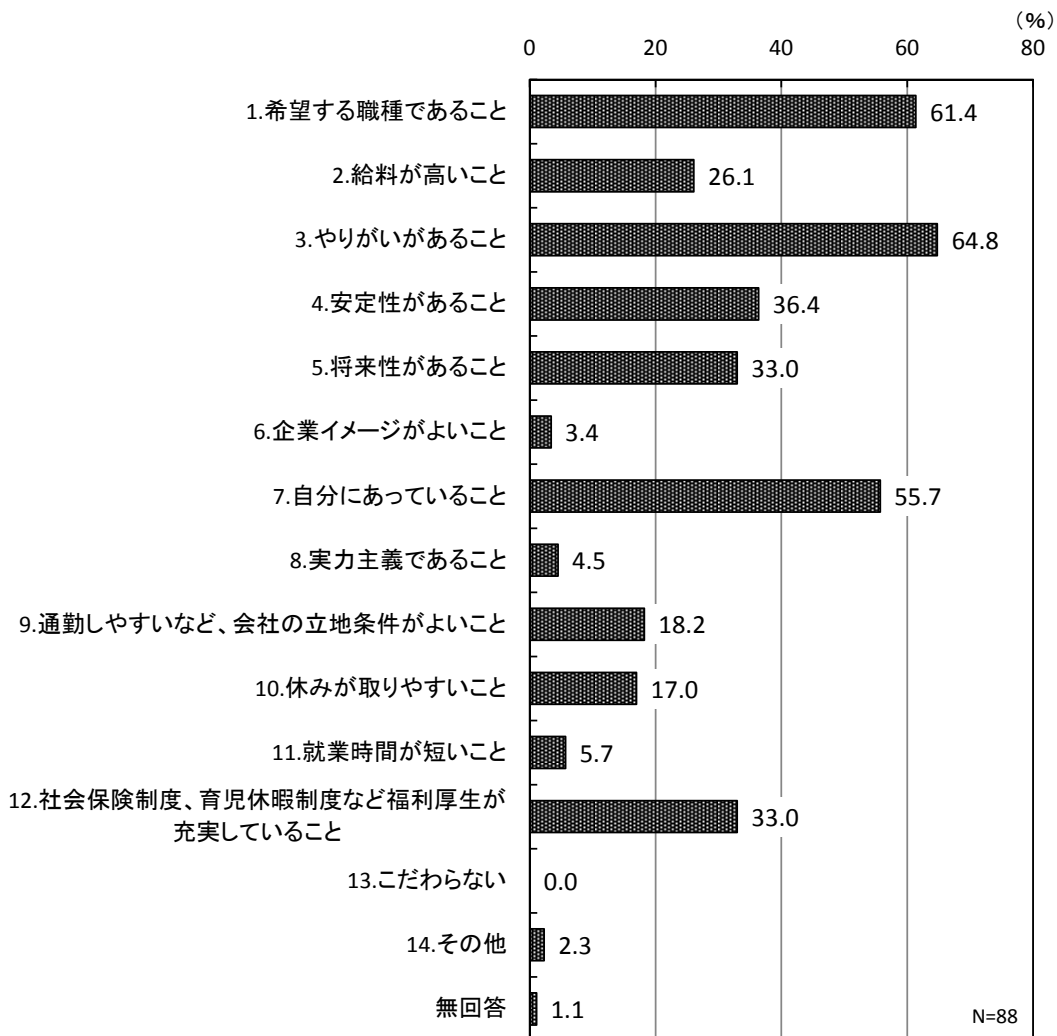
「19.公務員」が3割弱(27.3%)で高く、次いで「14.医療・看護」が2割弱(17.0%)、「15.保育・福祉」(13.6%)、「8.航空・旅行・観光」(12.5%)がそれぞれ1割強と続いています。



問 就職を決める際の条件（複数回答）

やりがいや希望する職種であることの他に、安定性や将来性も上位である

「3.やりがいがあること」(64.8%)、「1.希望する職種であること」(61.4%)がそれぞれ6割強と高く、次いで「7.自分にあっていること」が6割弱(55.7%)、「4.安定性があること」が4割弱(36.4%)、「5.将来性があること」、「12.社会保険制度、育児休暇制度など福利厚生が充実していること」がそれぞれ3割強(ともに33.0%)と続いています。

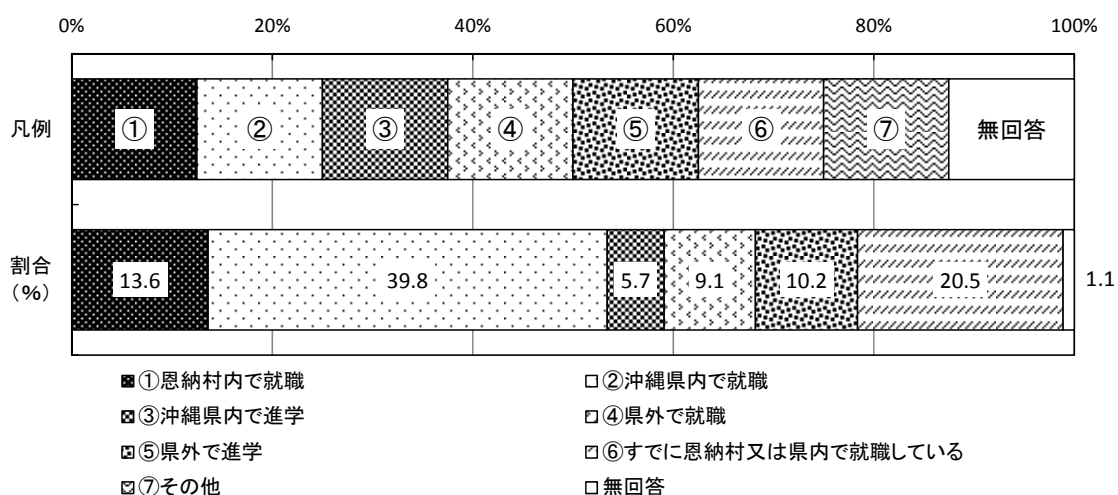


問 希望の進路先（予定を含む）

沖縄県内での進路希望者が5割弱

「⑥すでに恩納村又は県内で就職している」（20.5%）と「無回答」（1.1%）を除く回答をみると、『沖縄県内で就職・進学』（「②沖縄県内で就職」＋「③沖縄県内で進学」）が5割弱（45.5%）と高く、『県外で就職・進学』（「④県外で就職」＋「⑤県外で進学」）は2割弱（19.3%）となっています。

なお、「①恩納村内で就職」は1割強（13.6%）にとどまっています。

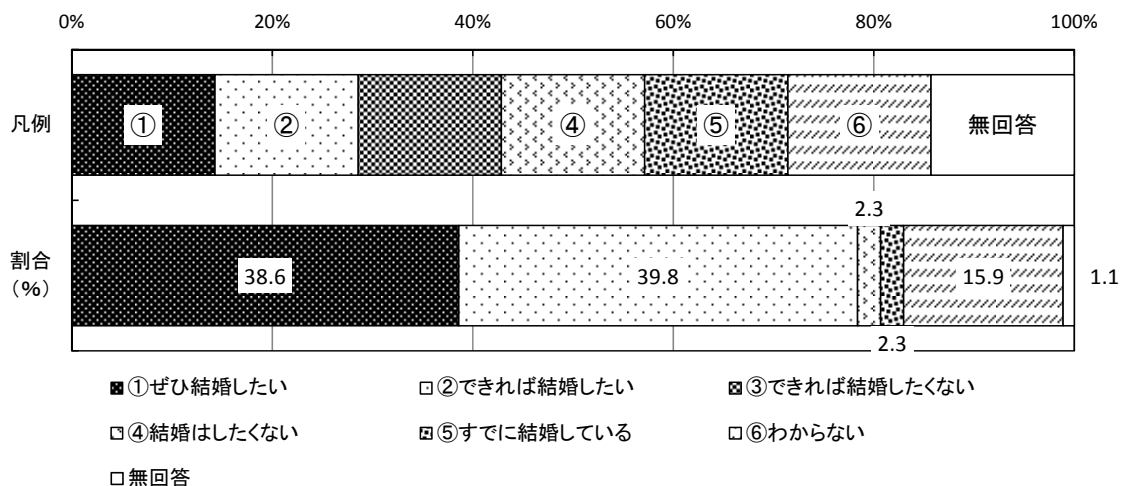


結婚や子育てなどについてお聞きします。

問 結婚について考えに近いもの

8割弱が結婚したい

『結婚したい』（「①ぜひ結婚したい」＋「②できれば結婚したい」）が8割弱（78.4%）を占めています。一方で、「⑥わからない」が2割弱（15.9%）となっています。

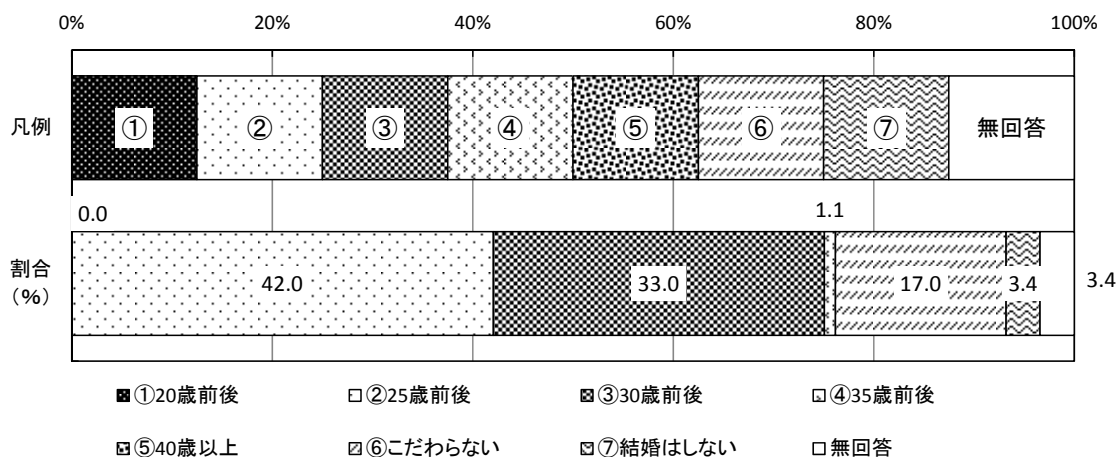


問 何歳くらいで結婚したいか

25歳前後、30歳前後の希望が高い

「②25歳前後」が4割強(42.0%)で高く、次いで「③30歳前後」が3割強(33.0%)となっており、8割弱(75.0%)が『30歳前後までに結婚したい』と考えています。

一方で、「⑥こだわらない」(17.0%)や「⑦結婚はしない」(3.4%)とする回答もみられます。

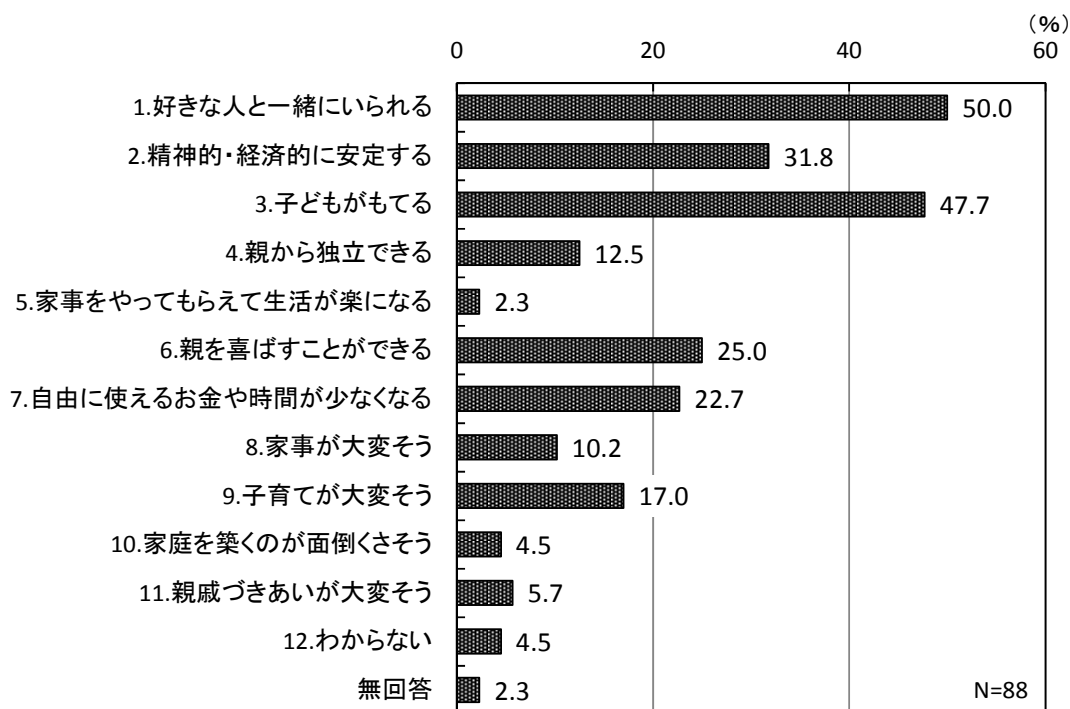


問 結婚についてのイメージ (複数回答)

好きな人と一緒にいられる、子どもがもてるとする割合が高い

「1.好きな人と一緒にいられる」(50.0%)及び「3.子どもがもてる」(47.7%)がそれぞれ5割程度と高く、以下「2.精神的・経済的に安定する」(31.8%)、「6.親を喜ばすことができる」(25.0%)と続いています。

一方で、「7.自由に使えるお金や時間が少なくなる」(22.7%)や「9.子育てが大変そう」(17.0%)など、マイナスイメージに関連する回答も高くなっています。

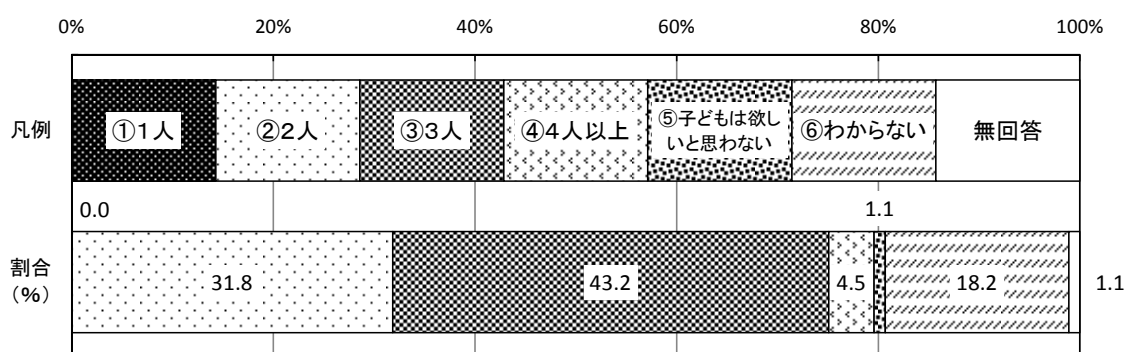


問 子どもは何人くらいほしいか

3人、2人が高い

「③3人」が4割強（43.2%）で最も高く、「②2人」が3割強（31.8%）、「④4人以上」（4.5%）となり、半数近く（46.6%）が『3人以上』子どもが欲しいと回答しています。

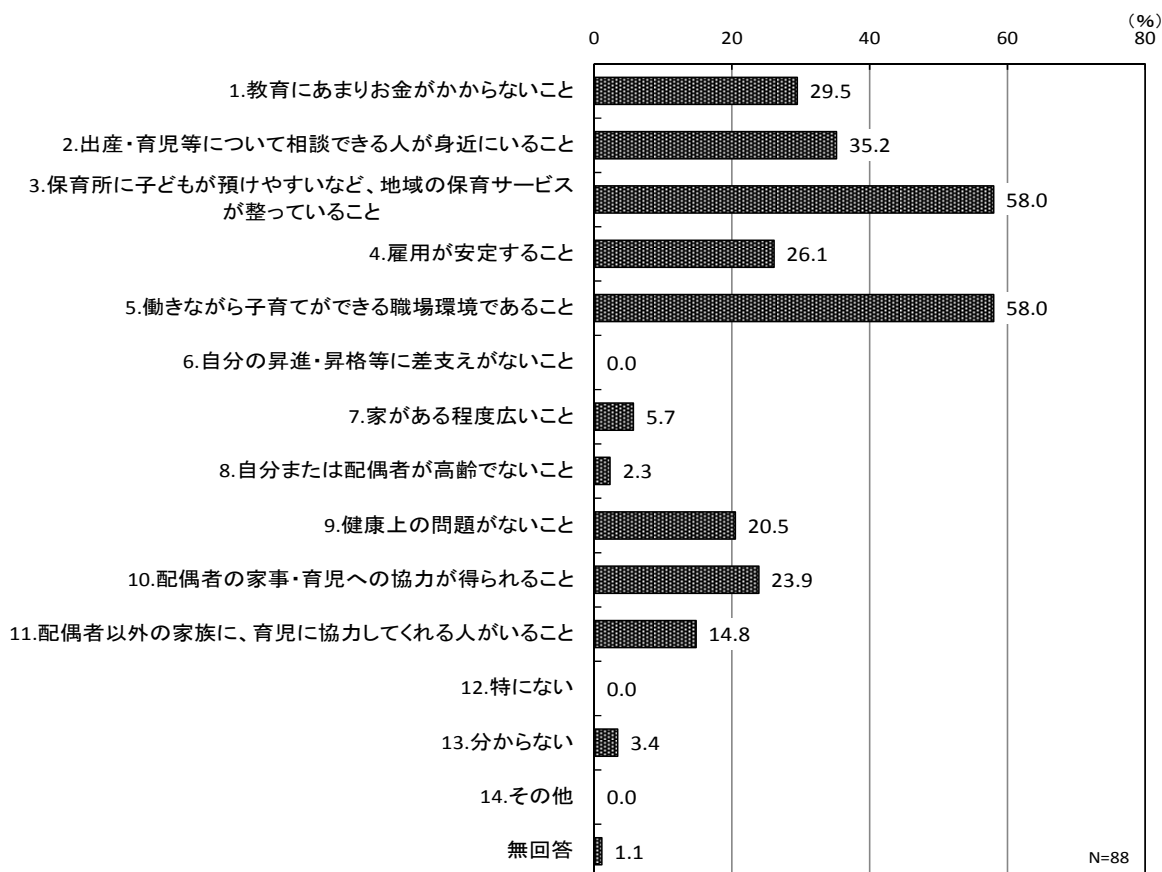
一方、「⑥わからない」（18.2%）や「⑤子どもは欲しいと思わない」（1.1%）とする回答もみられます。



問 子育て環境として、どのようなことが必要だと思うか（複数回答）

地域の保育サービスが整っていること、働きが出来る職場環境を必要と感じている

「3.保育所に子どもが預けやすいなど、地域の保育サービスが整っていること」、「5.働きながら子育てができる職場環境であること」がそれぞれ6割弱（58.0%）で高く、次いで「2.出産・育児等について相談できる人が身近にいること」が4割弱（35.2%）、「1.教育にあまりお金がかからないこと」が約3割（29.5%）と続いています。

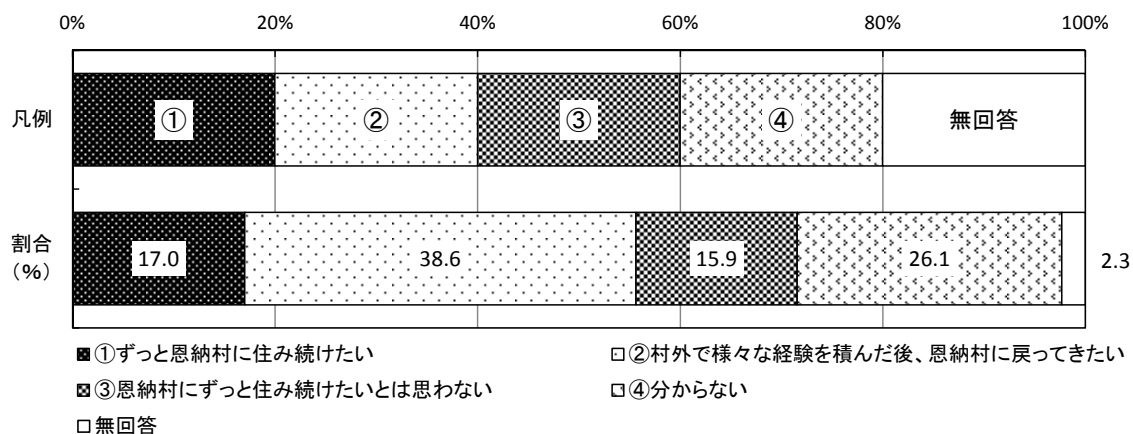


問 将来、恩納村に住みたいか

村外で経験を積んだ後に、恩納村に戻ってきたいが4割弱

「②村外で様々な経験を積んだ後、恩納村に戻ってきたい」が4割弱（38.6%）で最も高く、「①ずっと恩納村に住み続けたい」が2割弱（17.0%）となっています。

一方で、「④わからない」（26.1%）や「③恩納村にずっと住み続けたいとは思わない」（15.9%）とする回答もやや高くなっています。



2) 転入者、転出者アンケート

転入者、転出者に対し、転入・転出の理由、恩納村の住みやすさや住みにくさ等に関する意見をうかがい、『恩納村まち・ひと・しごと創生総合戦略』の策定に係る基礎資料として活用することを目的に実施しました。

対象者	平成 20 年以降に恩納村に転入した世帯の世帯主 2,484 名
調査期間	平成 27 年 7 月 14 日～平成 27 年 7 月 31 日
調査方法	郵送による配布・回収
有効回収等	13.6% (337 件)

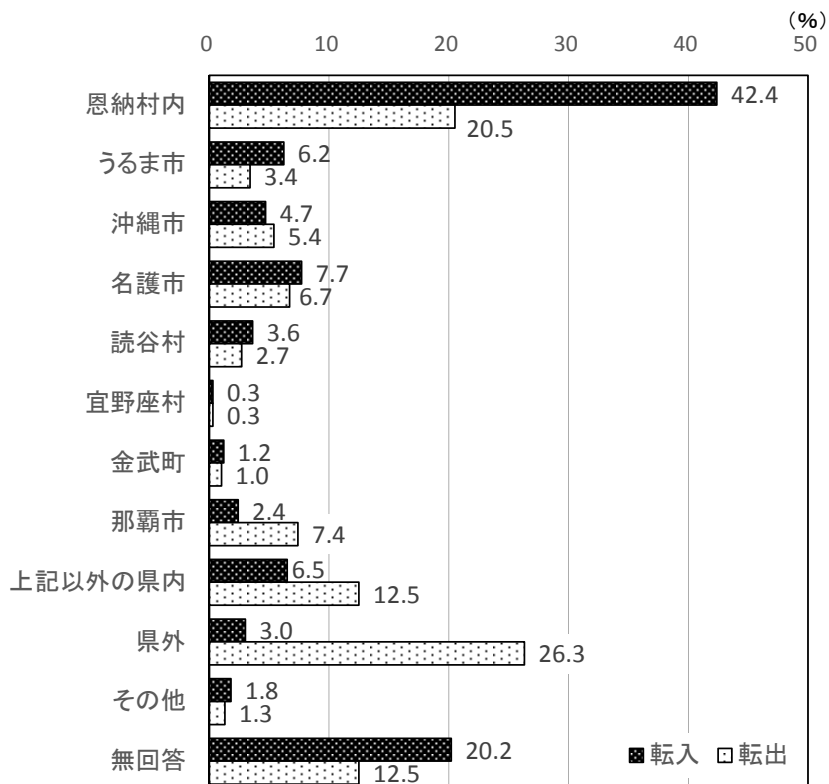
対象者	平成 20 年以降に恩納村から転出した世帯の世帯主 1,613 名
調査期間	平成 27 年 7 月 14 日～平成 27 年 7 月 31 日
調査方法	郵送による配布・回収
有効回収等	18.4% (297 件)

問 現在の勤務地・就学地（転入者アンケート・転出者アンケート）

転入者では「恩納村内」が4割強となっている

現在の勤務地・就学地については、転入者では「恩納村内」が4割強（42.4%）と最も高くなっています。

転出者については、「県外」が3割弱（26.3%）、「恩納村内」が約2割（20.5%）みられ、勤務地・就学地が村内でありながら、村外に転出する世帯が一定程度みられる結果となっています。

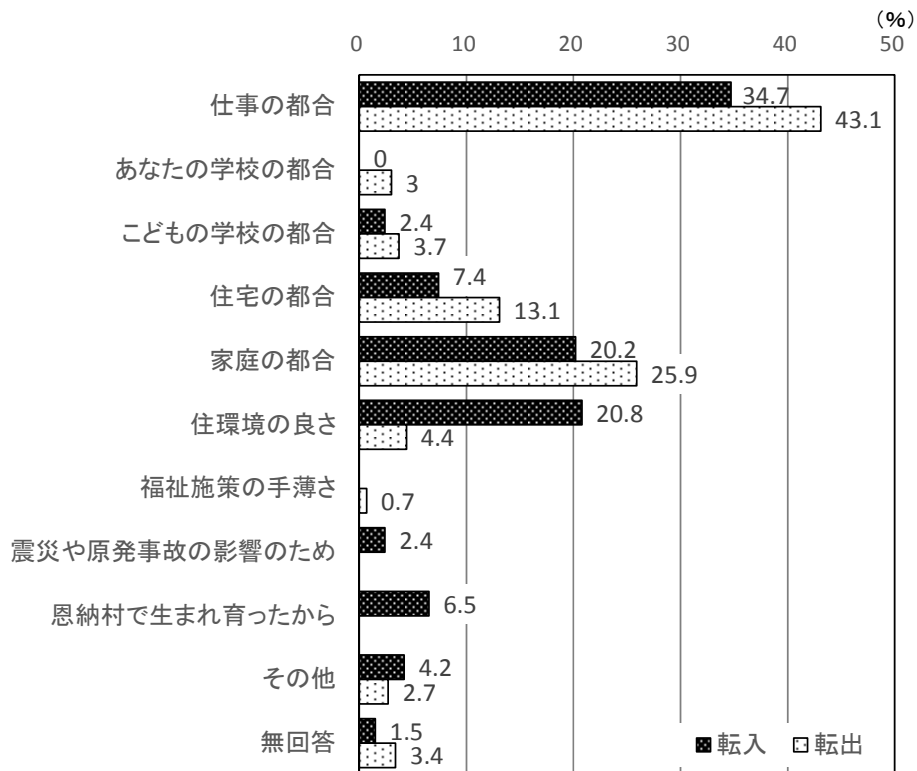


問 恩納村に転入、又は、恩納村から転出した最大の理由（転入者アンケート・転出者アンケート）

仕事の都合による転入・転出の割合が最も高い

転入した最大の理由として、「仕事の都合」が3割強（34.7%）と最も高く、次いで「住環境の良さ」（20.8%）、「家庭の都合」（20.2%）と続いています。

転出した最大の理由についても「仕事の都合」が4割強（43.1%）で最も高く、次いで「家庭の都合」が3割弱（25.9%）、「住宅の都合」（13.1%）と続いています。

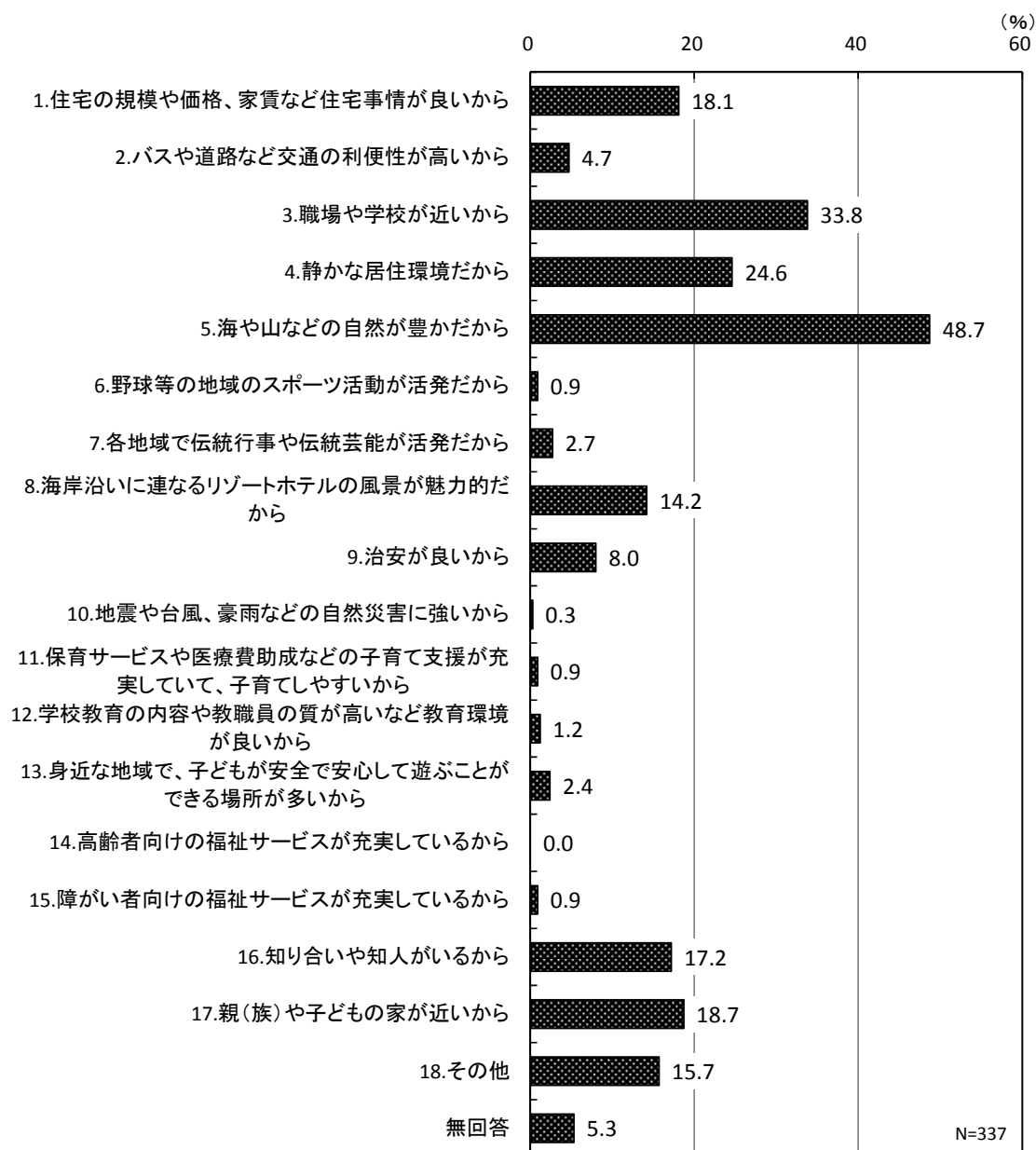


問 恩納村を選択した理由（複数回答）（転入者アンケート）

自然環境や住環境の良さ、親族・知人がいることが主な理由となっている

転入先として恩納村を選択した理由をうかがったところ、「5.海や山などの自然が豊かだから」が5割弱(48.7%)で最も高く、次いで「3.職場や学校が近いから」が3割強(33.8%)、「4.静かな居住環境だから」が2割強(24.6%)、「17.親(族)や子どもの家が近いから」(18.7%)、「1.住宅の規模や価格、家賃など住宅事情が良いから」(18.1%)がそれぞれ約2割と続いています。

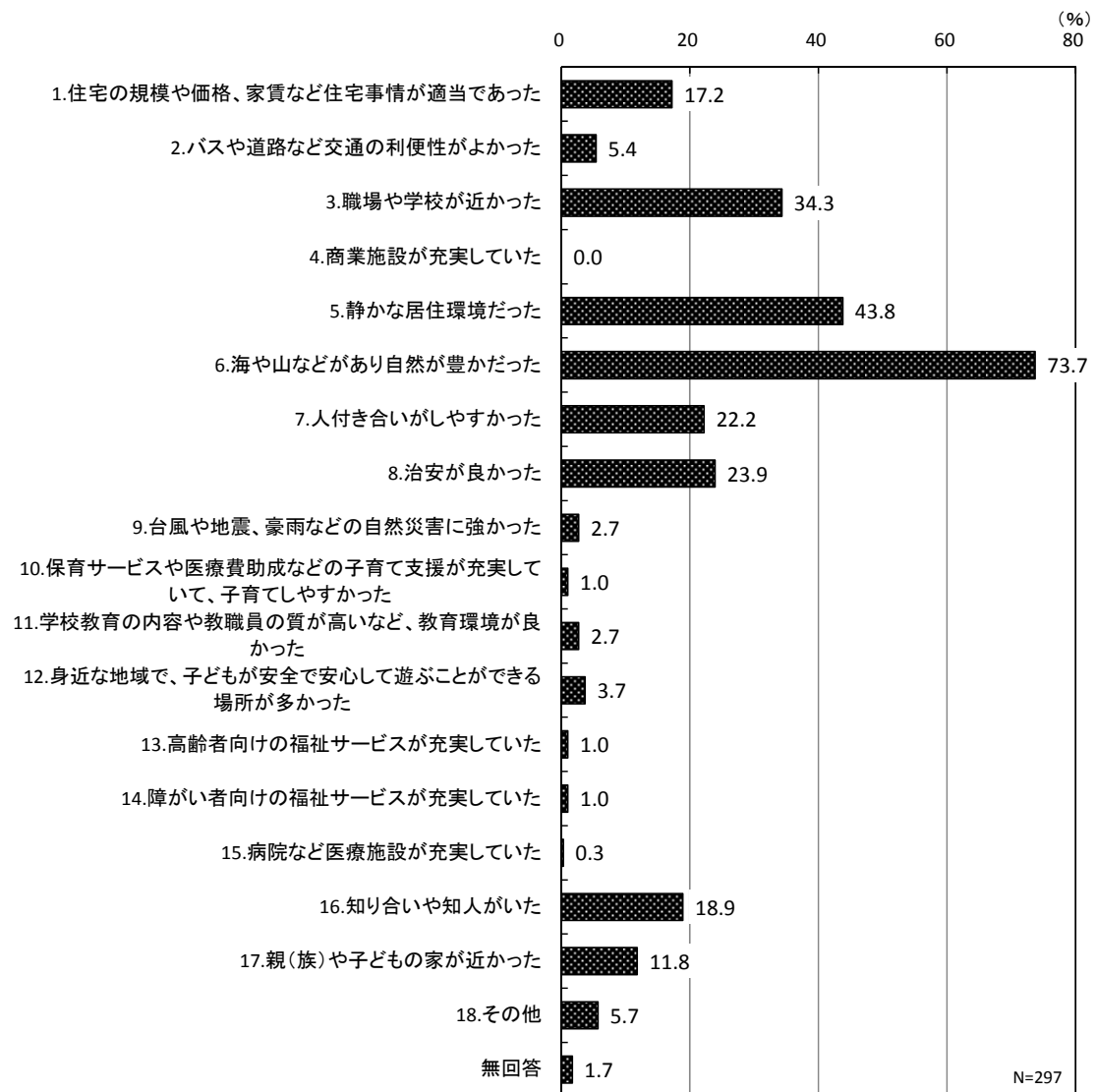
その一方で、「11.保育サービスや医療費助成などの子育て支援が充実していて、子育てしやすいから」(0.9%)、「12.学校教育の内容や教職員の質が高いなど教育環境が良いから」(1.2%)を選択する割合は低い状況です。



問 恩納村が「住みやすかった」理由（複数回答）（転出者アンケート）

自然の豊かさ、静かな住環境だったことが住みやすかった理由となっている

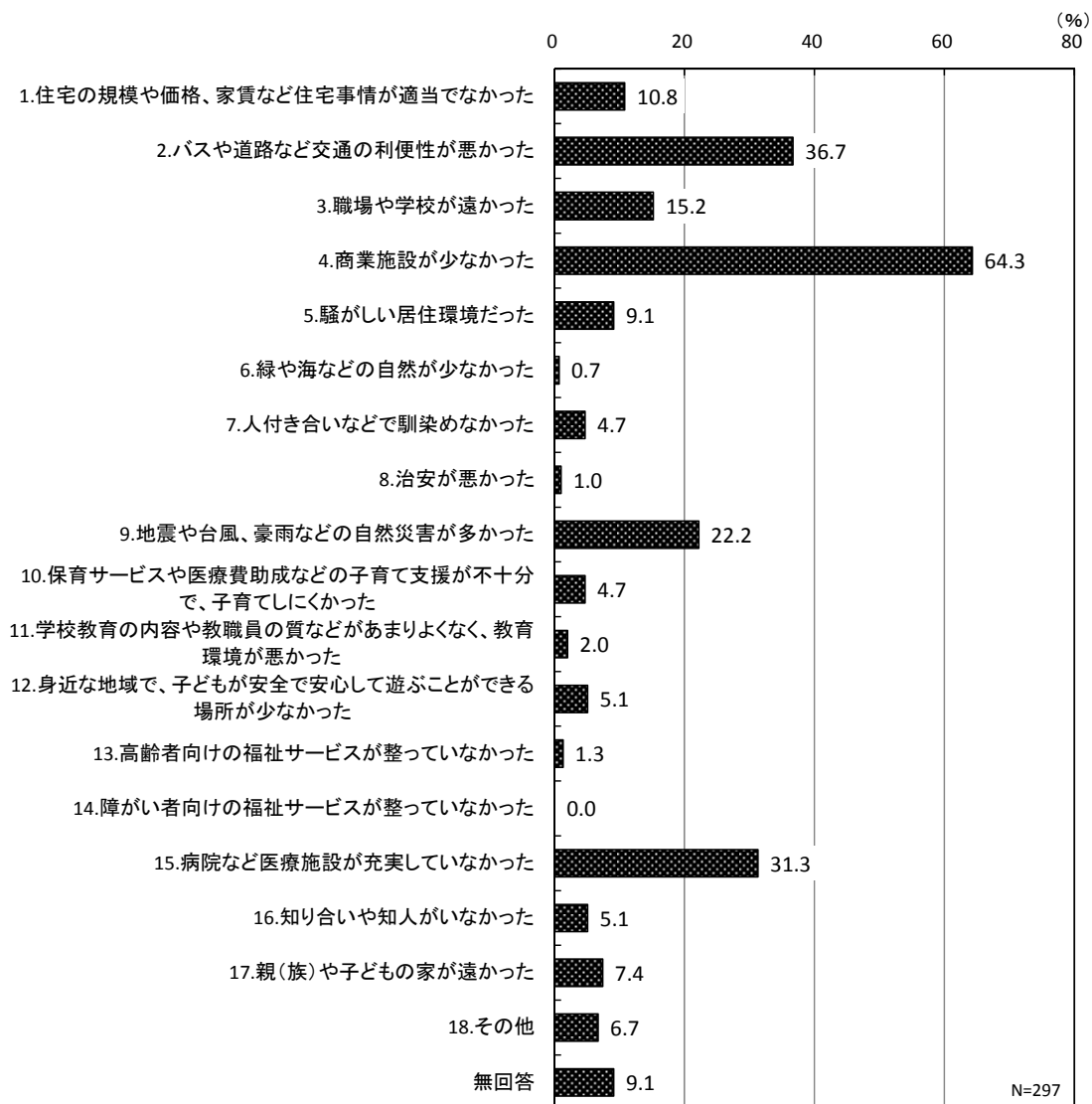
転出者に恩納村が住みやすかった理由についてうかがったところ、「6.海や山などがあり自然が豊かだった」が7割強（73.7%）で最も高く、次いで「5.静かな居住環境だった」が4割強（43.8%）、「3.職場や学校が近かった」が3割強（34.3%）と続いています。



問 恩納村が住みにくかった理由（複数回答）（転出者アンケート）

商業施設が少なかったが6割強で最も高い

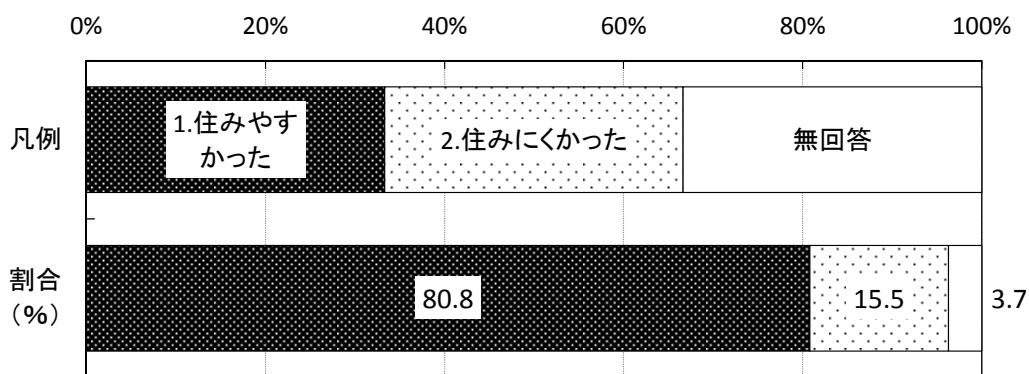
転出者に対し、恩納村が住みにくかった理由をうかがったところ、「4.商業施設が少なかった」が6割強（64.3%）で最も高く、次いで「2.バスや道路など交通の利便性が悪かった」が4割弱（36.7%）、「15.病院など医療施設が充実していなかった」が3割強（31.3%）と続いており、生活の利便性に関する内容が上位を占めています。



問 恩納村は住みやすかったか（転出者アンケート）

住みやすかったが約8割

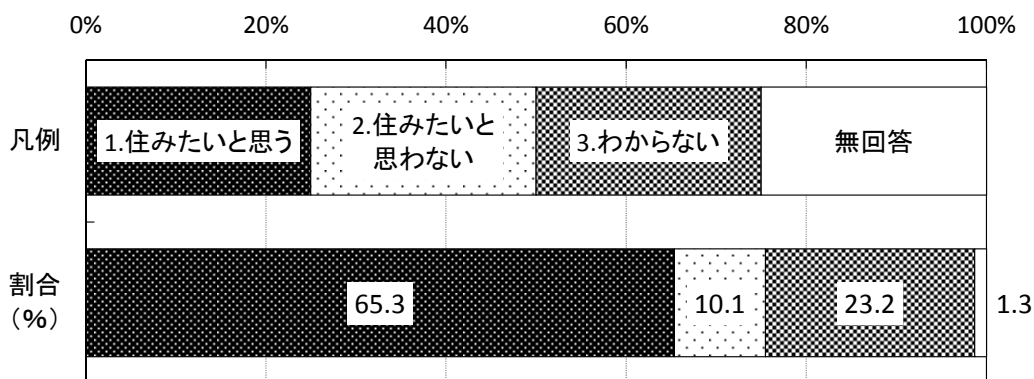
転出者に対し恩納村が住みやすかったどうかについてうかがったところ、「1.住みやすかった」が約8割（80.8%）を占める一方で、「2.住みにくかった」も2割弱（15.5%）みられます。



問 また恩納村に住みたいと思うか（転出者アンケート）

住みたいと思うが7割弱

転出者に対し、また恩納村に住みたいと思うかうかがったところ、「1.住みたいと思う」が7割弱（65.3%）で最も高くなっています。

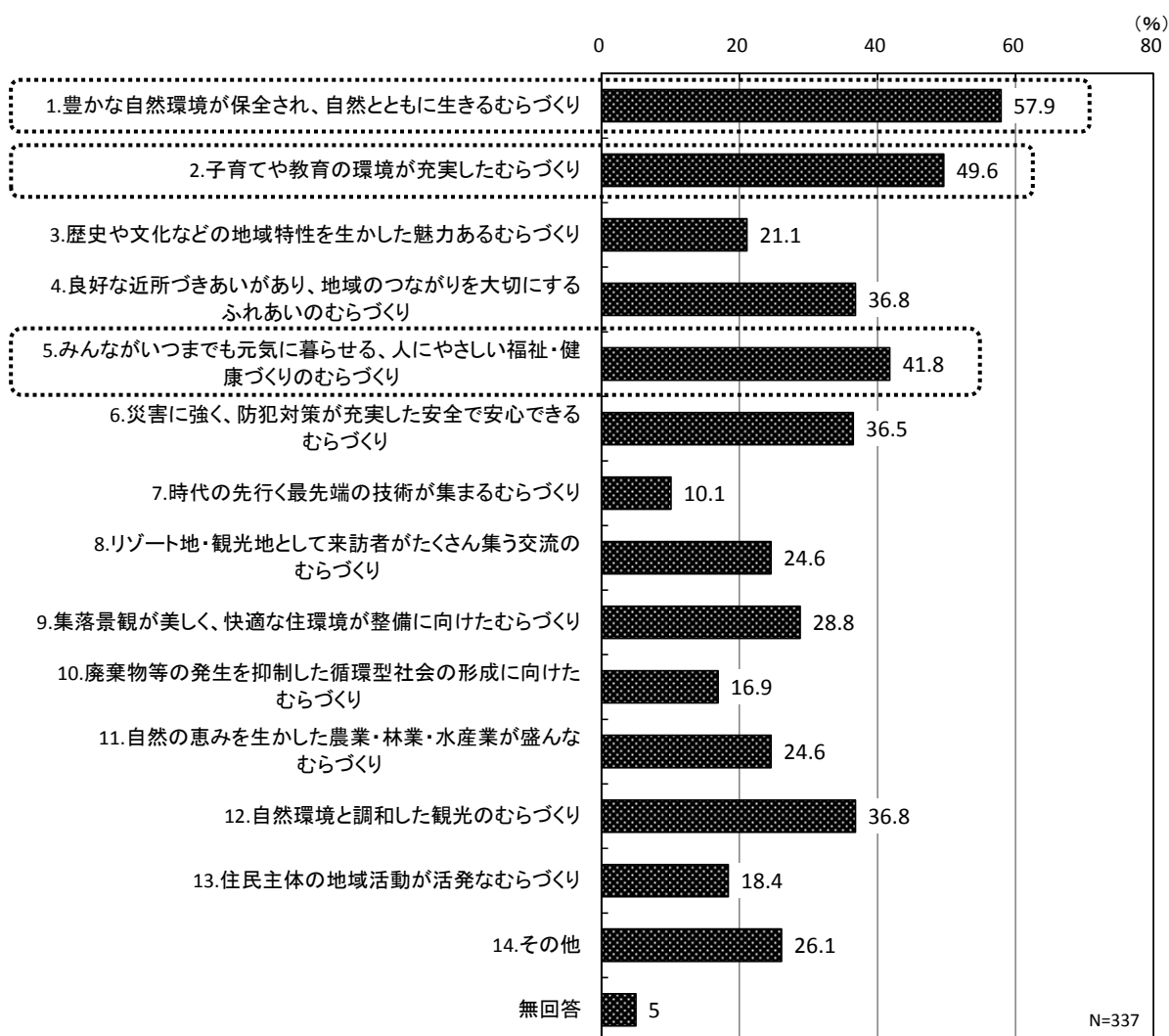


問 恩納村のむらづくりに期待すること（複数回答）（転入者アンケート）

自然とともに生きるむらづくり、子育て環境の充実に期待している

転入者に対し、恩納村のむらづくりに期待することについてうかがったところ、「1.豊かな自然環境が保全され、自然とともに生きるむらづくり」が6割弱（57.9%）で高く、次いで「2.子育てや教育の環境が充実したむらづくり」が約5割（49.6%）、「5.みんながいつまでも元気に暮らせる、人にやさしい福祉・健康づくりのむらづくり」が4割強（41.8%）と続いています。

自然環境の保全など、自然を活かしたむらづくりを進めるとともに、子育てや教育の環境、福祉の充実に対する期待が多く寄せられています。



5. 目指すべき将来の方向等

前述した「恩納村の人口動向」及び「将来展望に向けた調査・分析」を踏まえ、人口の維持又は増加に向け、目指すべき将来の方向性について整理を行います。

1) 現状と課題

(1) 自然動態の状況

本村の自然動態は、出生数がほぼ横ばいなのに対し、高齢者の増加等を背景とする死亡数の増加傾向が続いており、近年は自然減の傾向は強まりつつあります。

また、自然増の指標である合計特殊出生率（平成 20 年度～平成 24 年度の平均）は 1.63 と沖縄県内市町村の中で最も低く、さらに生涯未婚率も上昇しており、平成 22（2010）年国勢調査における男性の生涯未婚率は 36.8%と高くなっています。

子育て中の母親へのヒアリング調査では、地域に知り合いが多い等の理由から子育てしやすい地域であるとの評価がある一方で、子育てに係る経済的負担が大きいことや、保育サービスが利用しにくいことが課題として挙げられていました。加えて、教育についても村内の小中学校は小規模なため、友だち関係や部活動等で子どもの選択肢が限られているとの意見が寄せられています。

このため、希望する子どもの人数を産み育てることができるよう、婚姻率の上昇、きめ細やかな子育て支援、学校教育の充実等に取り組む必要があります。

(2) 社会動態の状況

本村の社会動態は、転入者数が転出者数を上回る社会増で推移しています。

住民基本台帳データを活用し転入者・転出者の状況を見ると、転出入ともに単身世帯が多くなっています。年代別で見ると、転出入とも 20～30 代が中心となっていますが、60 代の転入者もやや多い傾向となっています。また、進学・就職、親からの独立等を機に世帯分離をして転出した者が約 2 割みられる一方で、実家に戻ったことが想定される世帯統合が 1 割程度となっています。

村外在住者に対するヒアリング調査では、村外に居住している理由として、買い物や病院への通院等が不便なことや村内の民間賃貸住宅の家賃が高いこと、村外の方が持ち家の取得がしやすかった、教育環境等を充実させたかった等が挙げられていました。

さらに、将来人口推計の結果を見ると、出産・子育て世代である若年層（20～30 代）の人口が減少傾向にあることから、これらの年齢層の村外への流出をいかに抑制するかが大きな課題となっています。

(3) 産業の状況

本村の就業人口における特化係数が1以上の特徴産業は、「農業、林業」、「漁業」、「宿泊業、飲食サービス業」となっており、第一次産業や観光関連産業が強みとなっていますが、第一次産業では就業者の高齢化が進んでいます。また、18～24歳を対象に実施した就職・進学に関するアンケート調査で『将来つきたいと思う分野』で就きたい職業として2番目に回答が高かった「医療・看護」（17.0%）や、今後、様々な領域での活用が期待される情報通信産業については就業者が少なく弱みとなっています。

本村に立地する事業所数は減少傾向にある一方で、就業者数は増加傾向となっています。事業所の業種をみると、「卸売業、小売業」、「宿泊業、飲食サービス」及び「生活関連サービス業、娯楽業」が主となっており、事業所の業種が限られていることから、村内で就職を希望しても就きたい業種の事業所が立地していないこと等が課題となっています。

就職・進学に関するアンケート調査では、「村外で様々な経験を積んだ後、恩納村に戻ってきたい」とする回答が4割弱（38.6%）を占めていることから、若年層の転出抑制を図るとともに、Uターンを中心とした若年層等の転入を推進するため、就労可能な環境づくりや企業支援等が必要となっています。

2) 目指すべき将来の方向

(1) 産業振興、雇用創出

農業や水産業の振興による第一次産業の振興や、これらを活かした6次産業化の促進による第一次産業従事者の所得向上を図るとともに、中小企業や新規起業者等への支援を通して地域産業の創出・販路拡大、企業の誘致による雇用の創出等を図ります。

(2) 子育て環境の充実

多くの若者が「恩納村に住んで子育てがしたい」と希望するよう、結婚に結びつく取り組み、妊娠・出産及び保育サービスの充実をはじめ、学校教育も含めた子育て環境の更なる充実を図ります。

(3) むらの魅力向上

本村への人の流れを作り出すためには、「恩納村に住み続けたい」、「恩納村の発展に貢献できる仕事がしたい」という住民の誇りを醸成する施策の展開を行うとともに、本村の魅力向上、効果的な情報発信を行うことにより、村外の方々から「恩納村に行ってみよう」、「恩納村に住んでみたい」と良好なイメージを高める取り組みを進めます。

6. 人口の将来展望

「目指すべき将来の方向等」において提示した方向性を踏まえ、本村において若者層の定住促進や出生率の増加による自然増を実現するための将来展望を次のとおり設定します。

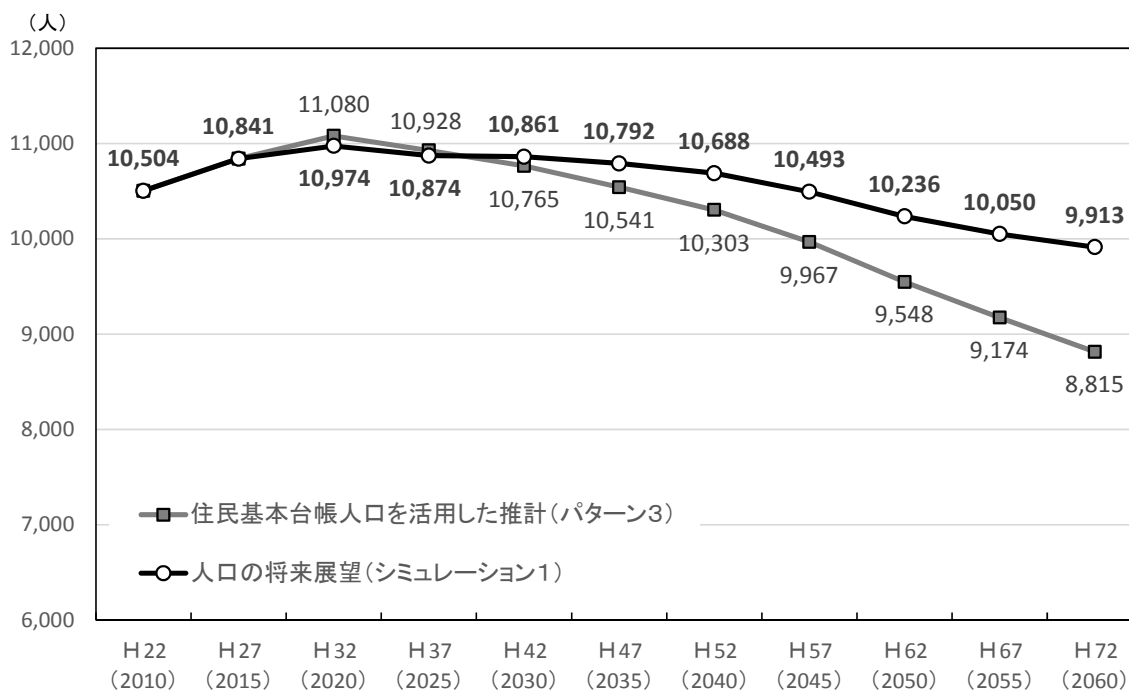
平成 42（2030）年までに合計特殊出生率を 2.1 まで上昇

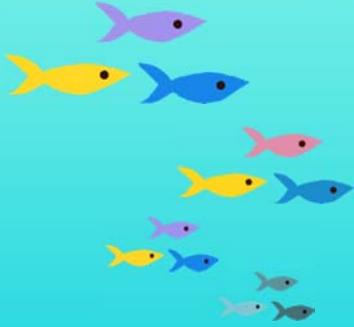
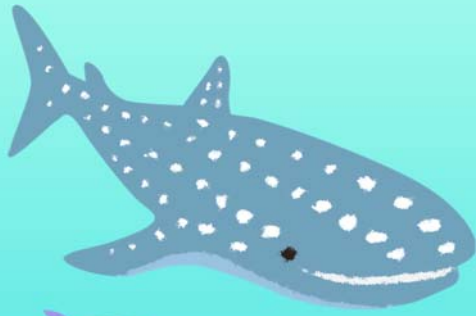
若者層の定住促進により、

【平成 52（2040）年に 11,000 人の人口維持】

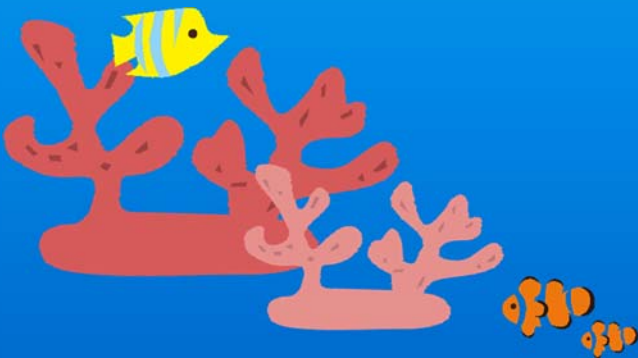
- ・パターン3（住民基本台帳人口を用いた推計）によると、平成 52（2040）年には 10,000 人程度まで人口が減少すると予測されています。
- ・これまでの分析を踏まえ、本村の目指すべき将来の方向性を実現し、平成 52（2040）年に 11,000 人の人口維持を目指します。

図-人口の将来展望





2章 総合戦略



2章 総合戦略

1. 政策の企画・実行にあたっての基本方針

1) 国の「総合戦略」における基本目標

国の「まち・ひと・しごと創生総合戦略」では、人口減少の克服と地方創生を確実に実現するために、自立性・将来性・地域性・直接性・結果重視の5つの政策原則に基づき、関連する施策を展開することとしています。

【地方創生に向けた政策5原則】

(1)自立性

各施策が一過性の対症療法的なものにとどまらず、構造的な問題に対処し、地方公共団体・民間事業者・個人等の自立につながるものであるようにする。

(2)将来性

地方が自主的かつ主体的に、夢を持って前向きに取り組むことを支援する施策に重点を置く。

(3)地域性

国による画一的手法や「縦割り」的な支援ではなく、各地域の実態に合った施策を支援することとする。

(4)直接性

限られた財源や時間の中で、最大限の成果をあげるため、ひとの移転・しごとの創出やまちづくりを直接的に支援する施策を集中的に実施する。

(5)結果重視

明確なPDCAメカニズムの下に、短期・中期の具体的な数値目標を設定し、政策効果を客観的な指標により検証し、必要な改善等を行う。

また、以下の4つの「基本目標」を設定し、地方における様々な政策による効果を集約し、東京一極集中を是正、地域経済の活性化等により、我が国の人口減少への歯止めをかけることとしています。

本村においても国が掲げる基本目標に沿った取り組みを進めます。

【国の基本目標】

1. 地方における安定した雇用を創出する
2. 地方への新しいひとの流れをつくる
3. 若い世代の結婚・出産・子育ての希望をかなえる
4. 時代にあった地域をつくり、安心な暮らしを守るとともに、地域と地域を連携する

2) 恩納村第5次総合計画を基本にした取り組み

本村においては、平成24（2012）年3月に「恩納村第5次総合計画」を策定し、むらづくりの将来像『青と緑が織りなす活気あふれる恩納村』を実現するために5つの基本目標を掲げ、豊かな自然環境の継承、活力ある地域産業の育成及び人口増加対策に取り組んできました。

恩納村第5次総合計画で位置付けた将来像、基本目標を基本に「総合戦略」を策定し、総合計画と併せて取り組んでいくことにより、人口維持対策と本村の創生を推進します。



2. 将来像

住民基本台帳人口を用いて本村独自で行った将来人口推計では、合計特殊出生率が現状で推移した場合、本村の人口は平成52(2040)年に約10,000人となることが予測されています。このため、恩納村人口ビジョンにおいては、合計特殊出生率の向上及び定住促進等の対策を行うことで、平成52(2040)年の目標人口を11,000人としています。

人口減少の影響として、少子高齢化の進行や生産年齢人口の減少によって、地域経済の低迷や社会保障費の増大等による生産年齢人口への負担増が挙げられ、さらに地域活力の低下により、人口減少が加速することが懸念されます。

本村の人口を維持するためには、結婚の希望をかなえる支援、子育て環境の充実を図ることで、合計特殊出生率の向上や子育て世代の定住促進を図るとともに、雇用の創出・確保によって地域経済の活性化に取り組む必要があります。

人口流出の抑制に取り組み、地域経済と交流のさらなる活性化により、本村の持続可能なむらづくりに向けて、総合戦略の将来像として以下を設定し、これらに基づく施策を実施しています。

青と緑が織りなす活気あふれる恩納村

～ いいむら、いいひと、いいしごと ～

3. 恩納村における基本目標

国が掲げる5つの政策原則に基づき、国が設定している4つの基本目標に即した本総合戦略の4つの基本目標を設定します。

【本村の基本目標】

基本目標1：恩納村の特性を活かした魅力あるしごとを
創出する

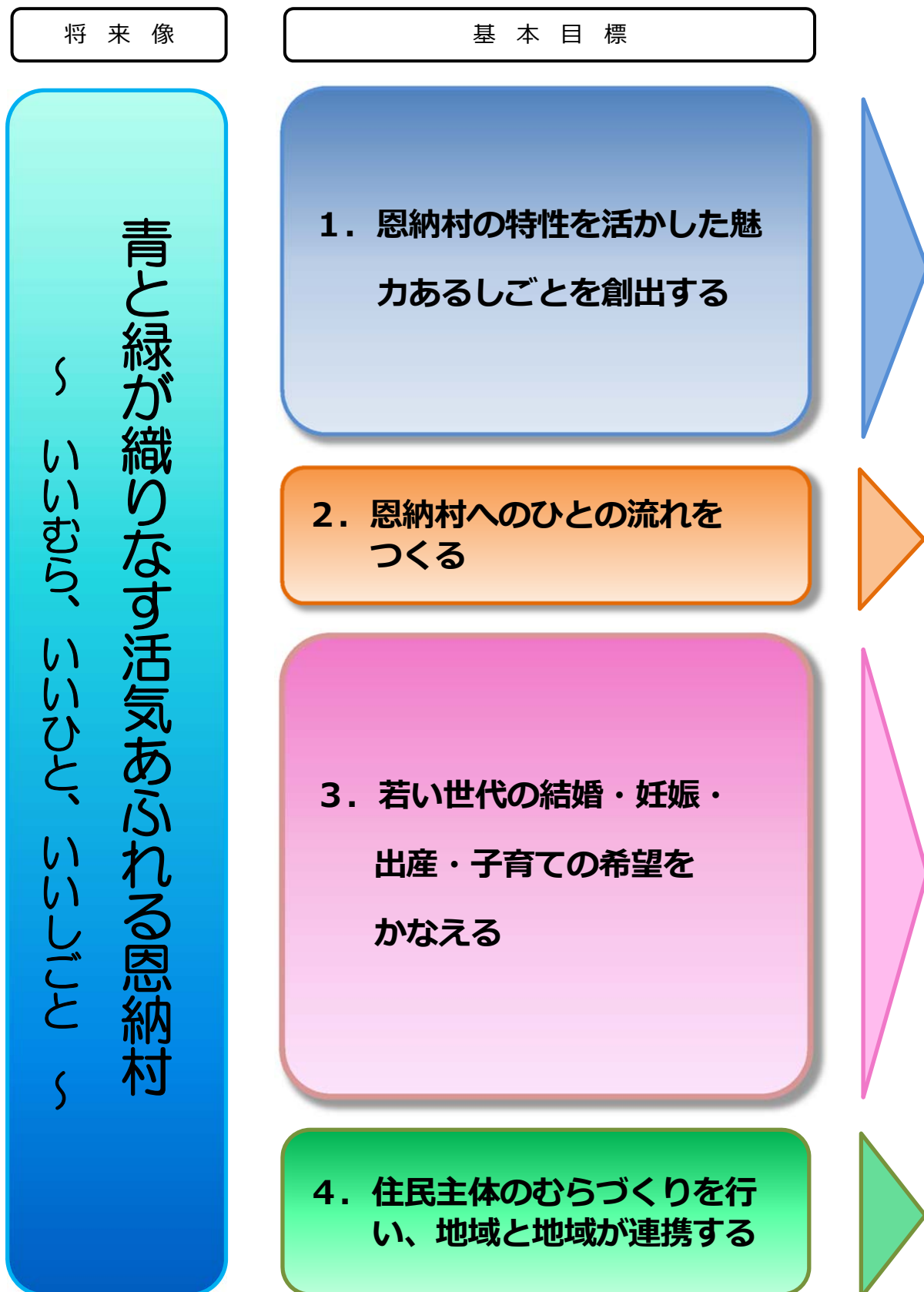
基本目標2：恩納村へのひとの流れをつくる

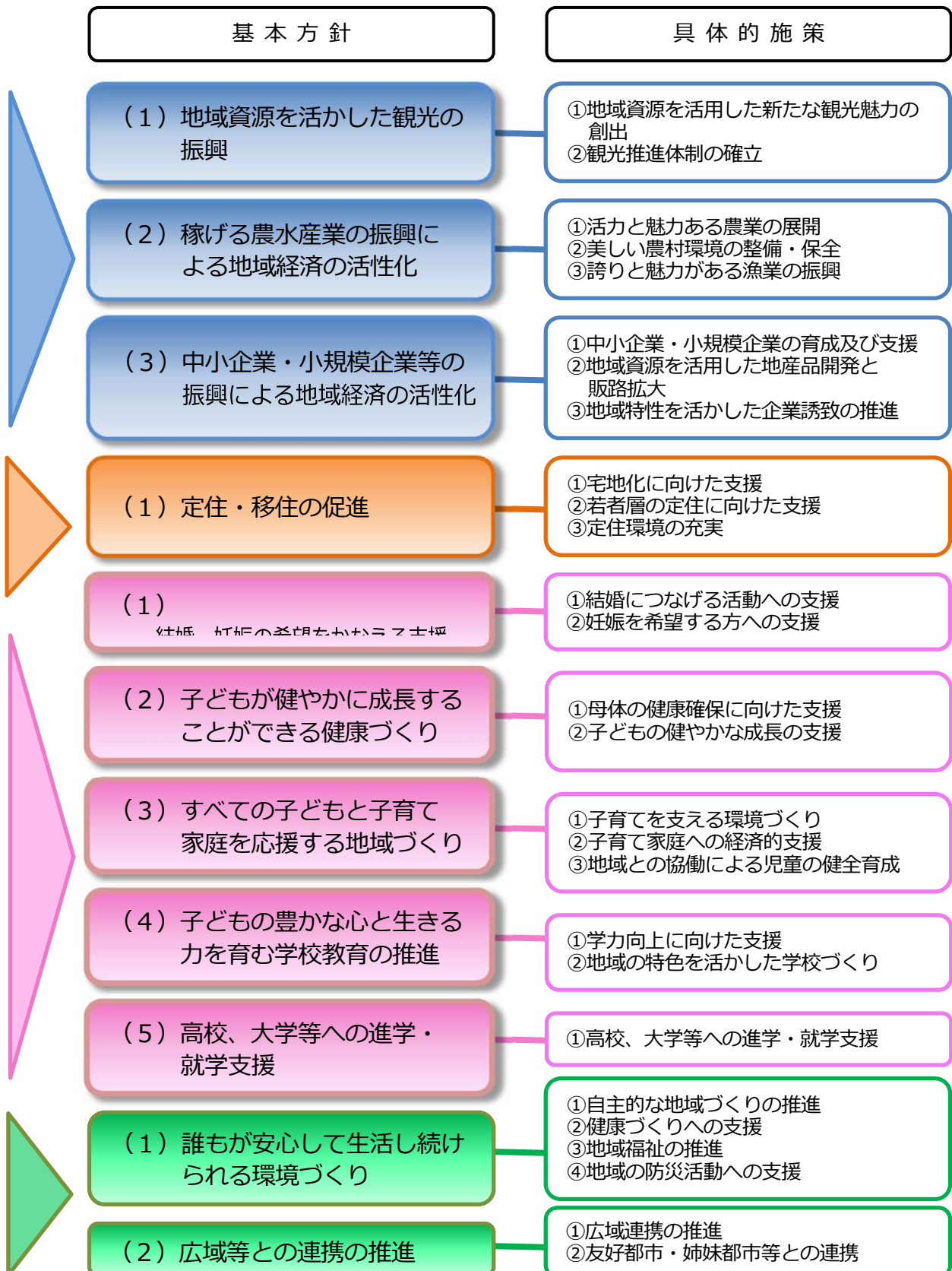
基本目標3：若い世代の結婚・妊娠・出産・子育ての
希望をかなえる

基本目標4：住民主体のむらづくりを行い、
地域と地域が連携する

4. 施策体系

国が掲げる5つの政策原則（①自立性 ②将来性 ③地域性 ④直接性 ⑤結果重視）に基づき、国が設定している4つの基本目標に即した4つの基本目標を設定します。





5. 基本目標及び具体的な取り組み等

基本目標1 恩納村の特性を活かした魅力あるしごとを創出する

“むら”の活性化は“ひと”を定住させることであり、定住を促すためには“しごと”が重要な要素となります。

このため、本村の強みである観光産業を中心に農業や漁業といった本村の豊かな自然資源を活かした産業の振興を図るとともに、本村の優位性を活かした企業誘致を行うことで、付加価値の高い産業の育成を図ります。

(1) 地域資源を活かした観光の振興

具体的な施策	重要業績評価指標 (KPI) H31 年度末目標値 (H26 現況値)
<p>①地域資源を活用した新たな観光魅力の創出</p> <p>変化に富んだ長大な海岸線やサンゴ礁海域、緑豊かな山並み、海を染める夕陽など、世界に誇ることができる本村の優れた自然資源や山田グスクをはじめ各地域が有している歴史・文化資源の保全・活用による観光振興に取り組みます。</p> <p>また、近年の旅行形態の変化への対応やリゾートウエディングの推進、ICT 技術の活用等、多様な観光メニューの提供を行います。</p> <p><具体的な取り組み案></p> <ul style="list-style-type: none"> ・地域資源を活用した観光振興事業 ・地域資源を活用した新たな観光メニューの開発 ・リゾートウエディングの推進 ・集落内の歴史資源等を活用した散策マップ等の整備 ・地域ガイドの育成 ・AR や VR を活用した観光情報の提供 ・万座毛周辺活性化施設の整備 ・サンゴ大使等による観光 PR 活動の推進 	<ul style="list-style-type: none"> ◆宿泊者数(延べ) : 2,697 千人(5%増加) (2,569 千人:平成 26 年度) ◆リゾートウエディング 拳式数 : 約 3,900 組(5%増加) (3,724 組) ◆おんなの駅来客者数 : 約 990,00 人(5%増加) (945,521 人) ◆フォトコンテスト応募者 数: 78 点(10%増加) (71 点) ◆恩納村産業まつり来場者 数: 2,505 人(10%増加) (2,278 人)
<p>②観光推進体制の確立</p> <p>観光推進体制の強化を図るとともに、多様な情報媒体を活用した情報発信やプロモーション活動の強化、宿泊施設や地域との連携、事業所同士の連携による観光推進環境の整備等により、世界有数のリゾート地の形成を目指します。</p> <p style="text-align: right;">(次頁へ続く)</p>	

具体的な施策	重要業績評価指標 (KPI) H31 年度末目標値 (H26 現況値)
<p><具体的な取り組み案></p> <ul style="list-style-type: none"> • 効果的な PR の推進とプロモーションの拡充 • 情報提供機能の強化 • 観光協会の設立 • 北部地域や近隣市町村と連携した取り組みの推進 • 第三次観光振興計画の策定 • 村内のリゾートホテルが連携した取り組みの支援 • 人材育成の推進 • 村民一人ひとりの情報発信力の向上 	

(2) 稼げる農水産業の振興による地域経済の活性化

具体的な施策	重要業績評価指標 (KPI) H31 年度末目標値 (H26 現況値)
<p>①活力と魅力ある農業の展開</p> <p>農業が若い世代においても魅力ある職業となるよう、高付加価値作物や契約栽培の普及等による農業収入の安定化を図るとともに、新規就農者等への支援を行います。また、宿泊施設や飲食店等で恩納村産の農作物等の利用促進を図り、地産地消を進めます。</p> <p><具体的な取り組み案></p> <ul style="list-style-type: none"> • 高付加価値作物の普及による農業収入の安定化 • 契約栽培の普及による農業収入の安定化 • ホテルや村内飲食店等での恩納村産農作物等の利用促進 • 農産物の多様な販路の確保 • 新規就農者に向けた支援 • 農畜産物のブランド化 	<p>◆耕地面積（農林水産関係市町村別統計） ：367ha（364ha）</p>
<p>②美しい農村環境の整備・保全</p> <p>赤土流出防止対策の充実等により、本村の山、川、農地、集落、海岸が一体となった美しい農村環境の整備・保全に取り組みます。</p> <p><具体的な取り組み案></p> <ul style="list-style-type: none"> • 赤土流出防止対策の充実 • 地力増強対策に対する支援 	

具体的な施策	重要業績評価指標 (KPI) H31 年度末目標値 (H26 現況値)
<p>③誇りと魅力がある漁業の振興</p> <p>鮮度保持に注力を置いた加工流通体制の充実を図るとともに、水産物の安定供給に向けた支援、海域汚染防止やサンゴの再生等による漁場環境や生態系の保全を通じた里海づくりに取り組みます。</p> <p><具体的な取り組み案></p> <ul style="list-style-type: none"> ・冷凍施設の充実 ・加工施設の充実 ・水産物の安定供給に向けた支援 ・モズクやサンゴ育成、オニヒトデ等モニタリングシステムの構築 ・海ぶどう、モズク種苗提供施設の整備 ・サンゴ養殖活動の推進 ・サンゴ保全再生活動の推進 ・ふるさと納税制度やクラウドファンディングの活用によるサンゴ礁保全活動等の資金造成 ・後継者の育成に向けた支援 	<p>◆栽培漁業の生産量</p> <p>：もずく 1,200 t (697 t) アーサ 70 t (67 t) 海ぶどう 60 t (42 t)</p> <p>◆サンゴ養殖本数</p> <p>：30,000 本 (16,000 本)</p> <p>◆水産物加工品出荷額</p> <p>：もずく 290,000 千円 (231,900 千円) アーサ 56,000 千円 (52,730 千円) 海ぶどう 230,000 千円 (164,000 千円)</p>

(3) 中小企業・小規模企業等の振興による地域経済の活性化

具体的な施策	重要業績評価指標 (KPI) H31 年度末目標値 (H26 現況値)
<p>①中小企業・小規模企業の育成及び支援</p> <p>村内の事業所のほとんどが中小企業となっていることから、経営の安定化や売り上げ向上に向けた各種支援に取り組むとともに、起業・創業の支援による新たな雇用の創出、就業環境の整備、人材育成の推進等による中小企業の育成及び支援に取り組めます。また、ICT 技術を活用した新たな産業の振興により、若い世代を中心とした雇用創出を目指します。</p> <p>共同売店については、購買機能だけではなく、高齢者への買い物支援や観光資源として活用する等の機能充実を図ることで、本村の特性を活かしたコミュニティの核となる「小さな拠点」として支援を行います。</p> <p style="text-align: right;">(次頁へ続く)</p>	<p>◆創業支援事業計画に基づく支援者数</p> <p>：12 人 (0 人)</p> <p>◆創業支援事業計画に基づく創業者数</p> <p>：4 人 (0 人)</p> <p>◆村内の従業者数</p> <p>：6,200 人 (5,925 人) (平成 24 年経済センサス)</p>

具体的な施策	重要業績評価指標 (KPI) H31 年度末目標値 (H26 現況値)
<p><具体的な取り組み案></p> <ul style="list-style-type: none"> ・(仮称) 中小企業・小規模企業振興条例の制定 ・中小企業への支援強化 ・人材育成の推進 ・融資制度の利用促進 ・起業・創業に対する支援 ・就業環境の整備促進 ・ICT 技術の活用による生産者と消費者をつなぐ販路拡大 ・共同売店の機能拡充への支援 ・情報通信産業に関わる人材の育成 ・情報通信基盤の充実 ・ICT 技術を活用したものづくり産業の育成 	
<p>②地域資源を活用した地産品開発と販路拡大</p> <p>本村の豊かな自然資源を活かした地場産品の開発や加工施設の整備等による6次産業化への支援を行うとともに、村内のリゾートホテルや展示会等への出展支援等をはじめ様々な手法を活用した販路拡大を支援します。</p> <p><具体的な取り組み案></p> <ul style="list-style-type: none"> ・特産品開発に対する支援 ・特産品開発の販路拡大 ・ふるさと納税制度を活用した特産品等の販路拡大 	<p>◆商品化された特産品 ： 1 品 (0 品)</p> <p>◆村内リゾートホテルでの特産品展の開催 (延べ数) ： 4 回 (0 回)</p>
<p>③地域特性を活かした企業等誘致の推進</p> <p>本村の豊かな自然資源や立地特性を活かした企業誘致に取り組みます。</p> <p>さらに、中学校統合後の施設については、サテライトキャンパスの誘致等、子どもたちが高等教育機関への進学に向けた意欲醸成につながる活用方法等の検討を行います。</p> <p><具体的な取り組み案></p> <ul style="list-style-type: none"> ・地域特性を活かした企業誘致の推進 ・中学校統合後の施設の活用方法の検討 	<p>◆企業誘致数 ： 1 事業所 (0 事業所)</p>

基本目標2 恩納村へのひとの流れをつくる

“むら”の活性化に必要な“ひと”を呼び込み定住を促すためには、住まいの確保のしやすさが重要な要素となります。このため、村出身者をはじめとした若者層の住宅確保に向けた各種支援等を行います。

(1) 定住・移住の促進

具体的な施策	重要業績評価指標 (KPI) H31 年度末目標値 (H26 現況値)
<p>①宅地化に向けた支援</p> <p>定住人口の増加を図るため、宅地化に向けた様々な取り組みに対し、道路整備等による支援を行います。</p> <p>また、民間活力の活用による宅地の確保を行います。</p> <p>※本村は都市計画区域外であり、土地区画整理事業の実施による宅地造成が難しい状況です。</p> <p><具体的な取り組み案></p> <ul style="list-style-type: none"> ・区が主体となった宅地化への支援 ・民間活力の活用による宅地の確保 	<p>◆生産年齢人口</p> <p>: 7,000 人 (6,980 人)</p> <p>(平成 27 年4月末住民基本台帳人口)</p>
<p>②若者層の定住に向けた支援</p> <p>村内の民間賃貸住宅は周辺自治体の家賃相場と比較すると高額なことから、村営住宅の整備や村営住宅における子育て家庭の優先入居により、若者層の定住に向けた支援を行います。</p> <p>また、民間賃貸住宅や民間活力の活用による定住促進住宅の提供を行います。</p> <p><具体的な取り組み案></p> <ul style="list-style-type: none"> ・村営住宅への子育て世帯の優先入居 ・村営住宅や定住促進住宅の整備 	<p>◆村営住宅等の供給戸数</p> <p>: 98 戸 (90 戸)</p> <p>◆村営住宅等への子育て世帯の入居数(計画期間内の類型)</p> <p>: 8 世帯 (0 世帯)</p>
<p>③定住環境の充実</p> <p>身近な地域で必要な医療が受けられるよう、村内診療所における診療科目の充実に努めるとともに、買い物利便性の向上等による定住環境の充実に取り組みます。</p> <p><具体的な取り組み案></p> <ul style="list-style-type: none"> ・村内診療所における診療科目の充実 	

基本目標3 若い世代の結婚・妊娠・出産・子育ての希望をかなえる

“むら”づくりの要は“ひと”づくりと言っても過言ではありません。このため、子育て環境の整備や教育環境の充実により、“恩納村で子育てがしたい”と若者層に選択されるむらづくりを目指します。

加えて、結婚を希望する方への支援を行うとともに、若い世代が妊娠、出産、子育てに希望がもてるよう、妊娠、出産、子育てにかかる保護者の不安や負担を軽減し、地域ぐるみで子育てを見守り、支援するむらづくりを進めます。

(1) 結婚・妊娠の希望をかなえる支援

具体的な施策	重要業績評価指標 (KPI) H31 年度末目標値 (H26 現況値)
<p>①結婚につながる活動への支援</p> <p>本村の生涯未婚率は上昇していることから、地域が主体となった婚活活動への支援を行います。</p> <p>また、若い世代の交流を促進するため、青年会活動の活性化を支援します。</p> <p><具体的な取り組み案></p> <ul style="list-style-type: none"> ・地域や各団体等が主催する婚活活動への支援 ・青年会活動の活性化 	<p>◆合計特殊出生率</p> <p>: 2.1 (1.46 : 平成 25 年)</p>
<p>②妊娠を希望する方への支援</p> <p>妊娠を希望する村民がその希望を実現できるよう、不妊治療に対する支援の充実を図るとともに、マタニティボックスの支給により、新たな命が誕生する喜びを村全体で祝福します。</p> <p><具体的な取り組み案></p> <ul style="list-style-type: none"> ・不妊治療への支援 ・マタニティボックスの支給 	

(2) 子どもが健やかに成長することができる健康づくり

具体的な施策	重要業績評価指標 (KPI) H31 年度末目標値 (H26 現況値)
<p>①母体の健康確保に向けた支援</p> <p>安全で安心な出産を迎えることができるよう、妊産婦訪問支援事業や妊婦健診の充実に取り組みます。</p> <p><具体的な取り組み案></p> <ul style="list-style-type: none"> ・妊産婦訪問支援事業の充実 ・妊婦健康診査の充実 	
<p>②子どもの健やかな成長の支援</p> <p>子どもの健やかな成長を支援するため、乳幼児健康診査やこにちは赤ちゃん事業の充実、歯科保健の推進に取り組みます。また、子ども医療費助成制度の充実により、必要な医療の提供を行います。</p> <p><具体的な取り組み案></p> <ul style="list-style-type: none"> ・乳幼児健康診査の充実 ・歯科保健の推進 ・予防接種への支援 ・子ども医療費助成制度の充実 ・こにちは赤ちゃん事業の充実 	<p>◆乳幼児健診受診率</p> <ul style="list-style-type: none"> ・乳児一般健康診査 : 95.0% (91.6%) ・1歳6ヶ月健康診査 : 95.0% (90.7%) ・3歳児健康診査 : 95.0% (87.1%)

(3) すべての子どもと子育て家庭を応援する地域づくり

具体的な施策	重要業績評価指標 (KPI) H31 年度末目標値 (H26 現況値)
<p>①子育てを支える環境づくり</p> <p>保護者の就業状況に関わらず、希望する子育て支援が受けることができるよう、各種保育サービスの充実を図るとともに、保育士の確保が容易となるよう、保育士の待遇改善に取り組みます。</p> <p><具体的な取り組み案></p> <ul style="list-style-type: none"> ・保育サービスの充実 ・就学前児童を対象とした遊び場の充実 ・家庭保育を行っている保護者への支援充実 ・障がい児保育の受け入れ促進 <p style="text-align: right;">(次頁へ続く)</p>	<p>◆待機児童数 : 0人 (29人)</p>

具体的な施策	重要業績評価指標（KPI） H31 年度末目標値 (H26 現況値)
<ul style="list-style-type: none"> ・認可外保育施設への支援 ・保育士の待遇改善 	
<p>②子育て家庭への経済的支援</p> <p>子育て家庭が経済的に不安を抱えることなく、安心して子育てが行えるよう、経済的支援の充実に取り組みます。また、第三子については学校給食費の無料化をはじめ、義務教育期間における様々な保障を行うとともに、民間賃貸住宅に居住する多子世帯については家賃補助の実施に向けた検討を行います。</p> <p><具体的な取り組み案></p> <ul style="list-style-type: none"> ・オムツやミルクに係る費用への支援 ・乳幼児期における家庭保育への支援 ・多子世帯への支援 	<p>◆合計特殊出生率 ：2.1（1.46：平成25年）</p>
<p>③地域との協働による児童の健全育成</p> <p>楽しさやゆとりを感じながら子育てができるよう、地域の資源を活用した遊び場の充実や、保護者同士や近隣住民、世代間交流等の場、多様な体験活動の充実を図り、地域全体で取り組む子育て支援を進めます。</p> <p>また、各公民館においては、児童館機能の補完として支援を行うことで、子どもの居場所づくりに取り組みます。</p> <p><具体的な取り組み案></p> <ul style="list-style-type: none"> ・遊び場の充実による保護者、近隣住民、世代間交流の促進 ・公民館を活用した子どもの居場所づくり ・自然生活体験学習サバイバルキャンプ ・歴史的空間を活用した公園等の整備 	<p>◆公民館を活用した児童館機能を補完する子どもの居場所づくり事業実施箇所 ：5箇所（0箇所）</p>

(4) 子どもの豊かな心と生きる力を育む学校教育の推進

具体的な施策	重要業績評価指標 (KPI) H31 年度末目標値 (H26 現況値)
<p>①学力向上に向けた支援</p> <p>生きる力の基礎となる確かな学力の習得に向け、ICTの活用によるわかる授業の展開や沖縄科学技術大学院大学との連携による理科教育等の連携等を行うとともに、一人ひとりの児童生徒の理解に基づく支援を行います。また、村学力向上推進委員会や各区が主体となった学力向上に向けた取り組みに対する支援を行います。</p> <p><具体的な取り組み案></p> <ul style="list-style-type: none"> ・ICTの活用によるわかる授業の展開 ・村学力向上推進委員会による各種検定試験の受検料の支援 ・区における地域塾等の開設に対する支援 ・未来塾の実施による高校受験に対する支援 ・学力向上を目的とする学習支援員の配置 ・支援を要する児童生徒への特別支援教育支援員の配置 ・沖縄科学技術大学院大学との連携による理科教育の推進 ・理科教育、外国語教育、キャリア教育の推進 	<p>◆全国学力調査結果における県での順位目標 (恩納村(中頭地区順位))</p> <p>○小学校：1位(2位)</p> <p>○中学校：5位(9位)</p> <p>小学校 ：全国上位(平均正答率)を目標とする。</p> <p>中学校 ：全国中位(平均正答率)以上を目標とする。</p> <p>◆中学校統合に向けた教育環境の改善</p>
<p>②地域の特色を活かした学校づくり</p> <p>外国人の居住者が多いことから、日本語指導等を行う国際学級の設置や村内各小学校への英語教育特区(文科省)の指定を進めます。また、沖縄科学技術大学院大学との連携による教育の推進を行うとともに、村内事業所等との連携によるキャリア教育の推進、学校給食における地産地消の推進等、恩納村の特色を活かした学校づくりに取り組みます。さらに、学校教育に関する様々な取り組みについて積極的な情報発信を行います。</p> <p><具体的な取り組み案></p> <ul style="list-style-type: none"> ・国際学級(日本語指導等)の設置など特色ある学校づくりの推進 ・村内事業所等との連携によるキャリア教育の推進 ・学校給食における地産地消の推進 ・沖縄科学技術大学院大学との教育連携の推進 ・教育課程特別校の実施(英語、理科) <p style="text-align: right;">(次頁へ続く)</p>	<p>◆英語教育特区の指定 ：5小学校(1小学校：恩納小学校)</p> <p>◆沖縄科学技術大学院大学との連携による理科教育の充実</p> <p>○中1：週3時間→週4時間</p> <p>○中2～中3 ：週4時間→週5時間</p>

具体的な施策	重要業績評価指標 (KPI) H31 年度末目標値 (H26 現況値)
<ul style="list-style-type: none"> • 教育課程外の取り組みの推進 • 沖縄科学技術大学大学との連携による英語力の向上及び国際理解の促進 	

(5) 高校、大学等への進学・就学支援

具体的な施策	重要業績評価指標 (KPI) H31 年度末目標値 (H26 現況値)
<p>①高校、大学等への進学・就学支援</p> <p>村内には高校がないため、通学に係る費用の負担が大きいことから、通学費への支援を行います。</p> <p>また、恩納村で生まれ育った子どもたちが、将来、本村に定住する動機づけとなるよう、奨学金基金の活用による一部給付型奨学金の創設を行います。</p> <p><具体的な取り組み案></p> <ul style="list-style-type: none"> • 高校等への交通費に対する支援 • 一部給付型奨学金の創設 	<p>◆高校進学率 : 100% (98%)</p>

基本目標4 住民主体のむらづくりを行い、地域と地域が連携する

人口流出の抑制を図り、定住人口の維持を図るためには、“ひと”が安心して生活できるむらづくりが必要です。

このため、行政区が中心となった地域活動等への支援を行うとともに、誰もが住み慣れた地域で安心して生活し続けることができるよう、住民主体のむらづくりを進めます。

また、地域課題の応じた近隣自治体や友好都市等との政策連携等、広域連携による地方創生をめざします。

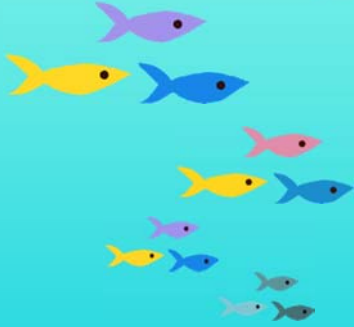
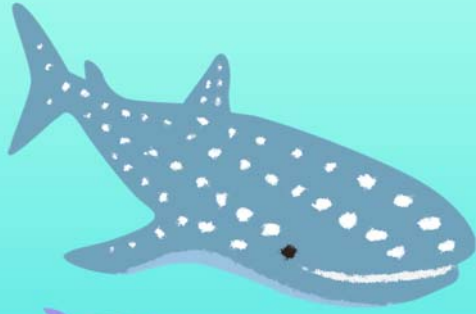
(1) 誰もが安心して生活し続けられる環境づくり

具体的な施策	重要業績評価指標 (KPI) H31 年度末目標値 (H26 現況値)
<p>①自主的な地域づくりの推進</p> <p>各行政区に継承されている伝統行事や芸能文化をはじめ、子育て支援や高齢者の見守り等、地域が主体となった活動の充実を図ります。</p> <p>これまでの「集落別構想」の実績を踏まえた行政区それぞれに新たな地域づくりの指針の策定の支援及び環境整備事業の拡充により、自主的な地域づくりを促進します。</p> <p><具体的な取り組み案></p> <ul style="list-style-type: none"> ・祭等での区の事例発表及び表彰式の開催 ・環境整備事業の拡充 ・各行政区への新たな指針づくりの支援 	<p>◆自治会加入世帯率 : 50.0% (48.6%)</p>
<p>②健康づくりへの支援</p> <p>特定健診の受診向上や健康相談の実施等により、村民の健康づくりを支援します。</p> <p><具体的な取り組み案></p> <ul style="list-style-type: none"> ・特定健診の受診率向上に向けた取り組み 	<p>◆特定健診の受診率 : 50.0% (42.6%)</p>
<p>③地域福祉の推進</p> <p>高齢者や障がい者等が住み慣れた地域で暮らし続けることができるよう、移動支援や住宅改修事業、地域での見守り活動、買物弱者への支援等に取り組めます。</p> <p><具体的な取り組み案></p> <ul style="list-style-type: none"> ・住宅改修事業の実施 ・高齢者等の地域での見守り活動の充実 <p style="text-align: right;">(次頁へ続く)</p>	<p>◆要介護認定率 : 20.0% (22.9%)</p>

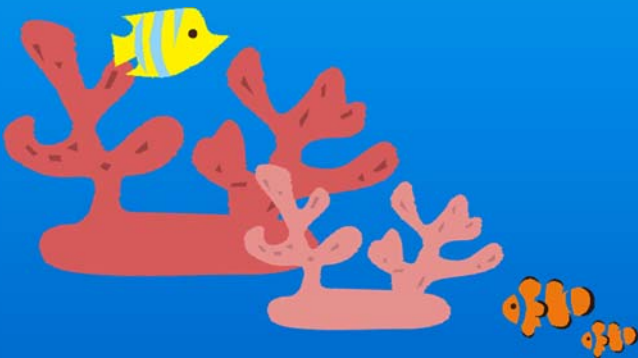
具体的な施策	重要業績評価指標 (KPI) H31 年度末目標値 (H26 現況値)
<ul style="list-style-type: none"> • 買物弱者への支援 • 高齢者、障がい者等への移動支援の充実 • 寝たきり高齢者等への支援 	
<p>④地域の防災活動への支援</p> <p>防災の原点である自助・共助の取り組みを推進するために、自主防災組織の立ち上げや災害時要援者の把握、避難場所等の設置に向けた支援を行います。</p> <p><具体的な取り組み案></p> <ul style="list-style-type: none"> • 自主防災組織の立ち上げ支援 • 災害時要援者の把握 • 避難所等の設置支援 • 総合防災訓練の実施 	<ul style="list-style-type: none"> ◆自主防災組織の組織数 ：16 自治会（希望ヶ丘を含む）（9自治会） ◆防災備蓄倉庫の設置数 ：5箇所（2箇所） ◆避難誘導標識等の設置 ：155 箇所（0 箇所）

（2）広域等との連携の推進

具体的な施策	重要業績評価指標 (KPI) H31 年度末目標値 (H26 現況値)
<p>①広域連携の推進</p> <p>本村の周辺の自治体との連携による観光関連事業の実施、共同イベントの開催等に取り組むことで、より効果的な行政サービスの提供を行います。</p> <p><具体的な取り組み案></p> <ul style="list-style-type: none"> • 北部地域及び近隣の自治体との連携による観光振興 • ふるさと名物応援宣言事業の実施 	<ul style="list-style-type: none"> ◆共同事業数 ：4 事業（2 事業）
<p>②友好都市・姉妹都市等との連携</p> <p>これまで培ってきた友好都市・姉妹都市等との友好関係を活用し、産業振興や人材育成等、互いの発展につながる多様な交流の創出を図ります。</p> <p><具体的な取り組み案></p> <ul style="list-style-type: none"> • 長野県川上村との連携によるレタス栽培技術の移転 • 友好都市・姉妹都市等との交流 	<ul style="list-style-type: none"> ◆恩納村におけるレタス収穫面積 ：3,000 坪（0 坪） ◆恩納村でレタス生産を始める農家数 ：5 農家（0 農家）



資料編



資料編

1. 各種アンケート結果

1) 就職・進学に関するアンケート

F1 年齢

(単数回答)

		1. 1 8 歳	2. 1 9 歳	3. 2 0 歳	4. 2 1 歳	5. 2 2 歳	6. 2 3 歳	7. 2 4 歳	
上段:件数、下段:横%									
全 体		88	20	15	11	7	15	11	9
		100.0	22.7	17.0	12.5	8.0	17.0	12.5	10.2
性 別	男性	37	8	6	0	5	7	7	4
		100.0	21.6	16.2	0.0	13.5	18.9	18.9	10.8
	女性	51	12	9	11	2	8	4	5
		100.0	23.5	17.6	21.6	3.9	15.7	7.8	9.8
学 生 ・ 社 会 人	学生	46	19	12	6	2	6	1	0
		100.0	41.3	26.1	13.0	4.3	13.0	2.2	0.0
	社会人	36	1	3	5	5	8	7	7
		100.0	2.8	8.3	13.9	13.9	22.2	19.4	19.4
その他	6	0	0	0	0	1	3	2	
	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0	16.7	50.0	33.3	

F3 職業

(単数回答)

		1. 専 門 学 校 生	2. 大 学 生	3. 大 学 院 生	4. パ イ ト ・ ト ・ 非 ・ 常 ア ル	5. 職 員 ・ 公 務 員 ・ 団 体	6. 会 社 員	7. 浪 人 生	8. 主 婦 又 は 主 夫	9. い な い ・ 特 に 何 も し て	10. そ の 他	
上段:件数、下段:横%												
全 体		88	15	17	1	10	6	19	2	1	2	15
		100.0	17.0	19.3	1.1	11.4	6.8	21.6	2.3	1.1	2.3	17.0
性 別	男性	37	4	6	0	2	3	11	1	0	2	8
		100.0	10.8	16.2	0.0	5.4	8.1	29.7	2.7	0.0	5.4	21.6
	女性	51	11	11	1	8	3	8	1	1	0	7
		100.0	21.6	21.6	2.0	15.7	5.9	15.7	2.0	2.0	0.0	13.7
学 生 ・ 社 会 人	学生	46	15	17	1	0	0	0	2	0	0	11
		100.0	32.6	37.0	2.2	0.0	0.0	0.0	4.3	0.0	0.0	23.9
	社会人	36	0	0	0	10	6	19	0	0	0	1
		100.0	0.0	0.0	0.0	27.8	16.7	52.8	0.0	0.0	0.0	2.8
その他	6	0	0	0	0	0	0	0	1	2	3	
	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	16.7	33.3	50.0	

問1 将来つきたいと思う職種

(複数回答)

		1. 事 務 系	2. 営 業 系	3. 企 画 系	4. サ ー ビ ス 系	5. 販 売 系	6. 技 術 系	7. 製 造 系	8. 専 門 系	9. プ ク リ エ イ テ ィ	10. そ の 他	無 回 答	
上段:件数、下段:横%													
全 体		88	26	10	9	19	7	16	6	30	6	7	1
		—	29.5	11.4	10.2	21.6	8.0	18.2	6.8	34.1	6.8	8.0	1.1
性 別	男性	37	9	8	4	5	3	9	2	9	4	5	1
		—	24.3	21.6	10.8	13.5	8.1	24.3	5.4	24.3	10.8	13.5	2.7
	女性	51	17	2	5	14	4	7	4	21	2	2	0
		—	33.3	3.9	9.8	27.5	7.8	13.7	7.8	41.2	3.9	3.9	0.0
学 生 ・ 社 会 人	学生	46	16	6	4	7	4	6	2	21	4	3	0
		—	34.8	13.0	8.7	15.2	8.7	13.0	4.3	45.7	8.7	6.5	0.0
	社会人	36	7	3	5	11	3	6	4	8	1	4	1
		—	19.4	8.3	13.9	30.6	8.3	16.7	11.1	22.2	2.8	11.1	2.8
その他	6	3	1	0	1	0	4	0	1	1	0	0	
	—	50.0	16.7	0.0	16.7	0.0	66.7	0.0	16.7	16.7	0.0	0.0	

1) 就職・進学に関するアンケート

問2 将来つきたいと思う分野

(複数回答)

		上段:件数、下段:横%	1. 農林水産	2. 電気・機械	3. 建築・土木	4. インターネット	5. テレビ・新聞・出版	6. 広告・イベント	7. 運輸・通信	8. 航空・旅行・観光	9. 食品・化粧品・販売	10. ファッション・インテリア	11. 金融・証券・保険	12. 理美容・ウェディング
全体		88	3	7	5	7	4	4	1	11	8	7	3	7
		—	3.4	8.0	5.7	8.0	4.5	4.5	1.1	12.5	9.1	8.0	3.4	8.0
性別	男性	37	0	7	3	5	2	2	0	3	4	2	1	1
		—	0.0	18.9	8.1	13.5	5.4	5.4	0.0	8.1	10.8	5.4	2.7	2.7
	女性	51	3	0	2	2	2	2	1	8	4	5	2	6
		—	5.9	0.0	3.9	3.9	3.9	3.9	2.0	15.7	7.8	9.8	3.9	11.8
学生・社会人	学生	46	2	2	1	4	3	2	0	5	4	5	2	3
		—	4.3	4.3	2.2	8.7	6.5	4.3	0.0	10.9	8.7	10.9	4.3	6.5
	社会人	36	1	3	3	1	1	2	1	5	4	2	1	4
		—	2.8	8.3	8.3	2.8	2.8	5.6	2.8	13.9	11.1	5.6	2.8	11.1
	その他	6	0	2	1	2	0	0	0	1	0	0	0	0
		—	0.0	33.3	16.7	33.3	0.0	0.0	0.0	16.7	0.0	0.0	0.0	0.0

		上段:件数、下段:横%	13. シェフ・調理師・パティシエ	14. 医療・看護	15. 保育・福祉	16. 弁護士・税理士	17. 警察官・自衛官	18. 教員	19. 公務員	20. 科学者・研究者	芸能・スポーツ	その他	無回答
全体		88	9	15	12	1	4	9	24	1	8	6	2
		—	10.2	17.0	13.6	1.1	4.5	10.2	27.3	1.1	9.1	6.8	2.3
性別	男性	37	4	3	2	0	2	3	11	0	5	2	1
		—	10.8	8.1	5.4	0.0	5.4	8.1	29.7	0.0	13.5	5.4	2.7
	女性	51	5	12	10	1	2	6	13	1	3	4	1
		—	9.8	23.5	19.6	2.0	3.9	11.8	25.5	2.0	5.9	7.8	2.0
学生・社会人	学生	46	2	10	7	0	2	7	15	0	5	4	0
		—	4.3	21.7	15.2	0.0	4.3	15.2	32.6	0.0	10.9	8.7	0.0
	社会人	36	7	3	4	1	2	2	8	1	3	2	2
		—	19.4	8.3	11.1	2.8	5.6	5.6	22.2	2.8	8.3	5.6	5.6
	その他	6	0	2	1	0	0	0	1	0	0	0	0
		—	0.0	33.3	16.7	0.0	0.0	0.0	16.7	0.0	0.0	0.0	0.0

問4 就職を決める際の条件

(複数回答)

		上段:件数、下段:横%	と1. 希望する職種であること	2. 給料が高いこと	3. やりがいがあること	4. 安定性があること	5. 将来性があること	と6. 企業イメージがよいこと	7. 自分にあっていること	8. 実力主義であること	9. 社内の立地条件がよいこと、会社の通勤しやすさなど	10. 休みが取りやすいこと	11. 就業時間が短いこと	12. 社会保険制度、福利厚生が充実していること	13. こだわらない	14. その他	無回答
全体		88	54	23	57	32	29	3	49	4	16	15	5	29	0	2	1
		—	61.4	26.1	64.8	36.4	33.0	3.4	55.7	4.5	18.2	17.0	5.7	33.0	0.0	2.3	1.1
性別	男性	37	25	11	24	11	11	0	19	1	4	7	2	7	0	0	0
		—	67.6	29.7	64.9	29.7	29.7	0.0	51.4	2.7	10.8	18.9	5.4	18.9	0.0	0.0	0.0
	女性	51	29	12	33	21	18	3	30	3	12	8	3	22	0	2	1
		—	56.9	23.5	64.7	41.2	35.3	5.9	58.8	5.9	23.5	15.7	5.9	43.1	0.0	3.9	2.0
学生・社会人	学生	46	30	9	31	16	18	3	25	3	8	5	2	13	0	1	0
		—	65.2	19.6	67.4	34.8	39.1	6.5	54.3	6.5	17.4	10.9	4.3	28.3	0.0	2.2	0.0
	社会人	36	20	10	24	14	10	0	21	0	7	9	3	12	0	1	1
		—	55.6	27.8	66.7	38.9	27.8	0.0	58.3	0.0	19.4	25.0	8.3	33.3	0.0	2.8	2.8
	その他	6	4	4	2	2	1	0	3	1	1	1	0	4	0	0	0
		—	66.7	66.7	33.3	33.3	16.7	0.0	50.0	16.7	16.7	16.7	0.0	66.7	0.0	0.0	0.0

問5 就職先や進学先を決める場合に最も参考にする情報の入手先

(単数回答)

		ト	1. インターネット	2. 情報雑誌	3. 先生	4. 塾の先生	5. ハローワーク	6. 親	7. 兄弟・姉妹	8. 友人	9. 先輩・後輩	10. その他	無回答
		上段:件数、下段:横%											
全 体		88	21	9	24	0	7	10	0	2	8	3	4
		100.0	23.9	10.2	27.3	0.0	8.0	11.4	0.0	2.3	9.1	3.4	4.5
性 別	男性	37	11	2	9	0	5	4	0	0	6	0	0
		100.0	29.7	5.4	24.3	0.0	13.5	10.8	0.0	0.0	16.2	0.0	0.0
	女性	51	10	7	15	0	2	6	0	2	2	3	4
		100.0	19.6	13.7	29.4	0.0	3.9	11.8	0.0	3.9	3.9	5.9	7.8
学 生 ・ 社 会 人	学生	46	12	4	19	0	1	3	0	0	4	2	1
		100.0	26.1	8.7	41.3	0.0	2.2	6.5	0.0	0.0	8.7	4.3	2.2
	社会人	36	8	4	5	0	5	7	0	1	3	1	2
		100.0	22.2	11.1	13.9	0.0	13.9	19.4	0.0	2.8	8.3	2.8	5.6
	その他	6	1	1	0	0	1	0	0	1	1	0	1
		100.0	16.7	16.7	0.0	0.0	16.7	0.0	0.0	16.7	16.7	0.0	16.7

問6 希望の進路(予定を含む)

(単数回答)

		1. 恩納村内で就職	2. 沖縄県内で就職	3. 沖縄県内で進学	4. 県外で就職	5. 県外で進学	6. 県内ですでに恩納村に就任している又は	7. その他	無回答	
		上段:件数、下段:横%								
全 体		88	12	35	5	8	9	18	0	1
		100.0	13.6	39.8	5.7	9.1	10.2	20.5	0.0	1.1
性 別	男性	37	7	13	3	2	2	9	0	1
		100.0	18.9	35.1	8.1	5.4	5.4	24.3	0.0	2.7
	女性	51	5	22	2	6	7	9	0	0
		100.0	9.8	43.1	3.9	11.8	13.7	17.6	0.0	0.0
学 生 ・ 社 会 人	学生	46	8	20	5	5	8	0	0	0
		100.0	17.4	43.5	10.9	10.9	17.4	0.0	0.0	0.0
	社会人	36	4	10	0	3	1	18	0	0
		100.0	11.1	27.8	0.0	8.3	2.8	50.0	0.0	0.0
	その他	6	0	5	0	0	0	0	0	1
		100.0	0.0	83.3	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	16.7

問6-1 恩納村内で就職をする理由

(単数回答)

		1. 希望する職種がある	2. 家族がいて生活が助かる	3. 給料などに満足できる	4. 恩納村のことが好きだから	5. 恩納村や沖縄県の発展につながる仕事が発見できる	6. 自分の夢を実現したいから	7. 自分がどこまでできるか試してみたいから	8. 親がすすめる	9. 友達がいるから	10. その他
		上段:件数、下段:横%									
全 体		12	5	0	4	1	0	0	0	2	
		100.0	41.7	0.0	0.0	33.3	8.3	0.0	0.0	0.0	16.7
性 別	男性	7	3	0	4	0	0	0	0	0	
		100.0	42.9	0.0	0.0	57.1	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	女性	5	2	0	0	0	1	0	0	0	2
		100.0	40.0	0.0	0.0	0.0	20.0	0.0	0.0	0.0	40.0
学 生 ・ 社 会 人	学生	8	3	0	3	1	0	0	0	1	
		100.0	37.5	0.0	0.0	37.5	12.5	0.0	0.0	0.0	12.5
	社会人	4	2	0	0	1	0	0	0	0	1
		100.0	50.0	0.0	0.0	25.0	0.0	0.0	0.0	0.0	25.0
	その他	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
		0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0

問6-2 沖縄県内で就職をする理由

(単数回答)

		1. 希望する職種がある	2. 家族が近くにいる生活が助かる	3. 給料などに満足できる	4. 恩納村や沖繩のことが好きだから	5. 恩納村や沖繩県の発展につながる仕事があるから	6. 自分の夢を実現したいから	7. 自分がどこまでできるか試してみたいから	8. 親がすすめる	9. 友達がいるから	10. その他
全体		35 100.0	13 37.1	7 20.0	0 0.0	6 17.1	3 8.6	0 0.0	2 5.7	0 0.0	2 5.7
性別	男性	13 100.0	5 38.5	2 15.4	0 0.0	2 15.4	1 7.7	0 0.0	0 0.0	0 0.0	2 15.4
	女性	22 100.0	8 36.4	5 22.7	0 0.0	4 18.2	2 9.1	0 0.0	2 9.1	0 0.0	1 4.5
学生・社会人	学生	20 100.0	8 40.0	3 15.0	0 0.0	4 20.0	2 10.0	0 0.0	1 5.0	0 0.0	2 10.0
	社会人	10 100.0	5 50.0	2 20.0	0 0.0	1 10.0	1 10.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	1 10.0
	その他	5 100.0	0 0.0	2 40.0	0 0.0	1 20.0	0 0.0	0 0.0	1 20.0	0 0.0	1 20.0

問6-3 沖縄県内で進学をする理由

(単数回答)

		1. 希望する分野がある	2. 家族がいて生活が助かる	3. 経済的な負担が少ないから	4. 沖縄県内での就職に有利	5. 県外の就職先に役立たせる	6. 親がすすめる	7. 友達がいるから	8. 他地域の大学や専門学校等の情報を知らない	9. その他
全体		5 100.0	2 40.0	0 0.0	3 60.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0
性別	男性	3 100.0	0 0.0	0 0.0	3 100.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0
	女性	2 100.0	2 100.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0
学生・社会人	学生	5 100.0	2 40.0	0 0.0	3 60.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0
	社会人	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0
	その他	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0

問6-4 沖縄県外で就職をする理由

(単数回答)

		1. 希望する職種がある	2. 県内より給料などに満足できる	3. 自分の夢を実現したい	4. 自分がどこまでできるか試してみたい	5. 高度な技術を生かした仕事がある	6. 都会暮らしがしてみたい	7. 自立したい	8. 親がすすめる	9. その他
全体		8 100.0	3 37.5	1 12.5	1 12.5	3 37.5	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0
性別	男性	2 100.0	2 100.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0
	女性	6 100.0	1 16.7	1 16.7	1 16.7	3 50.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0
学生・社会人	学生	5 100.0	0 0.0	1 20.0	1 20.0	3 60.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0
	社会人	3 100.0	3 100.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0
	その他	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0

問6-5 沖縄県外で進学をする理由

(単数回答)

		上段:件数、下段:横%	1. 希望する専攻・学科がある	2. 県外での就職に有利である	3. 県内に希望する専攻・学科等がない	4. 高度な学問や技術を学びたい	5. 自分の夢を実現したい	6. 都会暮らしがしてみたい	7. ひとり暮らしがしてみたい	8. 親がすすめる	9. その他
全体		9	5	0	1	1	1	0	0	0	1
		100.0	55.6	0.0	11.1	11.1	11.1	0.0	0.0	0.0	11.1
性別	男性		2	1	0	1	0	0	0	0	0
			100.0	50.0	0.0	50.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	女性		7	4	0	0	1	1	0	0	1
			100.0	57.1	0.0	0.0	14.3	14.3	0.0	0.0	14.3
学生・社会人	学生		8	5	0	1	1	1	0	0	0
			100.0	62.5	0.0	12.5	12.5	12.5	0.0	0.0	0.0
	社会人		1	0	0	0	0	0	0	0	1
			100.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	100.0
	その他		0	0	0	0	0	0	0	0	0
			0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0

問7 結婚についての考え

(単数回答)

		上段:件数、下段:横%	1. ぜひ結婚したい	2. できれば結婚したい	3. できれば結婚したくない	4. 結婚はしたくない	5.すでに結婚している	6. わからない	無回答
全体		88	34	35	0	2	2	14	1
		100.0	38.6	39.8	0.0	2.3	2.3	15.9	1.1
性別	男性		37	13	14	0	1	0	8
			100.0	35.1	37.8	0.0	2.7	0.0	21.6
	女性		51	21	21	0	1	2	6
			100.0	41.2	41.2	0.0	2.0	3.9	11.8
学生・社会人	学生		46	16	23	0	1	0	6
			100.0	34.8	50.0	0.0	2.2	0.0	13.0
	社会人		36	15	11	0	1	1	7
			100.0	41.7	30.6	0.0	2.8	2.8	19.4
	その他		6	3	1	0	0	1	1
			100.0	50.0	16.7	0.0	0.0	16.7	16.7

問8 結婚したいと思う年齢

(単数回答)

		上段:件数、下段:横%	1. 20歳前後	2. 25歳前後	3. 30歳前後	4. 35歳前後	5. 40歳以上	6. こだわらない	7. 結婚はしない	無回答
全体		88	0	37	29	1	0	15	3	3
		100.0	0.0	42.0	33.0	1.1	0.0	17.0	3.4	3.4
性別	男性		37	0	12	13	1	0	10	1
			100.0	0.0	32.4	35.1	2.7	0.0	27.0	2.7
	女性		51	0	25	16	0	0	5	2
			100.0	0.0	49.0	31.4	0.0	0.0	9.8	3.9
学生・社会人	学生		46	0	22	13	1	0	9	1
			100.0	0.0	47.8	28.3	2.2	0.0	19.6	2.2
	社会人		36	0	13	14	0	0	5	2
			100.0	0.0	36.1	38.9	0.0	0.0	13.9	5.6
	その他		6	0	2	2	0	0	1	0
			100.0	0.0	33.3	33.3	0.0	0.0	16.7	0.0

1) 就職・進学に関するアンケート

問9 結婚についてのイメージ

(複数回答)

		上段:件数、下段:横%	1.好きな人と一緒にいられる	2.精神的・経済的に安定する	3.子どもがもてる	4.親から独立できる	5.家事をやってもらえて生活が楽になる	6.親を喜ばすことができる	7.自由に使えるお金や時間が少なくなる	8.家事が大変そう	9.子育てが大変そう	10.家庭を築くのが面倒くさそう	11.親戚づきあいが大変そう	12.わからない	無回答
全体		88 —	44 50.0	28 31.8	42 47.7	11 12.5	2 2.3	22 25.0	20 22.7	9 10.2	15 17.0	4 4.5	5 5.7	4 4.5	2 2.3
性別	男性	37 —	21 56.8	13 35.1	19 51.4	6 16.2	1 2.7	7 18.9	10 27.0	2 5.4	5 13.5	4 10.8	1 2.7	1 2.7	0 0.0
	女性	51 —	23 45.1	15 29.4	23 45.1	5 9.8	1 2.0	15 29.4	10 19.6	7 13.7	10 19.6	0 0.0	4 7.8	3 5.9	2 3.9
学生・社会人	学生	46 —	22 47.8	18 39.1	24 52.2	4 8.7	1 2.2	10 21.7	10 21.7	6 13.0	9 19.6	0 0.0	1 2.2	3 6.5	0 0.0
	社会人	36 —	21 58.3	10 27.8	12 33.3	7 19.4	1 2.8	10 27.8	8 22.2	2 5.6	6 16.7	3 8.3	4 11.1	1 2.8	2 5.6
	その他	6 —	1 16.7	0 0.0	6 100.0	0 0.0	0 0.0	2 33.3	2 33.3	1 16.7	0 0.0	1 16.7	0 0.0	0 0.0	0 0.0

問10 子どもは何人くらい欲しいか

(単数回答)

		上段:件数、下段:横%	1.1人	2.2人	3.3人	4.4人以上	5.子どもは欲しいと思わない	6.わからない	無回答
全体		88 100.0	0 0.0	28 31.8	38 43.2	4 4.5	1 1.1	16 18.2	1 1.1
性別	男性	37 100.0	0 0.0	14 37.8	12 32.4	2 5.4	1 2.7	8 21.6	0 0.0
	女性	51 100.0	0 0.0	14 27.5	26 51.0	2 3.9	0 0.0	8 15.7	1 2.0
学生・社会人	学生	46 100.0	0 0.0	13 28.3	22 47.8	1 2.2	0 0.0	10 21.7	0 0.0
	社会人	36 100.0	0 0.0	13 36.1	14 38.9	2 5.6	1 2.8	5 13.9	1 2.8
	その他	6 100.0	0 0.0	2 33.3	2 33.3	1 16.7	0 0.0	1 16.7	0 0.0

問11 子育ての環境に必要なと思うこと

(複数回答)

		上段:件数、下段:横%	1.教育にあまりお金がかからないこと	2.出産・育児等に関する相談ができる人が身近にいること	3.保育所に子どもが預けやすくなること	4.雇用が安定すること	5.働きながら子育てができる職場環境であること	6.自分の昇進・昇格等に差支えないこと	7.家がある程度広いこと	8.自分または配偶者が高齢でないこと	9.健康上の問題がないこと	10.配偶者の家事・育児への協力が得られること	11.配偶者以外の家族に、育児と協力してくれる人がいること	12.特にない	13.分からない	14.その他	無回答
全体		88 —	26 29.5	31 35.2	51 58.0	23 26.1	51 58.0	0 0.0	5 5.7	2 2.3	18 20.5	21 23.9	13 14.8	0 0.0	3 3.4	0 0.0	1 1.1
性別	男性	37 —	12 32.4	9 24.3	18 48.6	13 35.1	18 48.6	0 0.0	5 13.5	1 2.7	11 29.7	9 24.3	4 10.8	0 0.0	2 5.4	0 0.0	0 0.0
	女性	51 —	14 27.5	22 43.1	33 64.7	10 19.6	33 64.7	0 0.0	0 0.0	1 2.0	7 13.7	12 23.5	9 17.6	0 0.0	1 2.0	0 0.0	1 2.0
学生・社会人	学生	46 —	12 26.1	18 39.1	28 60.9	12 26.1	25 54.3	0 0.0	4 8.7	1 2.2	11 23.9	12 26.1	7 15.2	0 0.0	2 2.2	0 0.0	0 0.0
	社会人	36 —	13 36.1	11 30.6	19 52.8	7 19.4	25 69.4	0 0.0	1 2.8	1 2.8	7 19.4	6 16.7	4 11.1	0 0.0	2 5.6	0 0.0	1 2.8
	その他	6 —	1 16.7	2 33.3	4 66.7	4 66.7	1 16.7	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	3 50.0	2 33.3	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0

問12 将来、恩納村に住みたいか

(単数回答)

		1. け た ず つ と 恩 納 村 に 住 み 続 け	2. き ん だ 村 外 で 様 々 な 経 験 を 積 ん だ 後 、 恩 納 村 に 戻 っ て	3. け た い 恩 納 村 に ず つ と 住 み 続 け たい 思 わ ない	4. 分 か ら な い	無 回 答	
上段:件数、下段:横%							
全 体		88	15	34	14	23	2
		100.0	17.0	38.6	15.9	26.1	2.3
性 別	男性	37	7	14	5	10	1
		100.0	18.9	37.8	13.5	27.0	2.7
	女性	51	8	20	9	13	1
		100.0	15.7	39.2	17.6	25.5	2.0
学 生 ・ 社 会 人	学生	46	7	20	9	10	0
		100.0	15.2	43.5	19.6	21.7	0.0
	社会人	36	6	13	3	12	2
		100.0	16.7	36.1	8.3	33.3	5.6
	その他	6	2	1	2	1	0
		100.0	33.3	16.7	33.3	16.7	0.0

進学・就職や結婚などに関するアンケート調査のお願い

恩納村では、村内在住の18歳～24歳の皆さんに進学・就職、結婚や子育てに関するご意見を伺おうかがいし、今後の村政運営に役立てていきたいと考え、アンケート調査を実施することとなりました。
なお、無記名方式のため、個人が特定されることはございません。お忙しいところ、誠に恐縮ですが、ご協力をお願いいたします。

恩納村長 長浜 善巳

一ご記入にあたってー

- 質問には、ご本人(封筒のあて名の方)がお答えください
- ご記入いただいた調査票は、**8月11日(火)**までに同封の返信用封筒(切手不要)に入れ、恩納村役場企画課(電話:986-1201)あてにご返送ください。

はじめに、あなた自身についてお聞きします。

F1 あなたの年齢をお答えください。(あてはまる番号に1つ○)

- 1. 18歳 2. 19歳 3. 20歳 4. 21歳 5. 22歳 6. 23歳 7. 24歳

F2 あなたの性別をお答えください。(あてはまる番号に1つ○)

- 1. 男性 2. 女性

F3 あなたの職業などについてお答えください(あてはまる番号に1つ○)

- 1. 専門学校生 2. 大学生 3. 大学院生 4. パート・アルバイト・非常勤
- 5. 公務員・団体職員 6. 会社員 7. 浪人生 8. 主婦又は主夫
- 9. 特に何もしていない 10. その他()

習得の就職についてお聞きします。

問1 あなたが習得つきたいと思う職種を次の中から選んでください。(○はいくつでも)

- 1. 事務系 2. 営業系 3. 企画系 4. サービス系
- 5. 販売系 6. 技術系 7. 製造系 8. 専門系
- 9. クリエイティブ系 10. その他()

問2 あなたが習得つきたいと思う分野を次の中から選んでください。(○はいくつでも)

- 1. 農林水産 2. 電気・機械 3. 建築・土木 4. インターネット・ソフトウェア
- 5. テレビ・新聞・出版 6. 広告・イベント 7. 運輸・通信 8. 航空・旅行・観光
- 9. 食品・化粧品・販売 10. ファッション・インテリア 11. 金融・証券・保険
- 12. 理美容・ウエディング 13. 調理師・パティシエ 14. 医療・看護
- 15. 保育・福祉 16. 弁護士・税理士 17. 警察官・自衛官
- 18. 教員 19. 公務員 20. 科学者・研究者
- 21. 芸能・スポーツ
- 22. その他(具体的に:)

問3 具体的に習得を自指したいと思う職業がある方は、ご記入ください。

具体的に:()

記入例:高校の先生、医師、保育士、公務員、設計士、キャビンアテンダント、バスケット選手、ミュージシャン

問4 就職を決める際の条件は何ですか。(○はいくつでも)

- 1. 希望する職種であること 2. 給料が高いこと 3. やりがいがあること
- 4. 安定性があること 5. 得業性があること 6. 企業イメージがよいこと
- 7. 自分にあっていること 8. 実力主義であること
- 9. 通勤しやすいなど、会社の立地条件がよいこと 10. 休みが取りやすいこと
- 11. 就業時間が短いこと 12. 社会保障制度、育児休暇制度など福利厚生が充実していること
- 13. こだわらない
- 14. その他()

問5 就職先や進学先を決める場合に最も参考にされる情報はどこから得ていますか。(あてはまる番号に1つ○)

- 1. インターネット(具体的に:)
- 2. 情報雑誌(具体的に:)
- 3. 先生 4. 塾の先生 5. ハローワーク 6. 親 7. 兄弟・姉妹
- 8. 友人 9. 先輩・後輩 10. その他()

問6 あなたの希望の進路(予定を含む) についてお答えください。(あてはまる番号に1つ○)

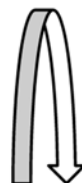
- 1. 恩納村内で就職 →問6-1ハ 2. 沖縄県内で就職 →問6-2ハ
- 3. 沖縄県内で進学 →問6-3ハ 4. 県外で就職 →問6-4ハ
- 5. 県外で進学 →問6-5ハ 6. すでに恩納村又は県内で就職している
- 7. その他()

問6-1 希望の進路を「1. 恩納村内で就職」とお答えの方にお願いします。

恩納村内で就職をする理由をお答えください。(あてはまる番号に1つ○)

- 1. 希望する職種がある 2. 家族がいて生活が助かる 3. 給料などに満足できる
- 4. 恩納村のことが好きだから 5. 恩納村や沖縄県の発展につながる仕事からしたいから
- 6. 自分の夢を実現したいから 7. 自分とどこまでできるか試してみたいから
- 8. 親がすすめる 9. 友達がいるから
- 10. その他()

裏面に進んでください



問6-2 希望の進路を「2. 沖縄県内で就職」とお答えの方にお聞きします。
県内で就職をする理由をお答えください。(あてはまる番号に1つ〇)

1. 希望する職種がある
2. 家族が近くにいる生活が助かる
3. 給料などに満足できる
4. 恩納村や沖縄県の発展につながる仕事をしたいから
5. 自分がどこまでできるか試してみたいから
6. 自分の夢を実現したいから
7. 自分がどこまでできるか試してみたいから
8. 親がすすめる
9. 友達がいるから
10. その他 ()

問6-3 希望の進路を「3. 沖縄県内で進学」とお答えの方にお聞きします。
沖縄県内で進学をする理由をお答えください。(あてはまる番号に1つ〇)

1. 希望する分野がある
2. 家族がいて生活が助かる
3. 経済的な負担が少ないから
4. 沖縄県内での就職に有利
5. 県外の就職先に役立たせる
6. 親がすすめる
7. 友達がいるから
8. 他地域の大学や専門学校等の情報を知らない
9. その他 ()

問6-4 希望の進路を「4. 県外で就職」とお答えの方にお聞きします。
県外で就職をする理由をお答えください。(あてはまる番号に1つ〇)

1. 希望する職種がある
2. 県内より給料などに満足できる
3. 自分の夢を実現したい
4. 自分がどこまでできるか試してみたい
5. 高度な技術を生かした仕事をしたい
6. 都会暮らしがしてみたい
7. 自立したい
8. 親がすすめる
9. その他 ()

問6-5 希望の進路を「県外で進学」とお答えの方にお聞きします。
県外で進学をする理由をお答えください。(あてはまる番号に1つ〇)

1. 希望する専攻・学科等がある
2. 県外での就職に有利である
3. 県内に希望する専攻・学科等がない
4. 高度な学問や技術を学びたい
5. 自分の夢を実現したい
6. 都会暮らしがしてみたい
7. ひとり暮らしがしてみたい
8. 親がすすめる
9. その他 ()

結婚や子育てなどについてお聞きします。

問7 結婚についてうかがいます。あなたのお考えにもっとも近いものを選んでください。
(あてはまる番号1つに〇)

1. ぜひ結婚したい
2. できれば結婚したい
3. できれば結婚したくない
4. 結婚はしたくない
5. すでに結婚している
6. わからない

問8 あなたは何歳くらいで結婚したいですか。あなたのお考えにもっとも近いものを選んでください。
(あてはまる番号1つに〇)

1. 20歳前後
2. 25歳前後
3. 30歳前後
4. 35歳前後
5. 40歳以上
6. こだわらない
7. 結婚はしない

問9 結婚のイメージについてうかがいます。あなたのお考えに近いものを選んでください。
(あてはまる番号3つに〇)

1. 好きな人と一緒にいられる
2. 精神的・経済的に安定する
3. 子どもがもてる
4. 親から独立できる
5. 家事をやってもらえて生活が楽になる
6. 親を喜ばすことができる
7. 自由に使えるお金や時間が少なくなる
8. 家事が大変そう
9. 子育てが大変そう
10. 家庭を築くのが面倒くさそう
11. 親戚づきあいが大変そう
12. わからない

問10 子どもは何人くらい欲しいと思いますか。(あてはまる番号1つに〇)

1. 1人
2. 2人
3. 3人
4. 4人以上
5. 子どもは欲しいと思わない
6. わからない

問11 子育ての環境として、どのようなことが必要だと思いますか。(あてはまる番号3つに〇)

1. 教育にあまりお金がかからないこと
2. 出産・育児等について相談できる人が身近にいること
3. 保育所に子どもが預けやすいなど、地域の保育サービスが整っていること
4. 雇用が安定すること
5. 働きながら子育てができる職場環境であること
6. 自分の昇進・昇格等に差支えないこと
7. 家がある程度広いこと
8. 自分または配偶者が高齢でないこと
9. 健康上の問題がないこと
10. 配偶者の家事・育児への協力が得られること
11. 配偶者以外の家族に、育児に協力してくれる人がいること
12. 特になし
13. 分らない
14. その他 ()

問12 将来、恩納村に住みたいですか。(あてはまる番号に1つ〇)

1. ずっと恩納村に住み続けたい
2. 村外で様々な経験を積んだ後、恩納村に戻ってきたい
3. 恩納村にずっと住み続けたいとは思わない
4. 分からない

問13 恩納村が将来どのようなようになればよいと思いますか。ご自由に記載してください。

ご協力ありがとうございました。

2) 転入者アンケート

F4 同居している20歳未満の子どもの状況

(複数回答)

		1. 就学前	2. 小学生	3. 中学生	4. 高校生以上の学生	5. バイト等社会人・アル	6. 子どもは0歳未満のいない	無回答	
上段: 件数、下段: 横%									
全 体		337	57	40	17	4	5	218	20
		—	16.9	11.9	5.0	1.2	1.5	64.7	5.9
性 別	男性	183	33	24	6	1	2	124	8
		—	18.0	13.1	3.3	0.5	1.1	67.8	4.4
	女性	152	24	16	11	3	3	94	10
		—	15.8	10.5	7.2	2.0	2.0	61.8	6.6
無回答		2	0	0	0	0	0	0	2
		—	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	100.0
家 族 構 成	単身世帯	126	0	0	0	0	0	126	0
		—	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	100.0	0.0
	夫婦のみ	72	0	0	0	0	0	72	0
		—	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	100.0	0.0
	二世帯世帯	108	48	38	15	4	5	9	13
		—	44.4	35.2	13.9	3.7	4.6	8.3	12.0
	三世帯世帯	15	9	1	2	0	0	0	3
		—	60.0	6.7	13.3	0.0	0.0	0.0	20.0
その他		12	0	1	0	0	0	11	0
		—	0.0	8.3	0.0	0.0	0.0	91.7	0.0
無回答		4	0	0	0	0	0	0	4
		—	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	100.0
同 居 中 の 未 成 年	いる	99	57	40	17	4	5	0	0
		—	57.6	40.4	17.2	4.0	5.1	0.0	0.0
	いない	218	0	0	0	0	0	218	0
		—	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	100.0	0.0
無回答		20	0	0	0	0	0	0	20
		—	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	100.0

F5 現在の勤務地・就学地

(単数回答)

		1. 恩納村内	2. うるま市	3. 沖縄市	4. 名護市	5. 読谷村	6. 宜野座村	7. 金武町	8. 那覇市	9. 市町村上記以外の県内	10. 県外	11. その他	無回答	
上段: 件数、下段: 横%														
全 体		337	143	21	16	26	12	1	4	8	22	10	6	68
		100.0	42.4	6.2	4.7	7.7	3.6	0.3	1.2	2.4	6.5	3.0	1.8	20.2
性 別	男性	183	89	9	10	10	3	1	1	6	15	7	3	29
		100.0	48.6	4.9	5.5	5.5	1.6	0.5	0.5	3.3	8.2	3.8	1.6	15.8
	女性	152	53	12	6	15	9	0	3	2	7	3	3	39
		100.0	34.9	7.9	3.9	9.9	5.9	0.0	2.0	1.3	4.6	2.0	2.0	25.7
無回答		2	1	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0
		100.0	50.0	0.0	0.0	50.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
家 族 構 成	単身世帯	126	69	3	5	10	2	0	0	3	6	4	2	22
		100.0	54.8	2.4	4.0	7.9	1.6	0.0	0.0	2.4	4.8	3.2	1.6	17.5
	夫婦のみ	72	31	3	2	4	2	0	1	0	6	2	3	18
		100.0	43.1	4.2	2.8	5.6	2.8	0.0	1.4	0.0	8.3	2.8	4.2	25.0
	二世帯世帯	108	35	10	7	8	8	1	1	3	9	4	1	21
		100.0	32.4	9.3	6.5	7.4	7.4	0.9	0.9	2.8	8.3	3.7	0.9	19.4
	三世帯世帯	15	4	2	1	2	0	0	2	1	0	0	0	3
		100.0	26.7	13.3	6.7	13.3	0.0	0.0	13.3	6.7	0.0	0.0	0.0	20.0
その他		12	2	2	1	2	0	0	0	0	1	0	0	4
		100.0	16.7	16.7	8.3	16.7	0.0	0.0	0.0	0.0	8.3	0.0	0.0	33.3
無回答		4	2	1	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0
		100.0	50.0	25.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	25.0	0.0	0.0	0.0	0.0
同 居 中 の 未 成 年	いる	99	34	13	8	7	5	1	1	4	7	4	1	14
		100.0	34.3	13.1	8.1	7.1	5.1	1.0	1.0	4.0	7.1	4.0	1.0	14.1
	いない	218	106	7	8	16	6	0	1	3	14	6	5	46
		100.0	48.6	3.2	3.7	7.3	2.8	0.0	0.5	1.4	6.4	2.8	2.3	21.1
無回答		20	3	1	0	3	1	0	2	1	1	0	0	8
		100.0	15.0	5.0	0.0	15.0	5.0	0.0	10.0	5.0	5.0	0.0	0.0	40.0

問1 恩納村へ転居した最大の理由

(単数回答)

		便 性 等 (1. 仕 事 の 都 合 (就 職 、 通 勤 、 退 職 、 通 勤 の 利 便 性 等)	2. 学 校 の 都 合 (進 学 、 通 学 等)	3. こ の 学 校 の 都 合 (進 学 、 通 学 等)	4. 住 宅 の 都 合 (広 さ 、 間 取 、 設 備 、 家 賃 、 持 ち 家 の 購 入 等)	5. 家 庭 の 都 合 (結 婚 、 近 居 等)	6. 住 環 境 の 良 さ (防 災 、 街 並 み が よ い 、 自 然 が 多 い 、 治 安 が よ い 等)	7. 震 災 や 原 発 事 故 の 影 響 の た め	8. 恩 納 村 で 生 ま れ 育 つ た か ら	9. そ の 他	無 回 答
		上段:件数、下段:横%										
全 体		337 100.0	117 34.7	0 0.0	8 2.4	25 7.4	68 20.2	70 20.8	8 2.4	22 6.5	14 4.2	5 1.5
性 別	男性	183 100.0	77 42.1	0 0.0	5 2.7	16 8.7	24 13.1	38 20.8	2 1.1	14 7.7	6 3.3	1 0.5
	女性	152 100.0	40 26.3	0 0.0	3 2.0	9 5.9	44 28.9	31 20.4	6 3.9	7 4.6	8 5.3	4 2.6
	無回答	2 100.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	1 50.0	0 0.0	1 50.0	0 0.0	0 0.0
	無回答	2 100.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	1 50.0	0 0.0	1 50.0	0 0.0	0 0.0
家 族 構 成	単身世帯	126 100.0	74 58.7	0 0.0	1 0.8	2 1.6	10 7.9	31 24.6	0 0.0	3 2.4	3 2.4	2 1.6
	夫婦のみ	72 100.0	18 25.0	0 0.0	1 1.4	11 15.3	13 18.1	18 25.0	1 1.4	3 4.2	7 9.7	0 0.0
	二世帯世帯	108 100.0	21 19.4	0 0.0	4 3.7	11 10.2	31 28.7	17 15.7	7 6.5	13 12.0	1 0.9	3 2.8
	三世帯世帯	15 100.0	2 13.3	0 0.0	2 13.3	0 0.0	6 40.0	1 6.7	0 0.0	3 20.0	1 6.7	0 0.0
	その他	12 100.0	1 8.3	0 0.0	0 0.0	1 8.3	8 66.7	1 8.3	0 0.0	0 0.0	1 8.3	0 0.0
	無回答	4 100.0	1 25.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	2 50.0	0 0.0	0 0.0	1 25.0	0 0.0
	無回答	4 100.0	1 25.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	2 50.0	0 0.0	0 0.0	1 25.0	0 0.0
同 居 中 の 未 成 年	いる	99 100.0	20 20.2	0 0.0	6 6.1	11 11.1	28 28.3	16 16.2	7 7.1	9 9.1	1 1.0	1 1.0
	いない	218 100.0	93 42.7	0 0.0	2 0.9	14 6.4	33 15.1	51 23.4	1 0.5	11 5.0	11 5.0	2 0.9
	無回答	20 100.0	4 20.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	7 35.0	3 15.0	0 0.0	2 10.0	2 10.0	2 10.0
	無回答	20 100.0	4 20.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	7 35.0	3 15.0	0 0.0	2 10.0	2 10.0	2 10.0

問2 転入前の住居形態

(単数回答)

		1. 持 ち 家 の 一 戸 建 て	2. 持 ち 家 の 集 合 住 宅 (マ ン シ ョ ン な ど)	3. 賃 貸 の 一 戸 建 て	4. 賃 貸 の ア パ ー ト ・ マ ン シ ョ ン な ど	5. 社 宅	6. 村 営 住 宅	7. そ の 他	無 回 答
		上段:件数、下段:横%							
全 体		337 100.0	89 26.4	18 5.3	18 5.3	166 49.3	23 6.8	9 2.7	7 2.1
性 別	男性	183 100.0	54 29.5	13 7.1	10 5.5	81 44.3	16 8.7	1 0.5	6 3.3
	女性	152 100.0	35 23.0	5 3.3	8 5.3	83 54.6	7 4.6	8 5.3	1 0.7
	無回答	2 100.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	2 100.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0
	無回答	2 100.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	2 100.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0
家 族 構 成	単身世帯	126 100.0	45 35.7	7 5.6	5 4.0	47 37.3	14 11.1	1 0.8	4 3.2
	夫婦のみ	72 100.0	19 26.4	7 9.7	4 5.6	34 47.2	2 2.8	4 5.6	1 1.4
	二世帯世帯	108 100.0	18 16.7	3 2.8	9 8.3	65 60.2	6 5.6	2 1.9	2 2.8
	三世帯世帯	15 100.0	1 6.7	0 0.0	0 0.0	11 73.3	1 6.7	2 13.3	0 0.0
	その他	12 100.0	4 33.3	0 0.0	0 0.0	8 66.7	0 0.0	0 0.0	0 0.0
	無回答	4 100.0	2 50.0	1 25.0	0 0.0	1 25.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0
	無回答	4 100.0	2 50.0	1 25.0	0 0.0	1 25.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0
同 居 中 の 未 成 年	いる	99 100.0	14 14.1	3 3.0	7 7.1	62 62.6	7 7.1	4 4.0	1 1.0
	いない	218 100.0	68 31.2	14 6.4	10 4.6	96 44.0	16 7.3	5 2.3	5 2.3
	無回答	20 100.0	7 35.0	1 5.0	1 5.0	8 40.0	0 0.0	0 0.0	1 5.0
	無回答	20 100.0	7 35.0	1 5.0	1 5.0	8 40.0	0 0.0	0 0.0	1 5.0

問3 現在の住居形態

(単数回答)

		1. 持ち家の一戸建て	2. 持ち家の集合住宅 (マンションなど)	3. 賃貸の一戸建て	4. 賃貸のアパート・マンションなど	5. 社宅	6. 村営住宅	7. その他	無回答	
上段:件数、下段:横%										
全体		337 100.0	103 30.6	8 2.4	22 6.5	147 43.6	38 11.3	3 0.9	10 3.0	6 1.8
性別	男性	183 100.0	56 30.6	5 2.7	13 7.1	75 41.0	25 13.7	0 0.0	6 3.3	3 1.6
	女性	152 100.0	47 30.9	3 2.0	9 5.9	71 46.7	13 8.6	3 2.0	3 2.0	3 2.0
	無回答	2 100.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	1 50.0	0 0.0	0 0.0	1 50.0	0 0.0
家族構成	単身世帯	126 100.0	18 14.3	6 4.8	4 3.2	60 47.6	30 23.8	0 0.0	5 4.0	3 2.4
	夫婦のみ	72 100.0	22 30.6	1 1.4	9 12.5	36 50.0	2 2.8	0 0.0	1 1.4	1 1.4
	二世帯世帯	108 100.0	44 40.7	1 0.9	7 6.5	43 39.8	5 4.6	2 1.9	4 3.7	2 1.9
	三世帯世帯	15 100.0	14 93.3	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	1 6.7	0 0.0	0 0.0
	その他	12 100.0	3 25.0	0 0.0	2 16.7	7 58.3	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0
	無回答	4 100.0	2 50.0	0 0.0	0 0.0	1 25.0	1 25.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0
	同居中の未成年	99 100.0	39 39.4	1 1.0	7 7.1	41 41.4	5 5.1	3 3.0	2 2.0	1 1.0
いない	218 100.0	50 22.9	7 3.2	15 6.9	103 47.2	32 14.7	0 0.0	7 3.2	4 1.8	
無回答	20 100.0	14 70.0	0 0.0	0 0.0	3 15.0	1 5.0	0 0.0	1 5.0	1 5.0	

問4 転入時の恩納村外での住まい探しについて

(単数回答)

		1. 探した	2. 村内のみ	3. 勤労が等しい村内(選択)	無回答	
上段:件数、下段:横%						
全体		337 100.0	108 32.0	63 18.7	155 46.0	11 3.3
性別	男性	183 100.0	61 33.3	41 22.4	77 42.1	4 2.2
	女性	152 100.0	47 30.9	20 13.2	78 51.3	7 4.6
	無回答	2 100.0	0 0.0	2 100.0	0 0.0	0 0.0
家族構成	単身世帯	126 100.0	33 26.2	22 17.5	66 52.4	5 4.0
	夫婦のみ	72 100.0	30 41.7	16 22.2	24 33.3	2 2.8
	二世帯世帯	108 100.0	38 35.2	22 20.4	45 41.7	3 2.8
	三世帯世帯	15 100.0	3 20.0	1 6.7	11 73.3	0 0.0
	その他	12 100.0	3 25.0	1 8.3	7 58.3	1 8.3
	無回答	4 100.0	1 25.0	1 25.0	2 50.0	0 0.0
同居中の未成年	いる	99 100.0	37 37.4	21 21.2	39 39.4	2 2.0
	いない	218 100.0	67 30.7	39 17.9	104 47.7	8 3.7
	無回答	20 100.0	4 20.0	3 15.0	12 60.0	1 5.0

問5 恩納村内で住まいを探す際に重視したこと

(単数回答)

		1. 住宅周辺のイメージ	2. 通勤や買い物に便利なこと	3. 親の近所に住むことができること	4. 出身地域であること	5. 学校に近いこと	6. 家賃や間取などの住宅事情	7. 恩納村内であればどこでもよかった	8. その他	無回答	
		上段:件数、下段:横%									
全体		337 100.0	55 16.3	38 11.3	33 9.8	30 8.9	15 4.5	63 18.7	12 3.6	54 16.0	37 11.0
性別	男性	183 100.0	37 20.2	19 10.4	16 8.7	16 8.7	8 4.4	30 16.4	7 3.8	30 16.4	20 10.9
	女性	152 100.0	18 11.8	19 12.5	17 11.2	13 8.6	7 4.6	33 21.7	5 3.3	23 15.1	17 11.2
	無回答	2 100.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	1 50.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	1 50.0	0 0.0
家族構成	単身世帯	126 100.0	26 20.6	21 16.7	7 5.6	6 4.8	0 0.0	18 14.3	8 6.3	21 16.7	19 15.1
	夫婦のみ	72 100.0	13 18.1	9 12.5	6 8.3	3 4.2	1 1.4	19 26.4	2 2.8	13 18.1	6 8.3
	二世代世帯	108 100.0	13 12.0	7 6.5	17 15.7	14 13.0	13 12.0	20 18.5	2 1.9	14 13.0	8 7.4
	三世代世帯	15 100.0	2 13.3	0 0.0	2 13.3	7 46.7	1 6.7	0 0.0	0 0.0	1 6.7	2 13.3
	その他	12 100.0	1 8.3	1 8.3	1 8.3	0 0.0	0 0.0	6 50.0	0 0.0	2 16.7	1 8.3
	無回答	4 100.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	3 75.0	1 25.0
同居中の未成年	いる	99 100.0	13 13.1	6 6.1	13 13.1	13 13.1	14 14.1	20 20.2	2 2.0	15 15.2	3 3.0
	いない	218 100.0	41 18.8	31 14.2	17 7.8	13 6.0	1 0.5	43 19.7	10 4.6	36 16.5	26 11.9
	無回答	20 100.0	1 5.0	1 5.0	3 15.0	4 20.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	3 15.0	8 40.0

問6 現在の住まいを探したときの情報源

(複数回答)

		1. インターネット	2. 住宅情報誌	3. 住宅展示場	4. 不動産業者	5. 新聞・広告	6. 親族・知人	7. その他	無回答	
		上段:件数、下段:横%								
全体		337 —	83 24.6	24 7.1	1 0.3	75 22.3	4 1.2	96 28.5	67 19.9	36 10.7
性別	男性	183 —	50 27.3	14 7.7	0 0.0	41 22.4	3 1.6	51 27.9	35 19.1	21 11.5
	女性	152 —	32 21.1	10 6.6	1 0.7	34 22.4	1 0.7	45 29.6	31 20.4	15 9.9
	無回答	2 —	1 50.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	1 50.0	0 0.0
家族構成	単身世帯	126 —	24 19.0	2 1.6	1 0.8	24 19.0	3 2.4	37 29.4	32 25.4	16 12.7
	夫婦のみ	72 —	20 27.8	9 12.5	0 0.0	18 25.0	1 1.4	25 34.7	6 8.3	6 8.3
	二世代世帯	108 —	36 33.3	11 10.2	0 0.0	28 25.9	0 0.0	22 20.4	20 18.5	11 10.2
	三世代世帯	15 —	1 6.7	0 0.0	0 0.0	3 20.0	0 0.0	5 33.3	6 40.0	1 6.7
	その他	12 —	1 8.3	2 16.7	0 0.0	2 16.7	0 0.0	6 50.0	1 8.3	2 16.7
	無回答	4 —	1 25.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	1 25.0	2 50.0	0 0.0
同居中の未成年	いる	99 —	36 36.4	10 10.1	0 0.0	30 30.3	0 0.0	21 21.2	18 18.2	5 5.1
	いない	218 —	45 20.6	13 6.0	1 0.5	44 20.2	4 1.8	71 32.6	43 19.7	25 11.5
	無回答	20 —	2 10.0	1 5.0	0 0.0	1 5.0	0 0.0	4 20.0	6 30.0	6 30.0

2) 転入者アンケート

問7 転入先に恩納村を選じた主な理由

(複数回答)

		上段:件数	下段:横%	1.住宅の規模や価格、家賃など住宅事情が良いから	2.バスや道路など交通の利便性が高いから	3.職場や学校が近いから	4.静かな居住環境だから	5.海や山などの自然が豊かだから	6.野球等の地域のスポーツ活動が活発だから	7.各地域で伝統行事や伝統芸能が活発だから	8.海岸沿いの風景が魅力的だから	9.治安が良いから	10.地震や台風、豪雨などの自然災害に強いから
全体		337	—	61	16	114	83	164	3	9	48	27	1
		—	—	18.1	4.7	33.8	24.6	48.7	0.9	2.7	14.2	8.0	0.3
性別	男性	183	—	29	9	60	54	96	2	4	31	16	0
		—	—	15.8	4.9	32.8	29.5	52.5	1.1	2.2	16.9	8.7	0.0
	女性	152	—	32	7	54	29	67	1	5	17	11	1
		—	—	21.1	4.6	35.5	19.1	44.1	0.7	3.3	11.2	7.2	0.7
無回答		2	—	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0
		—	—	0.0	0.0	0.0	0.0	50.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
家族構成	単身世帯	126	—	23	8	50	27	58	1	3	22	8	0
		—	—	18.3	6.3	39.7	21.4	46.0	0.8	2.4	17.5	6.3	0.0
	夫婦のみ	72	—	19	3	22	21	44	0	4	18	5	0
		—	—	26.4	4.2	30.6	29.2	61.1	0.0	5.6	25.0	6.9	0.0
	二世帯世帯	108	—	15	5	39	24	50	1	2	4	11	1
		—	—	13.9	4.6	36.1	22.2	46.3	0.9	1.9	3.7	10.2	0.9
	三世帯世帯	15	—	1	0	3	5	4	0	0	3	1	0
		—	—	6.7	0.0	20.0	33.3	26.7	0.0	0.0	20.0	6.7	0.0
その他		12	—	3	0	0	6	5	1	0	1	2	0
		—	—	25.0	0.0	0.0	50.0	41.7	8.3	0.0	8.3	16.7	0.0
無回答		4	—	0	0	0	0	3	0	0	0	0	0
		—	—	0.0	0.0	0.0	0.0	75.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
同居中の未成年	いる	99	—	13	5	40	25	47	2	2	5	11	0
		—	—	13.1	5.1	40.4	25.3	47.5	2.0	2.0	5.1	11.1	0.0
	いない	218	—	46	11	73	55	110	1	7	41	15	0
		—	—	21.1	5.0	33.5	25.2	50.5	0.5	3.2	18.8	6.9	0.0
無回答		20	—	2	0	1	3	7	0	0	2	1	1
		—	—	10.0	0.0	5.0	15.0	35.0	0.0	0.0	10.0	5.0	5.0

		上段:件数	下段:横%	11.保育サービスや医療費助成など、子育て支援が充実しているから	12.学校や教育環境がよいから	13.身近な地域で遊ぶことができるところが多いから	14.高齢者が向ける福祉サービスが充実しているから	15.障がい者向けの福祉サービスが充実しているから	16.知り合いや知人がいるから	17.親(族)や子どもの家が近いから	18.その他	無回答
全体		337	—	3	4	8	0	3	58	63	53	18
		—	—	0.9	1.2	2.4	0.0	0.9	17.2	18.7	15.7	5.3
性別	男性	183	—	2	1	4	0	3	32	29	24	9
		—	—	1.1	0.5	2.2	0.0	1.6	17.5	15.8	13.1	4.9
	女性	152	—	1	3	4	0	0	25	34	28	9
		—	—	0.7	2.0	2.6	0.0	0.0	16.4	22.4	18.4	5.9
無回答		2	—	0	0	0	0	0	1	0	1	0
		—	—	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	50.0	0.0	50.0	0.0
家族構成	単身世帯	126	—	1	0	0	0	3	18	17	20	10
		—	—	0.8	0.0	0.0	0.0	2.4	14.3	13.5	15.9	7.9
	夫婦のみ	72	—	0	0	1	0	0	11	12	7	3
		—	—	0.0	0.0	1.4	0.0	0.0	15.3	16.7	9.7	4.2
	二世帯世帯	108	—	2	3	7	0	0	20	24	20	4
		—	—	1.9	2.8	6.5	0.0	0.0	18.5	22.2	18.5	3.7
	三世帯世帯	15	—	0	1	0	0	0	3	7	4	1
		—	—	0.0	6.7	0.0	0.0	0.0	20.0	46.7	26.7	6.7
その他		12	—	0	0	0	0	0	5	3	1	0
		—	—	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	41.7	25.0	8.3	0.0
無回答		4	—	0	0	0	0	0	1	0	1	0
		—	—	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	25.0	0.0	25.0	0.0
同居中の未成年	いる	99	—	2	4	7	0	0	18	25	16	2
		—	—	2.0	4.0	7.1	0.0	0.0	18.2	25.3	16.2	2.0
	いない	218	—	1	0	1	0	3	38	36	30	14
		—	—	0.5	0.0	0.5	0.0	1.4	17.4	16.5	13.8	6.4
無回答		20	—	0	0	0	0	0	2	2	7	2
		—	—	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	10.0	10.0	35.0	10.0

問8 転入前に恩納村の行政サービスや制度を調べたか (単数回答)

		1. 調べた	2. 調べなかった	3. 調べていなかったが、	無回答
上段:件数、下段:横%					
全体		337 100.0	33 9.8	262 77.7	24 7.1
性別	男性	183 100.0	20 10.9	136 74.3	17 9.3
	女性	152 100.0	13 8.6	125 82.2	6 3.9
	無回答	2 100.0	0 0.0	1 50.0	1 50.0
家族構成	単身世帯	126 100.0	5 4.0	105 83.3	9 7.1
	夫婦のみ	72 100.0	8 11.1	55 76.4	4 5.6
	二世帯世帯	108 100.0	17 15.7	77 71.3	9 8.3
	三世帯世帯	15 100.0	2 13.3	12 80.0	1 6.7
	その他	12 100.0	1 8.3	10 83.3	1 8.3
	無回答	4 100.0	0 0.0	3 75.0	0 0.0
同居中の未成年	いる	99 100.0	16 16.2	72 72.7	8 8.1
	いない	218 100.0	16 7.3	176 80.7	14 6.4
	無回答	20 100.0	1 5.0	14 70.0	2 10.0

問9 恩納村のむらづくりに期待すること

(複数回答)

		1. 豊かな自然環境が保全され、自然とともに生きるむらづくり	2. 子育てや教育の環境が充実したむらづくり	3. 歴史や文化などの地域特性を生かした魅力あるむらづくり	4. 良好な近所づきあいがあり、地域のつながり	5. みんながいつまでも元気に暮らせる、人にやさしい福祉・健康づくり	6. 災害に強く、防犯対策が充実した安全で安心できるむらづくり	7. 時代の先を行く最先端の技術が集まるむらづくり	8. リゾート地・観光地として来訪者がたくさん集う交流のむらづくり	9. 集落景観が美しく、快適な住環境が整備されたむらづくり	10. 廃棄物等の発生を抑制した循環型社会の形成に向けたむらづくり	11. 自然の恵みを生かした農業・林業・水産業が盛んなむらづくり	12. 自然環境と調和した観光のむらづくり	13. 住民主体の地域活動が活発なむらづくり	14. その他	無回答	
上段:件数、下段:横%																	
全体		337 —	195 57.9	167 49.6	71 21.1	124 36.8	141 41.8	123 36.5	34 10.1	83 24.6	97 28.8	57 16.9	83 24.6	124 36.8	62 18.4	88 26.1	17 5.0
性別	男性	183 —	105 57.4	81 44.3	33 18.0	62 33.9	66 36.1	61 33.3	23 12.6	57 31.1	57 31.1	30 16.4	40 21.9	71 38.8	32 17.5	45 24.6	8 4.4
	女性	152 —	89 58.6	85 55.9	38 25.0	62 40.8	74 48.7	62 40.8	11 7.2	26 17.1	40 26.3	27 17.8	43 28.3	53 34.9	30 19.7	43 28.3	9 5.9
	無回答	2 —	1 50.0	1 50.0	0 0.0	0 0.0	0 50.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0
家族構成	単身世帯	126 —	68 54.0	37 29.4	27 21.4	47 37.3	38 30.2	37 29.4	11 8.7	42 33.3	32 25.4	19 15.1	31 24.6	50 39.7	23 18.3	31 24.6	9 7.1
	夫婦のみ	72 —	48 66.7	26 36.1	18 25.0	25 34.7	31 43.1	23 31.9	10 13.9	15 20.8	21 29.2	14 19.4	17 23.6	26 36.1	14 19.4	20 27.8	5 6.9
	二世帯世帯	108 —	65 60.2	85 78.7	23 21.3	42 38.9	54 50.0	48 44.4	11 10.2	21 19.4	36 33.3	23 21.3	28 25.9	38 35.2	22 20.4	29 26.9	3 2.8
	三世帯世帯	15 —	5 33.3	11 73.3	2 13.3	5 33.3	10 66.7	8 53.3	1 6.7	2 13.3	3 20.0	1 6.7	3 20.0	4 26.7	3 20.0	4 26.7	0 0.0
	その他	12 —	7 58.3	6 50.0	1 8.3	5 41.7	7 58.3	6 50.0	1 8.3	2 16.7	5 41.7	0 0.0	4 33.3	5 41.7	0 0.0	2 16.7	0 0.0
	無回答	4 —	2 50.0	2 50.0	0 0.0	0 0.0	1 25.0	1 25.0	0 0.0	1 25.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	1 25.0	0 0.0	2 50.0	0 0.0
同居中の未成年	いる	99 —	57 57.6	84 84.8	23 23.2	43 43.4	50 50.5	46 46.5	12 12.1	19 19.2	30 30.3	17 17.2	25 25.3	36 36.4	20 20.2	28 28.3	2 2.0
	いない	218 —	128 58.7	74 33.9	46 21.1	78 35.8	83 38.1	69 31.7	22 10.1	60 27.5	62 28.4	34 15.6	56 25.7	84 38.5	42 19.3	55 25.2	14 6.4
	無回答	20 —	10 50.0	9 45.0	2 10.0	3 15.0	8 40.0	8 40.0	0 0.0	4 20.0	5 25.0	6 30.0	2 10.0	4 20.0	0 0.0	5 25.0	1 5.0

恩納村へご転入された方へ

豊かな地域づくりのための
転入者アンケートのお願い

皆様には、日ごろの村政にご協力をいただきありがとうございます。
恩納村では、転入された皆様のご意見を、今後の村政運営に役立てていきたいと考え、アンケート調査を実施することとなりました。
お答えいただいた内容は、恩納村への居住促進のための施策作りの基礎資料として活用致します。アンケート調査にあたっては、平成20年以降に恩納村へ転入された世帯主のみならず、ご協力をお願いしています。なお、無記名方式のため、個人が特定されることはありません。
お忙しいところ、誠に恐縮ですが、ご協力お願いいたします。

恩納村長 長浜 善巳

一ご記入にあたってー

○質問には、ご本人（封筒のあて名の方）がお答えください

○ご記入いただいた調査票は2015年7月7日（火）までに同封の返信用封筒（切手不要：恩納村役場 企画課宛）に入れて、郵便ポストへ投函ください。

はじめに、あなた自身についてお伺いします。

F1 あなた（あてご本人）の性別をお答えください。（あてはまる番号に1つ○）

- 1. 男性
- 2. 女性

F2 恩納村でのお住まいはどちらですか。（あてはまる番号に1つ○）

- 1. 名嘉真
- 2. 喜瀬武原
- 3. 安富祖
- 4. 瀬良垣
- 5. 太田
- 6. 恩納
- 7. 南恩納
- 8. 谷茶
- 9. 富着
- 10. 前津久
- 11. 仲泊
- 12. 山田
- 13. 真栄田
- 14. 塩屋
- 15. 宇加地

F3 現在の家族構成を教えてください。（あてはまる番号に1つ○）

- 1. 単身世帯
- 2. 夫婦のみ
- 3. 二世帯同居（親・子ども）
- 4. 三世帯同居（親・子ども・孫）
- 5. その他（ ）

F4 同居している20歳未満のお子さんがいらっしゃる場合、次のどれにあてはまりますか。

(○はいくつでも)

- 1. 就学前
- 2. 小学校
- 3. 中学校
- 4. 高校生以上の学生
- 5. 社会人・アルバイト等
- 6. 20歳未満の子どもはいない

F5 あなたがお仕事をされている（学校に通っている）場合、現在の勤務地、又は就学地はどこですか。

- 1. 恩納村内
 - 2. うるま市
 - 3. 沖繩市
 - 4. 名護市
 - 5. 読谷村
 - 6. 宜野座村
 - 7. 金武町
 - 8. 那覇市
 - 9. 上記以外の県内（ ）市・町・村
 - 10. 県外
 - 11. その他（ ）
- （あてはまる番号に1つ○）

恩納村に住んだ理由、住まいについてお伺いします。

問1 恩納村へ転居した最大の理由は何か。（あてはまる番号に1つ○）

- 1. 仕事の都合（就職、転勤、転職、退職、通勤、通勤の利便性 等）
- 2. あなたの学校の都合（進学、通学 等）
- 3. こどもの学校の都合（進学、通学 等）
- 4. 住宅の都合（広さ、間取、設備、家賃、持ち家の購入 等）
- 5. 家庭の都合（結婚、介護、親（族）と同居、近居 等）
- 6. 住環境の良さ（防災、治安がよい、自然が多い、街並みがよい 等）
- 7. 震災や原発事故の影響のため
- 8. 恩納村で生まれ育ったから
- 9. その他（ ）

問2 転入前の住居形態はどれですか。（あてはまる番号に1つ○）

- 1. 持ち家の一戸建て
- 2. 持ち家の集合住宅（マンションなど）
- 3. 賃貸の一戸建て
- 4. 賃貸のアパート・マンションなど
- 5. 社宅
- 6. 村営住宅
- 7. その他（ ）

問3 現在の住居形態はどれですか。（あてはまる番号に1つ○）

- 1. 持ち家の一戸建て
- 2. 持ち家の集合住宅（マンションなど）
- 3. 賃貸の一戸建て
- 4. 賃貸のアパート・マンションなど
- 5. 社宅
- 6. 村営住宅
- 7. その他（ ）

問4 転入時に恩納村外で住まいを探しましたか。（あてはまる番号に1つ○）

- 1. 探した（住宅を探した具体的な自治体名： ）
- 2. 村内のみ
- 3. 探していない（転勤等、村内しか選択肢がなかった）

問5 恩納村内で住まいを探す際に見たことは何ですか。（あてはまる番号に1つ○）

- 1. 住宅周辺のイメージのよいところ
- 2. 通勤や買い物に便利なこと
- 3. 親の近所に住むことができること
- 4. 出身地域であること
- 5. 学校に近いこと
- 6. 家賃や間取などの住宅事情
- 7. 恩納村内であればどこでもよかった
- 8. その他（ ）

裏面に連れ戻してください

問6 現在の住まいを探したときの情報源は何ですか。(〇はいくつでも)

1. インターネット(具体的に:)
 2. 住宅情報誌)
 3. 住宅展示場)
 4. 不動産業者)
 5. 新聞・広告)
 6. 親族・知人)
 7. その他 ()

転入先として恩納村を選択した理由についてお伺いします。

問7 恩納村を選択した主な理由はなんですか。(あてはまる番号に3つ〇)

1. 住宅の規模や価格、家賃など住宅事情が良いから)
 2. バスや道路など交通の利便性が高いから)
 3. 職場や学校が近いから)
 4. 静かな居住環境だから)
 5. 海や山などの自然が豊かだから)
 6. 野球等の地域のスポーツ活動が活発だから)
 7. 各地域で伝統行事や伝統芸能が活発だから)
 8. 海岸沿いに連なるリゾートホテルの風景が魅力的だから)
 9. 治安が良いから)
 10. 地震や台風、豪雨などの自然災害に強いから)
 11. 保育サービスや医療費助成などの子育て支援が充実していて、子育てしやすいから(⇒問7-1ハ))
 12. 学校教育の内容や教職員の質が高いなど教育環境が良いから(⇒問7-2ハ))
 13. 身近な地域で、子どもが安全で安心して遊ぶことができる場所が多かいから)
 14. 高齢者向けの福祉サービスが充実しているから)
 15. 障がい者向けの福祉サービスが充実しているから)
 16. 知り合いや知人がいるから)
 17. 親(族)や子どもの家が近いから)
 18. その他 ()

問7で「11. 保育サービスや医療費助成などの子育て支援が充実していて、子育てしやすいから」を選んだ方のお答えください。

問7-1 恩納村が「子育てしやすい」と思った主な理由は何ですか。(〇はいくつでも)

1. 保育所に入りやすい)
 2. 保育料が安い)
 3. 延長保育等の保育サービスが充実している)
 4. 保育所の一時預かり施設が充実している)
 5. 病児・病後児保育が充実している)
 6. 幼稚園の午後の預かり保育が充実している)
 7. 小児医療機関が充実している)
 8. 子ども医療費助成制度が充実している)
 9. 子育てに関する相談体制が充実している)
 10. 子育て支援センターの内容が充実している)
 11. ひとり親世帯への支援が充実している)
 12. 祖父母に助けもたらえる)
 13. 障がい児支援が充実している)
 14. 習いごとに通いやすい)
 15. 公園等の遊び場が充実している)
 16. 緑や海が近く自然環境が良い)
 17. 治安が良い)
 18. その他 ()

問7で「12. 学校教育の内容や教職員の質が高いなど教育環境が良いから」を選んだ方のお答えください。

問7-2 恩納村が「教育環境が良い」と思った主な理由は何か。(〇はいくつでも)

1. 進学率・学力が高い)
 2. 校内風紀が良い)
 3. 評判が良い)
 4. 施設・設備が良い)
 5. 学習指導内容が良い)
 6. 学校給食が充実している)
 7. 部活動が盛んである)
 8. 村立小中学校が自宅から近い)
 9. 学習塾に通いやすい)
 10. 習いごとに通いやすい)
 11. 図書館が充実している)
 12. 特色のある学校教育がある)
 13. 地域のスポーツ活動が活発である)
 14. エイサー等の伝統芸能活動が活発である)
 15. 公園等の遊び場が充実している)
 16. 緑や海が近く自然環境が良い)
 17. 治安が良い)
 18. その他 ()

問8 転入先に恩納村を選んだ際、恩納村の行政サービスや制度について調べましたか。

(あてはまる番号に1つ〇)

1. 調べた)
 2. 調べなかった)
 3. 調べなかったが、知っていた)

問9 恩納村のむらづくりに対して、どんなことを期待されますか。(あてはまる番号にいくつでも〇)

1. 豊かな自然環境が保全され、自然とともに生き暮らすむらづくりに)
 2. 子育てや教育の環境が充実したむらづくりに)
 3. 歴史や文化などの地域特色を生かした魅力あるむらづくりに)
 4. 良好な近所づきあいがあり、地域のつながりを大切にすふれあいのむらづくりに)
 5. みんながいつまでも元気に暮らせる、人にやさしい福祉・健康づくりのむらづくりに)
 6. 災害に強く、防犯対策が充実した安全で安心できるむらづくりに)
 7. 時代の先ゆく最先端の技術が集まるむらづくりに)
 8. リゾート地・観光地として来訪者がたくさん集う交流のむらづくりに)
 9. 集落景観が美しく、快適な住環境を整備に向けたむらづくりに)
 10. 廃棄物の発生を抑制した循環型社会の形成に向けたむらづくりに)
 11. 自然の恵みを生かした農業・林業・水産業が盛んなむらづくりに)
 12. 自然環境と調和した観光のむらづくりに)
 13. 住民主体の地域活動が活発なむらづくりに)
 14. その他【※自由記入欄】)

ご協力ありがとうございました。

3) 転出者アンケート

F4 同居している20歳未満の子どもの状況

(複数回答)

		1. 就学前	2. 小学生	3. 中学生	4. 高校生以上の学生	5. バイト・社会人・アル	6. 子どもは20歳未満でない	無回答	
上段:件数、下段:横%									
全 体		297	53	14	6	16	4	203	15
		—	17.8	4.7	2.0	5.4	1.3	68.4	5.1
性 別	男性	141	27	5	5	7	0	102	2
		—	19.1	3.5	3.5	5.0	0.0	72.3	1.4
性 別	女性	156	26	9	1	9	4	101	13
		—	16.7	5.8	0.6	5.8	2.6	64.7	8.3
家 族 構 成	単身世帯	120	0	0	0	0	0	120	0
		—	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	100.0	0.0
	夫婦のみ	57	0	0	0	0	0	57	0
		—	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	100.0	0.0
	二世代世帯	94	47	12	5	16	2	14	11
		—	50.0	12.8	5.3	17.0	2.1	14.9	11.7
三世代世帯	13	3	1	1	0	1	4	4	
	—	23.1	7.7	7.7	0.0	7.7	30.8	30.8	
その他	13	3	1	0	0	1	8	0	
	—	23.1	7.7	0.0	0.0	7.7	61.5	0.0	
同居中の未成年	いる	79	53	14	6	16	4	0	0
		—	67.1	17.7	7.6	20.3	5.1	0.0	0.0
	いない	203	0	0	0	0	0	203	0
		—	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	100.0	0.0
無回答	15	0	0	0	0	0	0	15	
	—	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	100.0	

F5 現在の勤務地・就学地

(単数回答)

		1. 恩納村内	2. うるま市	3. 沖縄市	4. 名護市	5. 読谷村	6. 宜野座村	7. 金武町	8. 那覇市	9. 市町村以上記以外の県内	10. 県外	11. その他	無回答	
上段:件数、下段:横%														
全 体		297	61	10	16	20	8	1	3	22	37	78	4	37
		100.0	20.5	3.4	5.4	6.7	2.7	0.3	1.0	7.4	12.5	26.3	1.3	12.5
性 別	男性	141	32	3	9	12	4	1	2	11	18	35	2	12
		100.0	22.7	2.1	6.4	8.5	2.8	0.7	1.4	7.8	12.8	24.8	1.4	8.5
性 別	女性	156	29	7	7	8	4	0	1	11	19	43	2	25
		100.0	18.6	4.5	4.5	5.1	2.6	0.0	0.6	7.1	12.2	27.6	1.3	16.0
家 族 構 成	単身世帯	120	29	4	7	8	1	0	1	7	21	27	1	14
		100.0	24.2	3.3	5.8	6.7	0.8	0.0	0.8	5.8	17.5	22.5	0.8	11.7
	夫婦のみ	57	5	0	3	7	3	1	2	6	5	15	1	9
		100.0	8.8	0.0	5.3	12.3	5.3	1.8	3.5	10.5	8.8	26.3	1.8	15.8
	二世代世帯	94	24	3	5	4	3	0	0	6	8	28	2	11
		100.0	25.5	3.2	5.3	4.3	3.2	0.0	0.0	6.4	8.5	29.8	2.1	11.7
三世代世帯	13	0	1	1	0	1	0	0	2	1	5	0	2	
	100.0	0.0	7.7	7.7	0.0	7.7	0.0	0.0	15.4	7.7	38.5	0.0	15.4	
その他	13	3	2	0	1	0	0	0	1	2	3	0	1	
	100.0	23.1	15.4	0.0	7.7	0.0	0.0	0.0	7.7	15.4	23.1	0.0	7.7	
同居中の未成年	いる	79	21	5	5	4	4	0	0	7	7	15	2	9
		100.0	26.6	6.3	6.3	5.1	5.1	0.0	0.0	8.9	8.9	19.0	2.5	11.4
	いない	203	39	5	11	16	4	1	3	13	29	55	2	25
		100.0	19.2	2.5	5.4	7.9	2.0	0.5	1.5	6.4	14.3	27.1	1.0	12.3
無回答	15	1	0	0	0	0	0	0	2	1	8	0	3	
	100.0	6.7	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	13.3	6.7	53.3	0.0	20.0	

F6 恩納村での居住年数

(単数回答)

		1. 1 年 未 満	2. 1 ～ 2 年 未 満	3. 2 ～ 5 年 未 満	4. 5 ～ 1 0 年 未 満	5. 1 0 ～ 2 0 年 未 満	6. 2 0 年 以 上	無 回 答	
上段:件数、下段:横%									
全 体		297 100.0	46 15.5	42 14.1	74 24.9	30 10.1	37 12.5	59 19.9	9 3.0
性 別	男性	141 100.0	22 15.6	17 12.1	44 31.2	16 11.3	13 9.2	26 18.4	3 2.1
	女性	156 100.0	24 15.4	25 16.0	30 19.2	14 9.0	24 15.4	33 21.2	6 3.8
家 族 構 成	単身世帯	120 100.0	21 17.5	17 14.2	30 25.0	12 10.0	15 12.5	20 16.7	5 4.2
	夫婦のみ	57 100.0	7 12.3	6 10.5	18 31.6	6 10.5	5 8.8	13 22.8	2 3.5
	二世代世帯	94 100.0	16 17.0	12 12.8	23 24.5	11 11.7	11 11.7	19 20.2	2 2.1
	三世代世帯	13 100.0	1 7.7	5 38.5	1 7.7	0 0.0	2 15.4	4 30.8	0 0.0
	その他	13 100.0	1 7.7	2 15.4	2 15.4	1 7.7	4 30.8	3 23.1	0 0.0
	同居中の未成年	79 100.0	13 16.5	13 16.5	15 19.0	8 10.1	9 11.4	20 25.3	1 1.3
いない	203 100.0	30 14.8	27 13.3	55 27.1	20 9.9	26 12.8	37 18.2	8 3.9	
無回答	15 100.0	3 20.0	2 13.3	4 26.7	2 13.3	2 13.3	2 13.3	0 0.0	

問1 恩納村から転出した最大の理由

(単数回答)

		便 勤 性 、 転 職 等 (等)	1. 仕 事 の 都 合 (退 職 、 通 勤 の 転 利 等)	学 2. 、 あ な た の 学 校 の 都 合 (進 学 、 通 学 等)	学 3. 、 こ ど も の 学 校 の 都 合 (進 学 、 通 学 等)	購 取 入 、 設 備 等 (等)	4. 住 宅 の 都 合 (広 さ 、 間 の 等)	5. 家 庭 の 都 合 (結 婚 、 近 居 等)	6. 親 族 の 都 合 (結 婚 、 近 居 等)	7. 家 庭 の 都 合 (結 婚 、 近 居 等)	8. そ の 他	無 回 答
上段:件数、下段:横%												
全 体		297 100.0	128 43.1	9 3.0	11 3.7	39 13.1	77 25.9	13 4.4	7 2.3	2 0.7	8 2.7	10 3.4
性 別	男性	141 100.0	72 51.1	4 2.8	4 2.8	21 14.9	21 14.9	9 6.4	2 1.4	3 2.1	5 3.5	
	女性	156 100.0	56 35.9	5 3.2	7 4.5	18 11.5	56 35.9	4 2.6	0 0.0	5 3.2	5 3.2	
家 族 構 成	単身世帯	120 100.0	69 57.5	7 5.8	1 0.8	20 16.7	12 10.0	6 5.0	1 0.8	0 0.0	4 3.3	
	夫婦のみ	57 100.0	24 42.1	0 0.0	0 0.0	3 5.3	21 36.8	3 5.3	1 1.8	1 1.8	4 7.0	
	二世代世帯	94 100.0	26 27.7	1 1.1	10 10.6	15 16.0	35 37.2	2 2.1	0 0.0	3 3.2	2 2.1	
	三世代世帯	13 100.0	5 38.5	1 7.7	0 0.0	0 0.0	5 38.5	1 7.7	0 0.0	1 7.7	0 0.0	
	その他	13 100.0	4 30.8	0 0.0	0 0.0	1 7.7	4 30.8	1 7.7	0 0.0	3 23.1	0 0.0	
	同居中の未成年	79 100.0	17 21.5	0 0.0	10 12.7	13 16.5	30 38.0	3 3.8	0 0.0	5 6.3	1 1.3	
いない	203 100.0	104 51.2	8 3.9	1 0.5	24 11.8	42 20.7	10 4.9	2 1.0	3 1.5	9 4.4		
無回答	15 100.0	7 46.7	1 6.7	0 0.0	2 13.3	5 33.3	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0		

問2 転出前の住居形態

(単数回答)

		上段:件数、下段:横%		1. 持ち家の一戸建て	2. 持ち家の集合住宅 (マンションなど)	3. 賃貸の一戸建て	4. 賃貸のアパート・マンションなど	5. 社宅	6. 村営住宅	7. その他	無回答
全体		297	91	10	15	112	48	4	9	8	
		100.0	30.6	3.4	5.1	37.7	16.2	1.3	3.0	2.7	
性別	男性	141	35	6	7	58	25	2	5	3	
		100.0	24.8	4.3	5.0	41.1	17.7	1.4	3.5	2.1	
性別	女性	156	56	4	8	54	23	2	4	5	
		100.0	35.9	2.6	5.1	34.6	14.7	1.3	2.6	3.2	
家族構成	単身世帯	120	33	4	7	41	27	2	2	4	
		100.0	27.5	3.3	5.8	34.2	22.5	1.7	1.7	3.3	
	夫婦のみ	57	19	3	3	24	4	0	2	2	
		100.0	33.3	5.3	5.3	42.1	7.0	0.0	3.5	3.5	
	二世代世帯	94	28	2	2	41	17	0	2	2	
		100.0	29.8	2.1	2.1	43.6	18.1	0.0	2.1	2.1	
三世代世帯	13	8	0	1	4	0	0	0	0		
	100.0	61.5	0.0	7.7	30.8	0.0	0.0	0.0	0.0		
その他	13	3	1	2	2	0	2	3	0		
	100.0	23.1	7.7	15.4	15.4	0.0	15.4	23.1	0.0		
同居中の未成年	いる	79	26	3	4	34	7	2	2	1	
		100.0	32.9	3.8	5.1	43.0	8.9	2.5	2.5	1.3	
	いない	203	60	7	11	72	37	2	7	7	
		100.0	29.6	3.4	5.4	35.5	18.2	1.0	3.4	3.4	
無回答	15	5	0	0	6	4	0	0	0		
	100.0	33.3	0.0	0.0	40.0	26.7	0.0	0.0	0.0		

問3 現在の住居形態

(単数回答)

		上段:件数、下段:横%		1. 持ち家の一戸建て	2. 持ち家の集合住宅 (マンションなど)	3. 賃貸の一戸建て	4. 賃貸のアパート・マンションなど	5. 社宅	6. 村営住宅	7. その他	無回答
全体		297	68	17	14	166	19	7	5	1	
		100.0	22.9	5.7	4.7	55.9	6.4	2.4	1.7	0.3	
性別	男性	141	25	10	7	81	13	2	2	1	
		100.0	17.7	7.1	5.0	57.4	9.2	1.4	1.4	0.7	
性別	女性	156	43	7	7	85	6	5	3	0	
		100.0	27.6	4.5	4.5	54.5	3.8	3.2	1.9	0.0	
家族構成	単身世帯	120	15	4	6	77	16	0	2	0	
		100.0	12.5	3.3	5.0	64.2	13.3	0.0	1.7	0.0	
	夫婦のみ	57	9	4	3	39	1	1	0	0	
		100.0	15.8	7.0	5.3	68.4	1.8	1.8	0.0	0.0	
	二世代世帯	94	34	9	4	43	2	2	0	0	
		100.0	36.2	9.6	4.3	45.7	2.1	2.1	0.0	0.0	
三世代世帯	13	6	0	1	3	0	1	1	1		
	100.0	46.2	0.0	7.7	23.1	0.0	7.7	7.7	7.7		
その他	13	4	0	0	4	0	3	2	0		
	100.0	30.8	0.0	0.0	30.8	0.0	23.1	15.4	0.0		
同居中の未成年	いる	79	22	6	5	39	1	6	0	0	
		100.0	27.8	7.6	6.3	49.4	1.3	7.6	0.0	0.0	
	いない	203	34	11	9	124	18	1	5	1	
		100.0	16.7	5.4	4.4	61.1	8.9	0.5	2.5	0.5	
無回答	15	12	0	0	3	0	0	0	0		
	100.0	80.0	0.0	0.0	20.0	0.0	0.0	0.0	0.0		

問4 住まいを探す際に重視すること

(単数回答)

		の1. 住 宅周 辺の イメ ージ	な2. 通 勤や 買い 物に 便利	が3. 親 の近 所に 住む こと	4. 学 校に 近い こと	宅5. 家 賃や 間取 などの 住	6. そ の他	無 回 答	
		上段:件数、下段:横%							
全 体		297	56	108	15	19	84	11	4
		100.0	18.9	36.4	5.1	6.4	28.3	3.7	1.3
性 別	男性	141	29	57	3	10	32	7	3
		100.0	20.6	40.4	2.1	7.1	22.7	5.0	2.1
	女性	156	27	51	12	9	52	4	1
		100.0	17.3	32.7	7.7	5.8	33.3	2.6	0.6
家 族 構 成	単身世帯	120	18	51	3	6	36	5	1
		100.0	15.0	42.5	2.5	5.0	30.0	4.2	0.8
	夫婦のみ	57	17	15	5	2	15	2	1
		100.0	29.8	26.3	8.8	3.5	26.3	3.5	1.8
	二世帯世帯	94	19	31	5	11	26	2	0
		100.0	20.2	33.0	5.3	11.7	27.7	2.1	0.0
三 世 帯 世 帯	三世帯世帯	13	0	7	2	0	1	1	2
		100.0	0.0	53.8	15.4	0.0	7.7	7.7	15.4
	その他	13	2	4	0	0	6	1	0
	100.0	15.4	30.8	0.0	0.0	46.2	7.7	0.0	
同 居 中 の 未 成 年	いる	79	15	24	4	10	22	3	1
		100.0	19.0	30.4	5.1	12.7	27.8	3.8	1.3
	いない	203	40	76	9	8	59	8	3
		100.0	19.7	37.4	4.4	3.9	29.1	3.9	1.5
無 回 答	無回答	15	1	8	2	1	3	0	0
		100.0	6.7	53.3	13.3	6.7	20.0	0.0	0.0

問5 恩納村が住みやすかった理由

(複数回答)

		上段:件数、下段:横%	1.住宅事情が適当であった	2.バスや道路など交通の利便性がよかつた	3.職場や学校が近かつた	4.商業施設が充実していた	5.静かな居住環境だった	6.海や山などがあり自然が豊かだった	7.人付き合いがしやすかつた	8.治安が良かつた	9.台風や地震、豪雨などの自然災害に強かつた	10.保育サービスや医療費助成などの子育て支援が充実していた
全 体		297 —	51 17.2	16 5.4	102 34.3	0 0.0	130 43.8	219 73.7	66 22.2	71 23.9	8 2.7	3 1.0
性別	男性	141 —	30 21.3	10 7.1	41 29.1	0 0.0	61 43.3	107 75.9	31 22.0	31 22.0	4 2.8	1 0.7
	女性	156 —	21 13.5	6 3.8	61 39.1	0 0.0	69 44.2	112 71.8	35 22.4	40 25.6	4 2.6	2 1.3
家族構成	単身世帯	120 —	21 17.5	4 3.3	49 40.8	0 0.0	57 47.5	87 72.5	21 17.5	26 21.7	4 3.3	0 0.0
	夫婦のみ	57 —	12 21.1	6 10.5	13 22.8	0 0.0	29 50.9	46 80.7	14 24.6	13 22.8	0 0.0	0 0.0
	二世代世帯	94 —	13 13.8	5 5.3	34 36.2	0 0.0	33 35.1	70 74.5	23 24.5	29 30.9	1 1.1	3 3.2
	三世代世帯	13 —	4 30.8	0 0.0	2 15.4	0 0.0	4 30.8	8 61.5	4 30.8	0 0.0	3 23.1	0 0.0
	その他	13 —	1 7.7	1 7.7	4 30.8	0 0.0	7 53.8	8 61.5	4 30.8	3 23.1	0 0.0	0 0.0
	同居中の未成年	79 —	12 15.2	3 3.8	26 32.9	0 0.0	32 40.5	54 68.4	24 30.4	23 29.1	2 2.5	3 3.8
いない	203 —	36 17.7	12 5.9	70 34.5	0 0.0	95 46.8	153 75.4	38 18.7	47 23.2	5 2.5	0 0.0	
無回答	15 —	3 20.0	1 6.7	6 40.0	0 0.0	3 20.0	12 80.0	4 26.7	1 6.7	1 6.7	0 0.0	

		上段:件数、下段:横%	11.学校が高い教育内容や環境が良かつた	12.身近な地域で遊ぶことができ安かつた	13.高齢者向けの福祉サービスが充実していた	14.障がい者向けの福祉サービスが充実していた	15.病院など医療施設が充実していた	16.知り合いや知人がいた	17.親(族)や子どもの家が近かつた	18.その他	無回答
全 体		297 —	8 2.7	11 3.7	3 1.0	3 1.0	1 0.3	56 18.9	35 11.8	17 5.7	5 1.7
性別	男性	141 —	1 0.7	7 5.0	3 2.1	3 0.7	1 0.7	25 17.7	17 12.1	4 2.8	4 2.8
	女性	156 —	7 4.5	4 2.6	0 0.0	2 1.3	0 0.0	31 19.9	18 11.5	13 8.3	1 0.6
家族構成	単身世帯	120 —	5 4.2	2 1.7	0 0.0	0 0.0	0 0.0	25 20.8	12 10.0	7 5.8	1 0.8
	夫婦のみ	57 —	1 1.8	2 3.5	2 3.5	1 1.8	1 1.8	4 7.0	6 10.5	3 5.3	2 3.5
	二世代世帯	94 —	2 2.1	5 5.3	1 1.1	0 0.0	0 0.0	19 20.2	11 11.7	6 6.4	1 1.1
	三世代世帯	13 —	0 0.0	1 7.7	0 0.0	0 0.0	0 0.0	3 23.1	5 38.5	1 7.7	1 7.7
	その他	13 —	0 0.0	1 7.7	0 0.0	2 15.4	0 0.0	5 38.5	1 7.7	0 0.0	0 0.0
	同居中の未成年	79 —	2 2.5	5 6.3	1 1.3	0 0.0	0 0.0	19 24.1	12 15.2	3 3.8	1 1.3
いない	203 —	6 3.0	5 2.5	2 1.0	3 1.5	1 0.5	35 17.2	20 9.9	12 5.9	4 2.0	
無回答	15 —	0 0.0	1 6.7	0 0.0	0 0.0	0 0.0	2 13.3	3 20.0	2 13.3	0 0.0	

問6 恩納村が住みにくかった理由

(複数回答)

		1. 住宅事情が適当でなかった	2. 住宅の規模や価格、家賃などが悪かった	3. バスや道路など交通の利便性が悪かった	4. 職場や学校が遠かった	5. 商業施設が少なかった	6. 騒がしい居住環境だった	7. 緑や海などの自然が少なかった	8. 人が付き合いなどで馴染めなかった	9. 治安が悪かった	10. 地震や台風、豪雨などの自然災害が多かった	11. 保育サービスや医療費助成などで子育てしにくかった
		上段: 件数、下段: 横%										
全体		297 100.0	32 10.8	109 36.7	45 15.2	191 64.3	27 9.1	2 0.7	14 4.7	3 1.0	66 22.2	14 4.7
性別	男性	141 100.0	15 10.6	47 33.3	25 17.7	89 63.1	14 9.9	1 0.7	8 5.7	2 1.4	30 21.3	9 6.4
	女性	156 100.0	17 10.9	62 39.7	20 12.8	102 65.4	13 8.3	1 0.6	6 3.8	1 0.6	36 23.1	5 3.2
家族構成	単身世帯	120 100.0	12 10.0	45 37.5	18 15.0	81 67.5	10 8.3	1 0.8	7 5.8	2 1.7	26 21.7	2 1.7
	夫婦のみ	57 100.0	5 8.8	21 36.8	9 15.8	38 66.7	7 12.3	0 0.0	3 5.3	0 0.0	16 28.1	1 1.8
	二世帯世帯	94 100.0	13 13.8	34 36.2	11 11.7	61 64.9	7 7.4	0 0.0	3 3.2	0 0.0	20 21.3	10 10.6
	三世帯世帯	13 100.0	1 7.7	5 38.5	6 46.2	4 30.8	1 7.7	0 0.0	1 7.7	1 7.7	1 7.7	1 7.7
	その他	13 100.0	1 7.7	4 30.8	1 7.7	7 53.8	2 15.4	1 7.7	0 0.0	0 0.0	3 23.1	0 0.0
同居中の未成年	いる	79 100.0	14 17.7	26 32.9	12 15.2	48 60.8	6 7.6	1 1.3	2 2.5	1 1.3	13 16.5	11 13.9
	いない	203 100.0	18 8.9	77 37.9	32 15.8	137 67.5	20 9.9	1 0.5	11 5.4	2 1.0	51 25.1	3 1.5
	無回答	15 100.0	0 0.0	6 40.0	1 6.7	6 40.0	1 6.7	0 0.0	1 6.7	0 0.0	2 13.3	0 0.0
		上段: 件数、下段: 横%	11. 育環境が悪かった	12. 学校や保育施設が少なかった	13. 近所や地域で遊ぶことができず、安全な場所がなかった	14. 高齢者が住みやすい環境がなかった	15. 障がい者向けの福祉サービスが充実していなかった	16. 病院や医療施設が充実していなかった	17. 知り合いや知人がいなかった	18. その他	無回答	
全体		297 100.0	6 2.0	15 5.1	4 1.3	0 0.0	93 31.3	15 5.1	22 7.4	20 6.7	27 9.1	
性別	男性	141 100.0	4 2.8	8 5.7	3 2.1	0 0.0	42 29.8	9 6.4	11 7.8	9 6.4	16 11.3	
	女性	156 100.0	2 1.3	7 4.5	1 0.6	0 0.0	51 32.7	6 3.8	11 7.1	11 7.1	11 7.1	
家族構成	単身世帯	120 100.0	3 2.5	3 2.5	1 0.8	0 0.0	37 30.8	6 5.0	5 4.2	4 3.3	15 12.5	
	夫婦のみ	57 100.0	0 0.0	4 7.0	1 1.8	0 0.0	17 29.8	3 5.3	5 8.8	6 10.5	3 5.3	
	二世帯世帯	94 100.0	3 3.2	5 5.3	2 2.1	0 0.0	32 34.0	5 5.3	9 9.6	8 8.5	6 6.4	
	三世帯世帯	13 100.0	0 0.0	2 15.4	0 0.0	0 0.0	2 15.4	1 7.7	2 15.4	1 7.7	1 7.7	
	その他	13 100.0	0 0.0	1 7.7	0 0.0	0 0.0	5 38.5	0 0.0	1 7.7	1 7.7	2 15.4	
同居中の未成年	いる	79 100.0	3 3.8	7 8.9	2 2.5	0 0.0	30 38.0	3 3.8	7 8.9	9 11.4	5 6.3	
	いない	203 100.0	3 1.5	7 3.4	2 1.0	0 0.0	59 29.1	11 5.4	14 6.9	10 4.9	20 9.9	
	無回答	15 100.0	0 0.0	1 6.7	0 0.0	0 0.0	4 26.7	1 6.7	1 6.7	1 6.7	2 13.3	

問7 恩納村は住みやすかったか (単数回答)

		1. 住 み や す か っ た	2. 住 み に く か っ た	無 回 答	
		上段:件数、下段:横%			
全 体		297	240	46	11
		100.0	80.8	15.5	3.7
性 別	男性	141	112	25	4
		100.0	79.4	17.7	2.8
別	女性	156	128	21	7
		100.0	82.1	13.5	4.5
家 族 構 成	単身世帯	120	96	20	4
		100.0	80.0	16.7	3.3
	夫婦のみ	57	44	11	2
		100.0	77.2	19.3	3.5
	二世代世帯	94	80	11	3
		100.0	85.1	11.7	3.2
成	三世代世帯	13	9	3	1
		100.0	69.2	23.1	7.7
	その他	13	11	1	1
	100.0	84.6	7.7	7.7	
同 居 中 の 未 成 年	いる	79	63	12	4
		100.0	79.7	15.2	5.1
	いない	203	162	34	7
		100.0	79.8	16.7	3.4
無 回 答		15	15	0	0
		100.0	100.0	0.0	0.0

問8 機会があれば、また恩納村に住みたいと思うか (単数回答)

		1. 住 み た い と 思 う	い 2. 住 み た い と 思 わ な い	3. わ か ら な い	無 回 答	
		上段:件数、下段:横%				
全 体		297	194	30	69	4
		100.0	65.3	10.1	23.2	1.3
性 別	男性	141	87	16	34	4
		100.0	61.7	11.3	24.1	2.8
別	女性	156	107	14	35	0
		100.0	68.6	9.0	22.4	0.0
家 族 構 成	単身世帯	120	85	13	21	1
		100.0	70.8	10.8	17.5	0.8
	夫婦のみ	57	37	6	13	1
		100.0	64.9	10.5	22.8	1.8
	二世代世帯	94	60	5	28	1
		100.0	63.8	5.3	29.8	1.1
成	三世代世帯	13	6	3	3	1
		100.0	46.2	23.1	23.1	7.7
	その他	13	6	3	4	0
	100.0	46.2	23.1	30.8	0.0	
同 居 中 の 未 成 年	いる	79	43	8	27	1
		100.0	54.4	10.1	34.2	1.3
	いない	203	140	22	38	3
		100.0	69.0	10.8	18.7	1.5
無 回 答		15	11	0	4	0
		100.0	73.3	0.0	26.7	0.0

問3 現在の住居形態はどれですか。(あてはまる番号に1つ〇)

1. 持ち家の一戸建て
2. 持ち家の集合住宅 (マンションなど)
3. 賃貸の一戸建て
4. 賃貸のアパート・マンションなど
5. 社宅
6. 村営住宅
7. その他 ()

問4 住まいを探す際に重視することは何ですか。(あてはまる番号に1つ〇)

1. 住宅周辺のイメージのよいところ
2. 通勤や買い物に便利なこと
3. 親の近所に住むことができること
4. 学校に近なこと
5. 家賃や間取りなどの住宅事情
6. その他 ()

問5 恩納村が「住みやすさについてお伺いします。」

問6 恩納村が「住みやすかった」理由はどの点ですか。(あてはまる番号に3つ〇)

1. 住宅の規模や価格、家賃など住宅事情が適当でなかった
2. バスや道路など交通の利便性が悪かった
3. 職場や学校が遠かった
4. 商業施設が少なかった
5. 騒がしい居住環境だった
6. 緑や海などの自然が少なかった
7. 人付き合いなどで馴染めなかった
8. 治安が悪かった
9. 地震や台風、豪雨などの自然災害が多かった
10. 保育サービスや医療費助成などの子育て支援が不十分で、子育てしにくかった
11. 学校教育の内容や教職員の質などがあまりよくなく、教育環境が悪かった
12. 身近な地域で、子どもが安全で遊ぶことができる場所が少なかった
13. 高齢者向けの福祉サービスが整っていないかった
14. 障がい者向けの福祉サービスが整っていないかった
15. 病院など医療施設が充実していなかった
16. 知り合いや知人がいなかった
17. 親(族)や子どもの家が遠かった
18. その他 ()

問7 恩納村は住みやすかったですか。(あてはまる番号に1つ〇)

1. 住みやすかった
2. 住みにくかった

問8 もし機会があれば、また恩納村に住みたいと思いますか。(あてはまる番号に1つ〇)

1. 住みたいと思う
2. 住みたいと思わない
3. わからない

問9 最後に恩納村に対するご意見がありましたら、お書きください。

ご協力ありがとうございました。

2. 恩納村まち・ひと・しごと創生総合戦略 策定の経緯

期日	取り組み内容
平成27年7月1日	第1回 恩納村まち・ひと・しごと創生本部
平成27年7月14日 ～7月31日	転出者、転入者アンケート調査の実施
平成27年7月30日 ～8月11日	就職・進学に関するアンケート調査の実施
平成27年9月30日	第1回 恩納村まち・ひと・しごと作業部会 (部会別のヒアリング調査の実施)
平成27年11月4日	第2回 恩納村まち・ひと・しごと作業部会 (全体)
平成27年10月27日 ～12月4日	行政区別懇談会での意見聴取
平成27年11月25日	母親のグループ、村外在住者へのヒアリング
平成27年11月27日	第3回 恩納村まち・ひと・しごと作業部会 (部会別会議)
平成28年1月8日 ～1月15日	関連課ヒアリング
平成28年1月19日	第2回 恩納村まち・ひと・しごと創生本部
平成28年1月20日	第1回 恩納村まち・ひと・しごと創生推進協議会
平成28年2月2日	第2回 恩納村まち・ひと・しごと創生推進協議会
平成28年2月15日	第3回 恩納村まち・ひと・しごと創生本部
平成28年2月23日	第3回 恩納村まち・ひと・しごと創生推進協議会
平成28年3月1日	第4回 恩納村まち・ひと・しごと創生本部

3. 恩納村まち・ひと・しごと創生総合戦略推進協議会 委員名簿

商工会	恩納村商工会 事務局長	安村祥子
漁業関係者	恩納村漁業協同組合 (指導事業担当)	比嘉義視
農業関係者	J Aおきなわ恩納支店 熱帯果樹部会	照屋和江
観光産業	恩納村観光関連施設代表者会 会長 (ブレーントラスト会)	玉城智司
観光協会	恩納村観光協会準備室長	名城淳一
IT関係者	(株) 夢づくり沖縄 (ITコーディネーター沖縄代表理事)	新井良直
教育関係者	沖縄科学技術大学院大学 (地域連携セクション)	照屋友彦
金融関係者	沖縄銀行 (恩納支店長)	平島達也
福祉関係者	恩納村母子保健推進委員	名城秀子
村民代表	村会議員	又吉薫
〃	村会議員	宮崎豊
〃	区長会会長	仲村兼富
〃	区長会副会長	大城敦
〃	恩納村青年団協議会	吉山盛之佑

恩納村まち・ひと・しごと創生総合戦略

平成 28 年 3 月 発行

発 行：恩納村役場 企画課

〒904-0492

沖縄県国頭郡恩納村字恩納 2451 番地

TEL 098-966-1200（代表）

編 集：(株)都市科学政策研究所

